

第七十二回 帝國議會院 爲公債發行ニ關スル臨時軍事費支辨ノ委員會議錄(速記)第一回

付託議案
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ公債發行ニ關スル法律案
(政府提出)
臨時軍事費特別會計法案(政府提出)
支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅減免徵收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)
臨時資金調整法案(政府提出)
(外國爲營管理法中改正法律案(政府提出))

會議
昭和十二年九月六日(月曜日)午前九時三十
分開議
出席委員左ノ如シ

會議
河上丈太郎君 河野 密君
須永 好君 中原 謹司君
馬場 元治君

出席國務大臣左ノ如シ
海軍大臣 米内 光政君
商工省工務局長 小島 新一君
鐵道參與官 金井 正夫君
拓務省殖產局長 植場 鐵三君
陸軍參與官 比佐 昌平君

理事清水留三郎君 理事松田喜三郎君
理事松田 正一君 理事小笠原三九郎君
理事森田 福市君 理事岩瀬 亮君
前田房之助君 中島彌園次君
作田高太郎君 堀内 良平君
澤田 利吉君 宇賀 四郎君
福田 慶夫君 愛野時一郎君
津倉 亀作君 北 順吉君
田邊 七六君 大内竹之助君
横川 重次君 工藤十三雄君
武田徳三郎君 丹下茂十郎君
山本 芳治君 田中 好君
大本貞太郎君 井上 知治君
豊田 收君 笠井 重治君
小池 四郎君 赤城 宗徳君
陸軍政務次官 加藤久米四郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
出席政府委員左ノ如シ
内閣書記官長 風見 章君
内務省地方局長 坂 千秋君
大藏政務次官 太田 正孝君
大藏書記官 迫水 久常君
遞信省航空局長 小松 茂君
支那事變ニ上リタル議案左ノ如シ
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

臨時軍事費特別會計法案(政府提出)
支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)
臨時資金調整法案(政府提出)
外國爲營管理法中改正法律案(政府提出)
○川崎委員長 ソレデハ開會致シマス、審議ニ入ル前ニ御諸リヲ申上ゲテ置キタイコ

トガアリマス、御承知ノヤウニ會議ノ時間ハ先づ大體今日一日、若シソレデ質問ガ終了致シマセヌケレバ明日ト云フコトニナリマセウガ、是モ切詰メタ時間デ、明日ハ午前、ソレモ早イ時間デ質問ヲ終了シテ、黨ルト思ヒマス、左様ナ譯デアリマスノデ、質問應答ノ時間ニ付キマシテモ、昨日理事ノ諸君ニ御残リヲ願シテ御相談致シタノデアリマスガ、通告者ノ人數ハ二十名以上ニモ上ル譯デアリマスガ、之ヲ只今申上ゲタ時間ニ割當テ、質問應答ヲ願フコトニナルト容易ナコトデハナイノデス、ソコデ色々御相談ヲシタ結果、政民兩黨ノ最初ヤッテ載ク方ニハ先づ一時間ト云フコトニ決メシテ、次ニ民政、政友、民政、政友トスウ云フ風ニナツテ參リマス方々及ビ其他ノ派ノ方々ニ付テハ先づ大體三十分、ソレカラ愈々時間が切詰シテ參リマスレバ、其上デ又御相談ヲ申上ダルト云フコトデ審議ヲ進メタイト云

フコトニ、大體昨日決メタノデアリマス、
此點ヲ大體御諒承ヲ請ヒタイノデアリマス、
ソコデ是ト關聯シテ皆サンニ御参考マデニ
申上ゲテ置キタイコトハ、質疑ノ通告ヲナ
サツテ居リマス方ニシテ、順位ガ參リマセヌ
デ關聯事項デ御問ヒニナル方ガアルト思ヒ
マス、關聯事項ハ議事ノ進捗ヲ圖ル上ニ於
キマシテ、委員長ニ於テ差許シタイト思ッテ
居リマスガ、之ヲ長クオヤリ願フト又後ノ
質問者ニ差支ヘテ來ルノデアリマスカラ、
極メテ短イ時間、五分間位デ肝腎ナ所ヲ御
問ヒニナリマスナラバ、ソレデ後ノ時間ヲ
抛棄ヲ願フコトニナルカモ知レマセヌケレ
ドモ、非常ナ肝腎ナ問ヲ發セナケレバナラ
ヌ場合ガアルト思ヒマスカラ、其點ハ質疑
通告者ニ於テ御考ノ上デ、適宜關聯質問ヲ
御申出ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソ
レカラ更ニ委員長トシテ皆サンニ御願ヲ申
上ゲマスコトハ、質疑應答致シテ居リマス
中ニ、同ジ事柄ヲ繰返シテ質問應答スル例ガ
今マデ多々アルノデアリマス、是ハ質問者
ノ方ニ於テ故意ニオヤリニナルノデナクシ
テ、始カラ終マデ其席デ聽イテ居ラレナイ
方ガ少クナイモノデアリマスカラ、ヤハリ
前ノ人ガ聽イタコトヲ御忘レニナリ、又知
ラナイデ質問セラレテ居ル場合ガアル、其

場合ニハ委員長ニ於テ質疑應答ヲ聽イテ居
リマスカラ、モウ既ニハツキリシタ質問應答
ノ終ツテ居ルモノニ付キマシテハ、失禮デハ
アリマスケレドモ、御注意ヲ申上ゲテ、其
質問ハ差控ヘテ戴クヤウナコトモ起ルデア
ラウト思ヒマスコトヲ、豫メ御承知ヲ願ツテ
置キタイノデアリマス
○森田委員 一寸議事進行ニ付テ——外國
爲替管理法中改正法律案ノ改正ノ點デス
ガ、現行法律ト改正ノ點トヲ從來ナラバ
赤字デ書クトカ、ソレデナケレバ線ヲ引ク
カシテ、參考資料トシテ請求セヌデモ出テ
居リマシタカラ、今度モ出テ居ルト思ヒマ
シタ所ガ、出テ居ラヌヤウデアリマス、
アレヲ御出シ願ハヌト分ラヌデス
○川崎委員長 ソレデハ是ヨリ支那事變ニ
關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關ス
ル法律案外四件ヲ一括シテ質疑ニ入リマ
ス——中島君

○中島委員 私ハ大藏大臣ニ質問致シタイ
點ガアリマスルガ、時間ノ都合上御出デニ
ナラナイヤウデアリマスカラ、其點ニ付キ
マシテハ他日ニ保留シテ置キマス、ソレカ
ラ陸海軍大臣ニ對シテモ質問致シタイノデ
アリマス、第一ニ日支事變ノ大體ノ見透シ
ニ付テ陸海軍大臣ニ聽キタイ、ソレカラ物
資ノ資源、原料ト云フヤウナモノニ付テ、
ドレ位要ルカ、所要及び獲得方法ニ付テ御
聽キシタイ、ソレカラ生産擴充ノ問題ニ付テ
質問ハ差控ヘテ戴クヤウナコトモ起ルデア
ラウト思ヒマスコトヲ、豫メ御承知ヲ願ツテ
置キタイノデアリマス
○森田委員 一寸議事進行ニ付テ——外國
爲替管理法中改正法律案ノ改正ノ點デス
ガ、現行法律ト改正ノ點トヲ從來ナラバ
赤字デ書クトカ、ソレデナケレバ線ヲ引ク
カシテ、参考資料トシテ請求セヌデモ出テ
居リマシタカラ、今度モ出テ居ルト思ヒマ
シタ所ガ、出テ居ラヌヤウデアリマス、
アレヲ御出シ願ハヌト分ラヌデス
○川崎委員長 ソレデハ是ヨリ支那事變ニ
關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關ス
ル法律案外四件ヲ一括シテ質疑ニ入リマ
スガ、アナタニ御許シラスル時間ハ大體一
時間デアリマス、ソレハ大藏大臣ニ對スル
時間モ込メデアリマスルカラ、大體今御
馬スルカラ、十時四十分マデ一時間デアリ
シテ、私ノ時計デ今丁度九時四十分デアリ
マスルカラ、十時四十分マデ一時間デアリ
マス、保留ノ分ハ又後デ……

○川崎委員長 中島君ニ御注意ヲ申上ゲマ
スガ、アナタニ御許シラスル時間ハ大體一
スクニ踏ンデ思切ッタ救濟ガ出來、或ハ支
出ガ出來ルト云フ點ニ於テ宜イト思ヒマス
ルガ、ドウデアリマスルカラ、何故其方ヲ採
用シテ、既設ノ日銀、興銀デヤラレルコ
トニナツタカ、殊ニ既設會社ハ御承知ノ通
リ傳統ガアリ、サウシテ一方ニ於テハ從來
ノ關係モアル、隨テ手ガ伸ビニクイ、斯ウ
云フ意味ニ於テ私共ハ獨立ノ機關ヲ作ツテ
ヤツタ方ガ適當ダラウト考ヘルノデアリマ

○太田政府委員 斯ウ云フ時局ニ際シマシテ、特別ナル金融機關ヲ設ケテ處理シテ行ク方ガ宜イカト云フ御話ニ付キマシテハ、大藏省側トシテモ相當研究ヲ致シマシタ、御示シノ通り亞米利加ニ於ケル金融會社——或ハ英吉利、佛蘭西、獨逸デハ特設ナ金融會社ハ作リマセヌデシタガ、貸付銀行制度ニ依ッテ稍同ジヤウナヤリ方ヲヤツタヤウニ記憶シテ居リマス、無論サウ云フ金融會社ヲ特設スルコトニ依ッテ、非常ニ旨ク行ク例モアリマスルガ、又旨ク行カナカツタ點モアルヤウニ存ジマス、併ナガラ之ヲ設クルニ付キマシテハ、相當法律關係ナドニ於キマシテ、十分ナ用意ラスル以上ニ、御審議ノ期間モ考ヘナケレバナリマセヌノト先づ差當リノ方法トシテハ御示シノ通り日本銀行或ハ興業銀行ヲシテ之ニ作用セシメル方ガ現下ニ最モ適切ト思ヒマシタニ付キマシテハ研究中デアリマスルガ、ソレガ必シモ全部良イト云フヤウニハ私共考ヘカト云フ點ニ付キマシテハ、私ヨリ中島サ此方法ヲ以テヤルガ宜イ、ドンナ點ガ惡イラレマセヌ、只今ノ所ニ於キマシテハ差詰メ

スガ、金融機關ト云フモノハ今日作ツテ直グ
其モノノ運用ガ出來ルト云フ譯ニ行キマセ
ヌノデ、全面的ニ今此金融ノ非常狀態ナル
場合ニ於キマシテハ、現在アル機關ヲ動カ
シテ行ク方ガ、最モ差當リノ方法トシテ宜
クハナイカ、少クトモ會期ノ短イ此議會ニ
出シ得ザル條件ヲ考ヘテ見マスルト、特別
金融會社ノ問題ハ研究問題ニシテ置キマシ
テ、今アル方法、即チ日本銀行或ハ興業銀
行ニ依ツテヤツテ行カウト云フコトヲ決メタ

マスノテ、別勘定テ行キマシテモ同ジヤウ
ナコトニナルカト思ヒマス、無論別勘定ニ
致シマスト、非常時局ニ際シテヤッタ機関
モゴザイマスシ、結構ナ點ガアルカト思ヒ
マスガ、只今ノ所ハサウシヨウトハ考ヘテ
居リマセヌ

○中島委員 太田政務次官カラ言ハレマシ
タ通り、非常時局ニ際シテヤツタモノハ、
豫算デサへ臨時軍事費特別會計ガ出來テ來
タノデアルカラ、金融ノ方モヤハリ其系統

日本ノ金融業者ハ不平ヲ言ヒ過ギル、人ハ動員サレテ居ルケレドモ、金ハ動員サレテ居ナイ、鷲鳥ノ毛ヲ拔クノニ、骨身ニ應ヘルヤウナ拔キ方ヲスルト云フコトハ拔ク人モ悪イカモ知ラヌガ、痛クモナイノニ痛イ痛イト言ウテ居ルノハ、是ハ時局ヲ認識シナイ人デアル、サウ云フコトヲヤッテ居ルト云フコトモアリマセウ、是ハ不平ヲ言ツテ居ルノハ向フガ惡イ、又一方ニ於テハ成

○中島委員 太田博士ノ御説明ニ依リマシテ大變能ク分リマシタガ、唯一寸誤解サレテ居リマス點ハ、私ハ別ニ新ナ系統ノモノヲ作ツテヤッテ行ケト云フ意味デハナイノデス、同ジ日銀、興銀ヲ使ッテモ、別勘定デヤツテ行ツタラドウカト云フ點ヲ、私ガ言ハナカッタノガ悪カッタノデアリマスガ、新シイモノヲ作ツテモ中々ソレデ出來ナイノハ固ヨリデアリマスガ、日銀、興銀ノ貸付ヲ以テスルト云フヤウナ場合ニ於テ、ヤハリ「リスク」ヲ踏マセル點ニ於テハ別勘定デ、同ジ機關ヲ使ツテヤッテ行クト云フコトモ考慮サレテアリマスカ、其點ハドウ云フ御考デアリマスカ

ニ倣ウテ、同ジ銀行ニヤラシテモ、別勘定ニヤラシタ方ガ私宜カラウト思ヒマスガ、先ヅ併シ博士ノ御言葉ニモ研究スルト言ハレマシタカラ、尙ホ時局ノ發展ニ從ツテ能タ御研究ナサランコトヲ希望致シマス。ソレカラ直グ次ノ問題ニ移リマスガ、ヒ半期ニ於キマシテ、金融ノ梗塞狀況ハ殆ド言語ニ絶スルモノガアルノデアリマス、私共民間金融業者ニ就テ詳細ニ調べマシタガ、實ニ戰慄スペキ狀態デアル、其點ニ付キマシテ、是ハ民間事業家及ビ金融業者ノ間ニ於テ非常ナ不平ガアル、又不満ガアル、株式モ御承知ノヤウナ狀況デアル、此戦争ガ勃發シタ當初ニ於テ、斯ノ如キ狀態は、餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマス、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマス。

ベクサウ云フヤウナ逼迫状態ニ置カヌヤウニスルニハ、戦争ノ初ニ於テ、殊ニ先ガドウナツテ行クカ、重大ナル戰局ノ發展ニ迄行ク力分ラヌト云フ時ニ於テハ、大藏省ハ日銀トビッシリト腰ヲ据エテヤッテ行カナケレバナラヌト私ハ考ヘマス、此上半期金融梗塞ノ状況ニ付テドウ云フ對策ヲ執ラレタノデアルカ、是ハ大藏大臣ニ聽キタイノデアリマスガ、事務的ノ問題デアリマスカラ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニ御承知ノ通リ前拂制度ガ會計法ノ爲ニ非常ニ遲レテ居ルヤウニ考ヘラレマス、此點ハドウ云フヤウニ御改正ニナル御考デアリマセウカ、會計規則ノ第五十九條デアリマスルカ、軍艦、兵器、又ハ彈薬ノ代金ハ前拂ニナツテ居ルガ、船舶ノ「チャーター」料ノ如キハ前拂制度

○太田政府委員 結局ハ監督作用モゴザイ

是ハ餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマシ

ニナッテ居ナイ、ソレガ爲ニ自動車、船舶ノ徵發ニ當リマシテ金ガ民間ニ放出サレルコトガ非常ニ遅レテ居ル、非常ニ船主ハ困リ、又儀裝費其ノ途ニ於テハ自分ガ付ケテ行カナケレバナラヌ、金ハ後カラ入ツテ來ルト云フヤウニナッテ居ル、此點ニ於キマシテ會計規則ノ改正ヲ政府ガ企テ居ルヤウナコトヲ、賀屋大藏大臣モ聲明サレテ居リマシタガ、ドウ云フヤウナ範圍ニドウ云フヤウニヤラレルカ、ソレカラモウツハ此點ニ付キマシテ支出官吏、支拂官吏、ソレカラ現金前渡官吏、ソレカラ徵發官吏、ソレカラ此金ヲ實際ニ渡ス市町村長、此間ニ於テ何等カ茲ニ系統ヲ改正シ、モウ少シ簡単ニ早クヤルベキ方法ハナイデアリマセウカ、此徵發ニ依ツテ民間ニ下ル金ノ遲レテ居ルノモ、金融梗塞ノ一つノ原因ノヤウデアリマス、是ハママ官邊カラ見タ金融梗塞ノ原因デアリマスガ、ソレカラ今年三月以來、四月五月六月七月ト、政府ノ民間ニ對スル撒布資金ガ昨年ニ比シテ非常ニ少イヤウニ感ズル、是ハ無論昨年ハ御承知ノ通リ公債ノ償還ガアツチ、現金償還ヲヤリマシタ、サウ云フヤウナ關係モ一部アツチ落チタ點モアリマセウガ、非常ニ少イ、而シテ稅金ノ方デ見マスルト、十二年

度ノ自然增收ノ見積ガ非常ニ大キアツタ所ガ去年ハ四千六百万圓デ濟ンデ居ル、斯當リマシテ租稅ノ納期ノ改正ノ問題ガアル、是ハ舊イ時代ニ作ツタモノニアッテ、此十億以上ヲ突破シタ租稅ニ對シマシテハ、ビツタリ行ツテ居ナイ、ソレカラ公債ノ利子ノ支拂ニ付テモ、金融界トイノデアリマスガ、要スルニ金融ノ逼迫状態ヲ調和シ緩和スルト云フ點ニ付テ、以上ノ點ニ對シマシテドレダケノ御改正ヲセラレル御心持デアリマスカ、一寸伺ヒタイト思ヒマス。

○太田政府委員 現在ノ金融情勢ニ關シマシテ洵ニ重要ナル、又政府トシテモシッカリシタ處置ヲ執ツテ行カナケレバナラヌ問題ニ付テ御質問ニナリマシタ、御示シノ如ク金融界ノ梗塞、是ハ生產擴充資金ニ對スル拂込ノ關係デゴザイマストカ、或ハ金現送ノ關係ナドカラ齎サレタ現象デモアリマスガ、斯ウ云フ非常時局ニ當リマシテハ、變バラ撒カレタ時ノ用意モ必要ニナッテ來ル譯デ、御示シノ通リ日本銀行、大藏省共

バナラヌコトハ申ス迄モアリマセヌ、ソコデサウ云フ處置ニ付テ、或ハ金融界ト又金融界ノ總括的地位ニアル日本銀行、大藏省トノ關係ガ旨ク行カナカツタト云フヤウナ御非難モ承ツテ居リマスガ、私共ト致シマシテハズツト行先ノコト迄考ヘテ見マスト、其手段ト御示シニナリマシタガ、全部各省トノ話ト云フ世ノ中モ考ヘナケレバナラナイ、ソレニ付キマシテハ如何ニ役人ノ方デドウ斯レニ付キマシテモ、民間トシクリ合ツテ行カラ先ヘ行ツテドウスルカト云フ處置ト、是ト思ヒマス、カルガ故ニ今アル處置ト、是共ニ俱ニ其宜シキヲ得ナケレバナラヌ譯デアリマシテ、或ハ日本銀行ヲシテ公債ヲ持タシメマストカ、皆様方ノ御協贊ヲ得マシタナラバ、茲ニ興業銀行ノ金融ノ途ヲ圖ルト云フヤウナ方法ヲ執ルト共ニ、現在ノ證券界或ハ金融界ノ關係ニ付キマシテモ、興業銀行ニ於テ相當ナ手當ヲシテ居リマスノトコトハ、此際最モ注意シナケレバナラヌコト思ヒマスノデ、實際ニ金ヲ拂フ方法ニ付キマシテ、大藏省竝ニ各省、殊ニ陸海軍トノ間ニ力ヲ協セテ、御趣意ニ副フヤウニ致シタイト思ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ國庫カラ普通ニ支拂ハレル關係ニ於キ

マシテ、通ツテ行ク機關ノ關係其他ニ付キ

マシテハ、御示シノ點ハ十分考ヘマシテ、

更ニ其方面ニ付テノ研究ト實行トニ進ンデ

行キタイト思フノデアリマス、今具體的ニ

例ヘバ町村或ハ府縣等トノ關係ト國庫トノ

關係ヲドウ云フヤウニヤッテ行クカ、其他

御示シノ點ニ付キマシテ具體的ノコトヲ申

上ゲル迄ニナツテ居リマセヌ、惡シカラズ

御諒承願ヒマス

○中島委員 理財局長ニ御尋シマスガ、此

支那事件ニ限ツテ陸軍ノ方デハ支出官一人

ニシテ、支拂命令官ガ一人、ソレカラ各師

團ニ於テ平生ハ經理ニ關スル支拂命令官ガ

居リマスガ、ソレガ今度ハ一人ニ纏メテ居

ル、現金前渡官吏ト云フモノガ各師團ニ置

カレテアツテ支出官ガ小切手ヲ切ッテ出サレ

ル、ソレカラ現金前渡官吏ガ現金ヲ受取リ、

ソレガ下士ノ方ニ行キ、其金ガ市町村ヲ廻ツ

テ微發サレタ人ニ行クト云フコトニナツテ

居リマスガ、各師團ニ從來ノ如クニ小切手

ガ切レル現金支出官吏ヲ置イテヤッタ方ガ

私共便利ノヤウニ思ヒマスガ、此點ニ付キ

マシテ、此改正ニ付テ御考ニナツテ居ナイ

デセウカ

○關原政府委員 事件費ノ支出ニ關スル問

便利ノヤウニ思ヒマスカラ、能ク御研究願

題デアリマスガ、御示シノ如ク各師團ニ於

テ普通ノ經費ニ付キマシテハ支出官ガ居リ

マス、併シ臨時事件費ニ付キマシテハ、各

師團ニ之ヲ分ツテ經理スルコトガ非常ニ困

難デアル、ソレカラモウ一ツハ支出ヲ敏速

ニスルト云フ立前カラ致シマシテ、中央ニ支

出官ヲ置キマシテ、他ハ資金前渡ノ方法ニ

依ツテ經理ヲスルト云フ從來カラノ例ニナッ

テ居リマス、ソレデ此點ハ御心配ニナツテ居

リマスル政府ノ支拂ヲ敏速ニスルト云フ立

前カラ申シマシテ、故障ニナルノデハナク

テ、寧ロソレヲ敏速ニスル「ツノ作用ニナッ

テ居ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、

即チ如何ナルモノヲ支出スベキカト云フコ

トガ確定致シマシタ場合ニ於キマシテ、其

金ヲ支出スル方法ニ、ソコニ支出官ガアツテ

小切手ヲ切ッテ渡シマンテモ、又ソコニ資金

前渡官吏ガ中央カラ資金ノ供給ヲ受ケテ居

リマシテ、自己ガ持ツテ居ル、若クハ最寄リ

モ前半ノ方ニ繰上ゲルコトガ出來マスレ

バ、其點ハ餘程避ケラレルヤウニ思ヒマス

ガ、ソレハ又他ノ方面カラシテ實行ガ頗ル

困難デアラウト思ヒマス、近時第一種所得

税、法人ノ租税ガ多クナツテ參リマシタノ

デ、此方面ニ相當留意致シマンテ、酒造税、

第三種所得稅等ノ納期トカチ合ハナイ時期

ニ於テ徵收スルコトヲ考ヘマンタナラバ、

是ハ餘程金融方面ニ益スル所ガアルダラウ

ト思ヒマス、此方面ニハ十分將來注意致シ

問題ニ付テ、餘程改正シナケレバイカヌト

思フガ、ドウ云フ對策ガアルカ伺ヒタイ、

ソレカラ國債ノ利拂ニ付テ是ハ銀行局長デ

スカ、理財局長デスカ、其利拂ノ時期ニ付

點ニ付テドウ考ヘルカ、簡單ニ御答願ヒ

タイ

○大矢政府委員 租稅ノ納期ヲ變更スルコ

トニ付テ御尋ガアリマシタガ、問題ニナリ

マスルノハ、金額ノ多イ第三種所得稅ト酒

造稅カト存ジマス、此兩稅トモ納期ハ現在

四期ニ分レテ居リマスガ、大部分年度ノ後

半ニ偏ツテ居ル關係上、或ル程度ノ重複ハ

避ケラレナイカト存ジマス、其納期ヲ若シ

モ前半ノ方ニ繰上ゲルコトガ出來マスレ

只今研究ヲ致シテ居リマス、殊ニ米穀證券

ノ如キハ、或ル期間ニ於キマシテハ月末二

十五日ノ償還期限ヲ二十日ニ繰上ゲルト云

フヤウナ方法モ執ツテ居リマス、是ハ元金ノ

コトデゴザイマスガ、利拂ニ付キマシテモ

資金ノ需要ノ關係ト調節ガ取レルヤウニ研

究ハ忘ラズシテ居リマス

○中島委員 領金部資金ニ付テ尋ネマスガ、
上半期ニ於キマシテ生産擴充資金トシテ、興
業銀行ニソレヲ預託シテ居リマシテ、
ドレ位アルカ、ソレカラ銀行局長ニ伺ヒマ
スガ、興業銀行ノ自己資金ヲドレ位生産擴
充資金トシテ與ヘラレテ居ルカ、ソレカラ
預金部カラ「コール」市場ノ統制ニ付テドウ
云フヤウナ對策ヲ執ラレテ居テ、又金額ヲ
放資サレテ居ルカ、御分リニナルト思ヒマ
ス、ソレカラ理財局長ニ御尋致シマスガ、
日銀ノ公債ノ買「オペレーシヨン」ニ付キマ

シテヤラレタ金額ハ七千万圓トカ、六千五百

万圓トカ、或ハ五千万圓ト言ハレテ居リマス

ガ、其買「オペレーション」ノ方法、ヤリ方、

又金額、斯ウ云フ點ニ付テドウナツテ居ル

カ、要スルニ上半期ニ於テ日銀、興銀ヲ督

テヤラレタ方法及ビ手段、其出シタ金額、

之ヲ一つ伺ッテ置キタイ

○廣瀬政府委員 只今御尋ノ預金部資金ノ

コトニ付テ御答致シマス、預金部ガ上半期

ニ於キマシテ短期ノ資金ヲ出シマシタモノ

ハ、只今御話ニナリマシタヤウニ生産擴張資

金ト云フヤウナハッキリシタ名前ノモノデ

ハナイノデアリマス、詰リ預金部ノ爲シ得

ル短期ノ資金、詰リ一箇年以内ニ期限ノ到

達スルヤウナ資金ヲ銀行ニ供給シテ居ルノ

デアリマスガ、其趣旨ノ中ニハ、今ノ生産擴

張ノ爲ニ銀行ガ貸出シマシタガ、社債ノ發

行ガ十分出來ナイ爲ニ、其出來ル迄ノ間繋

ギトシテ預金部ニ融通シテ貰ヒタイ、サウ

云ツタヤウナ趣旨ノ融通ガ若干アルノデア

リマス、ソレカラ今ノ「コール」資金ト仰シ

ヤイマシタガ、是ハ更ニ短期ノ資金デアリ

マシテ、其金額ハ色々計算致シマスト、最

近六月以後ニ出シマシタ金額ハ雙方合セテ

約八千万圓アリマス、ソレダケ御答シテ置

キマス

○中島委長 「コール」ハ幾ラデスカ

○廣瀬政府委員 「コール」ノ資金ト、ソレ

カラ生産擴張資金其他ノ意味ニ於テ、只今

申シマシタヤウニ銀行ガ資金ヲ出シマシ

テ、ソレニ對スル備ヘノ資金トシテ出シマ

シタモノニ對スル資金、雙方合セマシテ八

千万圓、斯ウ申上ダタノデアリマス

○關原政府委員 中島サンノ御尋ノ國債ヲ

買入レタ數字デアリマスガ、是ハ預金部資

金ノ運用ノ方法トシテ買入レマシタノデ、

只今數字ヲ持ツテ居リマセヌカラ、後程申上

ゲタイト思ヒマス

○入間野政府委員 興業銀行ガ本年六月末

ニ貸出シテ居リマス總額ハ約四億三千八百

万圓デアリマシテ、其内設備資金トシテ出

テ居ルモノト見ラレマス金ハ一億七千八百

万圓程アリマス、但シ上半期ニドレ程ソレ

ガ出テ行ッタカト云フ調ベハ出來テ居リマ

セヌカラ、遺憾ナガラ御答致シ兼ネマス

○中島委員 大體見當ハ分リマシタ、斯ウ

云フ際デアリマスカラ、官民一致金融ノ操

作ニ付テ十分ノ御努力ヲサレンコトヲ希望

致シマス、ソレカラ次ノ問題ニ移リマス

○川崎委員長 一寸中島君ニ申上ダマスガ、

御要求ノ大藏大臣ハ午前ハ無理デアリマシ

テ、午後一時ト云フコトデアリマスカラ、

一時ニナリマシタナラバ、アナタノ保留サ

レタ質問ハ一番先ニ御許シシタイト思ヒマ

ス、其御考デ……

○中島委員 ソレカラ臨時資金調整法ニ付

テ御尋致シタインデアリマスルガ、大體第

一條ニ、物資及資金ノ需給ノ適合ニ資スル爲

ニ國內ノ資金ノ使用ヲ調整スルト云フコト

ガ目的ニナツテ居ツテ、物ガ目的デ金ガ目的

デナイ、事業ガ目的デ金融機關ガ目的デナ

イト云フコトハ能ク分ツテ居リマスルガ、政

府ノ大方針ト致シマシテ、不急不要ノ事業

ニ第三條ノ方デ自治的ノ調整ヲ許シテ居ル

ノデアリマスルガ、自治的ノ調整ノ場合ニ

於キマシテハ、是ガ容易ニハッキリシナイ、

此處ヲドウセラレルノデアリマセウカ、殊

ニ第三條ノ方デ自治的ノ調整ヲ許シテ居ル

ノデアリマスルガ、自治的ノ調整ノ場合ニ

於キマシテハ、是ガ容易ニハッキリシナイ、

此處ヲドウセラレルノデアリマセウカ、殊

ニ第三條ノ方デ自治的ノ調整ヲ許シテ居ル

ノデアリマスルガ、自治的ノ調整ノ場合ニ

本ノ調整デアルト考ヘマス、「設備ノ新設、

擴張若ハ改良」トナツテ居リマスルカラ、

體サウト思ヒマスルガ、此點ニ付テ極ク簡

單ニ承リタイノデアリマスルガ、固定資本

ト流動資本ハ、固ヨリ學理的ニ考ヘ、若ク

ハ概念的ニ考ヘマスレバ能ク分リマス、所ガ

銀行ノ實際ノ扱ヒ方ニ付テ能ク分ラナイ、

行カ六行カノ銀行ニ對シテ、百万圓ヲ單位トシマスルト、或ハ十万圓宛借リテ置イタ時ニハ洵ニ分ラナイ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、概念トシテハ流動資本ト固定資本ハ能ク分ルガ、具體的ノ實際ニ付テ考ヘマスト、何處へ持ツテ行ツタカ分ラナイ、自治的調整ノ場合ニ於キマシテハ、殆ド此自治的調整ヲヤレナイ、何ニ貸シタカ分ラスト云ルカ

○太田政府委員 流動資本ト固定資本ノ分界ニ付キマシテ、實際ノ場合ニ當缺メテ見マスト非常ニ區別ノ困難ナ場合ガアルコトハ私共モ認メマス、モウ一ツ考ヘナケレバナラヌ事ハ、流動資本ト固定資本ノ關係ニ於キマシテハ、其貸ス期間、若クハ借リル方デ言ヘバ借リル期間ノ點ニ於キマシテ、短期長期ノ關係ノアルコトモ一ツノ標準カト思ヒマス、而シテ今申シマシタヤウニ、實際中島君ノ言ハレタヤウニ、謂フ許可ノ項ニ依リマシテソレヲ許スノデアリマスカラ、ソレニ對スル相當ノ監督ヲシナケレバナラヌ、實際ニ設備ニ使ツタモ

トシマスルト、或ハ十万圓宛借リテ置イタシテ、概念トシテハ流動資本ト固定資本ハ能ク分ルガ、具體的ノ實際ニ付テ考ヘマスト、何處へ持ツテ行ツタカ分ラナイ、自治的調整ノ場合ニ於キマシテハ、殆ド此自治的調整ヲヤレナイ、何ニ貸シタカ分ラスト云ルカ

○太田政府委員 ソレハ役人ノ方デハ調ベラレルト思ヒマスガ、實際ニ於テハ餘程人ト手數ガ掛ルノデアリマス、機關ヲ設ケナケレバナラヌ、銀行ガ自治的ニヤル時ニハ、是ハ中々検査スルコトハ出來ナイ、此點ハ太田政務次官ガ言ハレタヤウニ、立法上ニ於テハ、短期ト長期トニ分ケテヤルカラ借入ニ付テハ能ク調べテ見ルト分ルト言ハレマスケレドモ、實際ハ短期デ借リテ置イテソレヲ長期ノ方ニ使用スル、原料ノ買入ト稱シテソレヲチビノ使ヒ出シテ居ルト云フコトデ、長期化スルコトモアリ得ル、サウ云ト存ジマス、而シテ今申シマシタヤウニ、謂フ許可ノ項ニ依リマシテソレヲ許スノデアリマスカラ、ソレニ對スル相當ノ監督ヲシナケレバナラヌ、實際ニ設備ニ使ツタモ

ノガアルカナイト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、第十六條ニ依リマシテ報告竝ニ検査ノ權能マズ得ルコトニナシテ居リマスノデ、其報告ニ基キマシテ、係リノ方カラ始終御趣旨ニ副フヤウニ、本當ニ設備ニ使ツテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ調べテ見ル手段ヲ執ツテ、法ノ目的ヲ達シタイト思テ居リマス

○中島委員 ソレハ役人ノ方デハ調ベラレルト思ヒマスガ、實際ニ於テハ餘程人ト手數ガ掛ルノデアリマス、機關ヲ設ケナケレバナラヌ、銀行ガ自治的ニヤル時ニハ、是ハ中々検査スルコトハ出來ナイ、此點ハ太田政務次官ガ言ハレタヤウニ、立法上ニ於テハ、短期ト長期トニ分ケテヤルカラ借入ニ付テハ能ク調べテ見ルト分ルト言ハレマスケレドモ、實際ハ短期デ借リテ置イテソレヲ長期ノ方ニ使用スル、原料ノ買入ト稱シテソレヲチビノ使ヒ出シテ居ルト云フコトデ、長期化スルコトモアリ得ル、サウ云ト存ジマス、而シテ今申シマシタヤウニ、謂フ許可ノ項ニ依リマシテソレヲ許スノデアリマスカラ、ソレニ對スル相當ノ監督ヲシナケレバナラヌ、實際ニ設備ニ使ツタモ

ノガアルカナイト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、第十六條ニ依リマシテ報告竝ニ検査ノ權能マズ得ルコトニナシテ居リマスノデ、其報告ニ基キマシテ、係リノ方カラ始終御趣旨ニ副フヤウニ、本當ニ設備ニ使ツテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ調べテ見ル手段ヲ執ツテ、法ノ目的ヲ達シタイト思テ居リマス

○太田政府委員 此法ノ目的ヲ達スルヤウレダケ嚴格ニシテ、サウシテ省令マズ改正ニ資金ガウマク行クカト云フコトニ付キマ

ノガアルカナイト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、第十六條ニ依リマシテ報告竝ニ検査ノ權能マズ得ルコトニナシテ居リマスノデ、其報告ニ基キマシテ、係リノ方カラ始終御趣旨ニ副フヤウニ、本當ニ設備ニ使ツテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ調べテ見ル手段ヲ執ツテ、法ノ目的ヲ達シタイト思テ居リマス

ノガアルカナイト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、第十六條ニ依リマシテ報告竝ニ検

イト思フノデアリマス、而シテ御示シノヤ

ウニ是ガ自治的統制デウマク行カナイト云

フ場合ニ於キマシテハ、所謂政府ノ適當ト

認ムル方法デヘデゴザイマセヌノデ、第二

條ニ働き掛ケテ行クト云フ所マデ考ヘテ、一生

此法律ガ活キテ行クノデハナイカト考ヘマ

ス

○中島委員 マダ其方法ガ決ッテ居ナイト

云フノデ、非常ニ民間ノ人モ迷ツテ居リマス

ノデ、早ク決メテ、殊ニ此金融評議會ノ民

間側ノ答申ニ其時ニ答ヘタ所ニ依リマシテ

モ、斯ノ如キ團體ニ融資關係ヲ付議スルコ

トハ各行ノ營業上非常ニ困ル、到底行ヒ得

ナイ、營業者ガ積極的ニ法ノ目的ニ從テ

行動スル意思ガアル以上ハ、斯ノ如キ統制的

團體ハ必要デナイ、ソレカラ團體的行動ハ

各金融機關全部ニ法ノ趣旨ヲ徹底サセレバ

ソレデ宜イノデアッテ、實際ノヤリ方ハ各

自ノ自制ニ一任シテ貰ヒタク、自制一任、

自治的統制、斯ウヤツテ行キタイト言ウタ

ト承ッテ居リマスルガ、果シテ本當デアル

カ嘘カ、ソレハ分リマセヌ、私ハ出席セラ

レタ人ニ聞キマシタノデアリマスガ、果シ

テ然ラバ、是ハ俺ニ任セヨ、自制ニ一任セ

ヨト言ウテモ、自制ガ出來ル人ナラ宜イケ

レドモ、中々出來ナイ、弗買ヲヤツタコト

モ御承知ノ通リデアリマス、昭和二年以來

ノ金融界ノ大恐慌ハ誰ガ火ヲ付ケタカ、ヤ

ハリ金融業者自ラガ火ヲ付ケタノデアル、

非常ニ「エゴイスト」デ、所謂個人主義デア

ル、庶民階級ハ調整セラレテ行ッテ、一生

懸命國家ノ爲ニヤツテ居ルノニ、資本家ダケ

ハサウ云フコトヲ言ウテ居ル、之ニ對シテ

果シテ政府ハ所謂此自制一任グラキノ程度

デ任セラレルカドウカ、ソレデハ此第三

條、又第二條ト云フモノハ殆ド空文ノヤウ

ナコトニナツテ、資金ハ法ノ目的ニハ統制

サレナイト私ハ考ヘル、此點ニ付キマシ

テ、是ハ大藏大臣ニモ所信ヲ承ッテ見タイ

ト思フノデアリマスガ、斯ウ勝手ナコトヲ

言ツテハイケナイ、固ヨリ統制ヲ強化シ

テ、産業界ヲ萎靡沈滯サスコトハイカンデ

セウガ、併ナガラ彼等ノ從來ノ經驗ニ微シ

マシテモ、最近ノ昭和一年ノ金融以來非常

ニ……

○川崎委員長 一寸中島君御發言中失禮デ

スガ、此問題ハ非常ナ重要ナ問題ト思ヒマ

ス、是ハ大藏大臣ガ來ラレタ時ニ十分御問

ヒ下サルコトガ宜イト思ヒマスガ、ドウデ

セ然ラバ、是ハ俺ニ任セヨ、自制ニ一任セ

セウカ

時ニ更メテ承リマス、マダ決ッテナイヤウ

デアリマスカラ、決ッテナイト此法案ノ審

議ニ相當考慮シナケレバイカヌト考ヘマ

ス、ソレカラ事業ニ付テ貸ス事業ト貸サヌ

係スル事業デアルトカ、或ハ軍需品ニ關係

スル事業デアルトカ、或ハ生産擴充ヲ要ス

ル事業トカ云フヤウナコトヲ仰シヤラレテ

居リマスガ、此事業ニ付テ詳細ニツ命令

デ規定シナケレバイカヌト思ヒマスガ、規

定スル意思ガアルカ、規定シナイトスルナ

ラバドウ云フ標準ヲ與ヘルカ、或ハ是ハ今

決ッテ居ナイノデアッテ、第十一條ノ臨時資

金調整委員會ニ依ツテ決メルノデアリマス

カ、政府ハ原案ガナインデアリマスカ、民

間ニ於テモ非常ニ此點ニ付テ迷ツテ居リマ

シテ、早ク聽カセテ安心ヲ與ヘル必要モア

ル、一方カラ言ヘバ愚圖々々シテ居ルト今

見越拂込ガ非常ニ行ハレテ居ル、此法律案

ガ出サレルト云フコトガ聞エテ以來、十億

ニ近イ所ノモノガ見越拂込ヲヤツテ、ソレ

ガ爲ニ金融界ハ非常ニ逼迫シテ居ルヤウナ

状態ニナツテ居ル、是ハ民間ニ及ボス影響

重大ナルモノガアリマスルカラ、政府モサウ

ニ付キマシテ明ニセラレンコトヲ希望致シ

○太田政府委員 先程私ノ申シタコトニ一
マス

寸誤解ガアルヤウデゴザイマスガ、政府ノ

自治的統制ニ對スル意見ハ決ッテ居ルノデゴ

ザイマス、併シ自治的統制ナルガ故ニ、先ヅ

第一ニ自治的統制ヲショウト云フノ人ノ方カ

ラ出テ話ヲ付ケテ行キタイト云フノデゴザ

イマシテ、其點ハ誤解ノナイヤウニ御願致

シマス、只今御質問ノ、如何ナル事業ニ之

ヲ用ヒルカト云フ點ハ、此法案ノ重點デア

リマス、而シテ此法律ヲ施行スルニ付キマ

シテモ、附則ニアル如ク各條ニ依ツテ施行

ノ時期ガ違フト云フコトハ、先づ早クドウ

シテモ、而シテ此法律ヲ施行スルニ付キマ

シテモ、附則ニアル如ク各條ニ依ツテ決定

シナケレバナラヌト云フ關係ガ主ニナツテ

居ルノデゴザイマス、而シテソレヲ決メマ

スルノハ非常ニ大キナ問題デゴザイマスル

ノデ、此法案ノ中ニアリマスル通り、臨時

資金調整委員會ニ於テ之ヲ決定スルコトニ

ナルノデアリマシテ、商工省大藏省共管ノ

下ニアル關係上、内閣ニ大キナ調査會ヲ置

キマシテ、ソレニ依ツテ事ヲ決メタイト思

フノデアリマス、併シ御言葉ノ如ク、一寸

見マシテハ見越ノ關係ナドガ起リマスルノ

デ、既ニ其原案ノ原案トモ謂フベキモノヲ

一昨日カラ會議ヲ致シマシテ、政府部内ニ

臨時資金調整準備委員會ト云フモノヲ設ケテ、其答申竝ニドンナモノガ斯ウ云フヤウニ分タレルカト云フ原則ヲ示シマシテ、大藏商工兩方面ニ於テノ協議ヲ進メテ居リマス、其方針ト申シマスノハ、事業ヲ大體ニ於テ三ツニ分チ得ルノデハナイカト思ヒマス、其一ハ積極的ニ金ヲ注込ム關係ノモノ、其二ハ金ヲ注込マレナイトスルモノ、其三ハ中間ニ位スルヤウナモノニアリマス、第一ニドウ云フ事業ニ金ヲ振り向ケラレルカト云フ原則ニ付キマシテハ、國防ニ直接關係アル產業、及ビ是ト最モ密接ナル關係ニアル基礎產業デアッテ、生産設備ノ不足セルモノ及ビ近キ將來ニ於テ需要ガ激増シ、其結果生産設備ノ不足トナルベキモノ、之ニ對シマシテ第一ノ種類ノモノヲ決メヨウ、ソレハ既ニ原案ノ原案トシテ話ノ付イタモノハ、今朝ノ新聞紙上ニモアリマシタガ、一々述ベマスルト時間ガ掛リマスルカラ、今朝マデニ決タ程度ノモノハ後デ書類デ差上げテモ結構カトシマスト、ニドンナモノニヤラナイカト申シマスト、生産力ノ過剩ナル事業、贅澤品、奢侈品、其他當面國家全般ノ見地カラ見マシテ必要ノ薄イ物品ノ製造業、尙ホ此際トシテ不急不要ト認メラレル事業ニ付キマシテハ、之

ヲヤラナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フ二種類ニ決メテ行ッタト致シマシテモ、尙ホスウ云フコトニキチント當嵌メ難イ問題モアリマス、ソコデサウ云フ第三ノ種類ニ付キマシテハ、國防トノ關係、關國際收支改善トノ關係、其他ノ色々ノ事情ヲ考ヘマシテ其モノヲ決メテ、ソレハドチラカト言ヘバ、第一種ノ方ニ振り向ケル態度ヲ取ツテ居ルト思フノデアリマス、併シ此業態ヲ決メルト云フコトハ非常ニ大キナ問題デゴザイマスルノデ、資金調整委員會ヲ設ケテ、是ハ三、四十名ノ非常ニ大キナ、金融界、產業界竝ニ議員諸君ノ御參加ヲ願ヒマシテ、ソレニ兩省關係ノ官吏ヲ入レマシテ、日本ノ現下ノ事業ニ付テ、是ハ資金ヲ注込ムベキモノ、是ハ注込ムベカラザルモノトスル重大ナ關係ヲ決メルノデゴザイマスルニ依ッテ、斯様ナ手續ヲ執ツテ居ル次第デ、決シテ見越ガ出來ルコトヲユックリ構ヘテ居ルノデハナク、役人ノ方ニ於キマシテモ準備委員會ヲ持ツテ其ノ原案ノ原案ヲ作リ、只今申シマシタ方針ノ下ニ進ンデ居ルト云フコトヲ申積リデアリマスカ

○太田政府委員 入リマス
○中島委員 ソレデ宜シウゴザイマス、ソレカラ第六條ノ興業債券、擴張ノ元利支拂ノ保證デアリマスガ、連帶保證デスカ、是モ簡単ニ伺ッテ置キマス
○太田政府委員 連帶保證デアリマス
○中島委員 ソレカラ此ノ五億ノ國家保證ノ後ノモノデアリマスガ、其内ノ二億五千萬圓ハ、昨日賀屋大藏大臣ガ金資金デ持ツト仰シヤラレタノデアリマスガ、其通リデナリ、是ガ大變ニ事業界ニ於ケル所ノ指導的ノ地位ニ立ツ、政府ハ此ノ發行條件ニ對シテドレダケノ方針ヲ御有チニナルノデアリマスカ

○關原政府委員 只今ノ御質問ハ御尤デアリマス、只今私共デ色々研究シテ居リマスガ、政府トシテ斯ウ云フ風ニ決定シテ居ルト云フ所マデ行ッテ居リマセヌ
○中島委員 研究シテ、是ハ直グ出サナケレバイカスト思フノデアリマス、金資金デニナルト云フ譯デナク、謂ハバ権ヲ付ケルト申シマスルカ、資金ノ間ニ融通ノ途ヲ付ケルモノデゴザイマシテ、又ソレガ轉々シテ行ク、回轉シテ行ク關係モゴザイマスルカラ、只今ノ所之ヲ増ス必要ハナイト存ジテ居ル次第デアリマス
○中島委員 理財局長ニ問ヒマスルガ、社債ハ御承知ノ通り昨年以來發行ガズーット止ツテ居ル、是ハ誰モ知ツテ居ル通リデアリマスガ、興業債券ノ社債ノ發行條件ト云フモノヲ非常ニ民間デハ注意シテ居ル、ドウ云フヤウナ條件デヤルノデアリマスカ、最近ノ興業銀行ハ、四分一厘「ペー」ノ十年、或八百圓、九十九圓ト云フヤウナ條件デヤッテ居ルノデアリマスルガ、此條件デヤッテ行クノデアリマスカ、是ガ低金利ノ標準ニナリ、是ガ大變ニ事業界ニ於ケル所ノ指導的ノ地位ニ立ツ、政府ハ此ノ發行條件ニ對シテドレダケノ方針ヲ御有チニナルノデアリマスカ

根本的ノコトハ大藏大臣ガ御出席ニナッテ
カラ御尋スルコトニ致シマセウ、ソコデ政
府委員ノ方ニ尋ネテ宜イコトヲ御尋致シマ
ス、此法律ヲ作ラレルノガ短期デアッタカ
ラシテ、十分ニ御考ニナッテ居ラヌヤウニモ
思ハレルノデアリマスガ、併シ一旦法律ト
ナツテ公布ニナッタナラバ、殆ド事業界ハ此
臨時資金調整法ニ束縛サレテ手モ足モ出ス
ヤウニナッテ來ルノデアリマス、ソコデ此問
題ニ關スル勅令ト省令トニ付テハ、政府ガ
後ニ又改正シヨウト思ヘバ自由ニ出來ルノ
デアリマスガ、ソレデモ一ツ詳シク其要綱
ヲ見タ上デ註文ヲシテ置カナケレバナラヌ
コトモアルト思ヒマス、アトノ四ツハ私ハ
必要已ムヲ得ヌモノダト思ヒマスガ、併ナ
ガラ此臨時資金調整法ニ付テハ、私ハマダ
ドウダラウカト云フ頭ヲ持ツテ居ルノデス、
ソコデ政府委員ノ御方ニ具體的ニ一ツ聽イ
テ見タイノハ、此不急事業ト云フモノハ如
何ナルモノデアルカ、今中島君ガ問ハレタ
ノト丁度反対ニナッテ行ク譯デアリマスガ、
今朝ノ新聞ニ依ツテ見マスト色々ノ名目ヲ舉
ゲテアリマスガ、不急事業ノ方、許可セザ
ル事業ノ方ハ舉ゲテナイ、未定ダト云フ、一
體法律ヲ作ル時ニハ豫メ、先刻太田政府委
員ガ御話ニナッタ一、二、三——一ハ積極的

ニヤラスベキ事業デ許可スベキモノ、二ハ
然ラザルモノ、三ハ其中間ヲ行クモノト言
ハレマシタガ、サウ云フモノガ決ツテ居ラ
ナケレバナラヌ、其許可ヲ爲スベカラザル
事業ハ何々デアルカ、之ヲ一ツ御尋シタイ
ト思ヒマス

○太田政府委員 先程中島サンノ御質問ニ
モ御答申上ゲマシタ通り、此業態ヲ決メル
コトガ非常ニ重大ナ、殆ド此法案ノ中核ト
モナルモノデゴザイマシテ、取急イデ決メ
タイ爲ニ準備委員會ト云フモノデ役人側ノ
意見ヲ作ラセマシテ、サウシテ此法案ガ通
ルト直グ、總理大臣會長ノ下ニ於ケル資金
調整委員會ニ、民間ノ意見ヲ深ク入レテソレ
ヲ決メタイト云フノデアリマス、業態ノ種
類モ、吾々ノ手許ニ於ケル原案ニ於キマシ
テモ非常ニ大キナ數デ百或ハモット出テ居
ルカトモ思ヒマスガ、其中デ振分ケテ行カ
ナケレバナリマセスノデ、コチラノ原案ヲ
出シテ、ソレガ禍ヲスルヤウナコトガアッテ
ハドウカト云フノデ、委員會ニ主力ヲ置イ
テ、其原案ヲ今進メテ居ルヤウナ状態デアリ
マス、此事業ガ不急、此事業ガ不要ト云フ
申上ゲルコトハ出來ナイコトモ御諒承ヲ願
ヤウナ限界ニ付テノ、具體的ノ政府案ヲ茲ニ
ヒタイト存ジマス

○森田委員　サウスルト、是ハヤハリ初メ
大藏大臣ニ對シテ質問ヲセヌカラ順序ガ極
ク惡クナッタノデアリマスガ、一體是ハ財
界ニ大キナ變革ヲ來ス法律デアリマス、是
ハ何ト云ッテモ從來曾テ無カツタコトヲ作
ル、根本ノ變革ヲ來ス法律ヲ作ルノニ、黒
蓋デ贊成シナケレバナラヌノデス、黒蓋トハ
許可スル事項モ分ラズ、許可セザル事項モ
分ラズ、法律ヲ制定シテモ悉クソレヲ勅令
ヤ省令ヤ、或ハ今後民間ト一緒ニ作ルベキ
委員會ナドニ其權限ヲ讓ッテシマッテ、吾々
此法律ニ協賛ヲ與ヘル者ハ悉クヲ分ラナナイ
裡ニ贊成ヲシナケレバナラヌヤウナ狀態ニ
立至ツタノデアリマス、是ハ根本觀念ノ事
デアリマスガ、如何ニモ私ハ此法律ヲ出シ
テ協賛ヲ求メラル、以上ハ、ソレ位ノ準備
ガ出來テ、而シテ之ヲ急ガル、ナラバ此議
會ニ出サルベキモノデアッタシ、然ラザル
モノナラバ是ハ通常議會ニ御出シニナッテ
差支ナシ、國內ノ圓紙幣ノ調節ハ正貨ノ流
出トハ根本ニ相違致シマス、國內ノ資本
ガ、何レニソレガ流レテ行キ、何レニソレ
ガ投資サレヨウト、結果ニ於テ私ハ利害ハ
ナイト思フ、單ナル公債ヲ賣付ケンガ爲ト
云フカ、應募セシメンガ爲ニ、斯ウ云フ方
法ノ御努力ヲナサルノデアルトハ御察シ

マスガ、却テ私ハ斯ウ云フヤウナ事ヲヤツテ
財界ニ動搖ヲ來サシメルコトガ、公債ノ引
受ヲ減退サス結果ニナルト思ハレル、デア
ルカラ今黒蓋デ全部之ヲ鶉呑ニシテシマヘ
ト言ハレルノハ、如何ニモ私ハ御無理デハ
ナイカト思フノデス、太田サンデ結構デス
ガ、アナタハ民間カラ出テ居ラレル政務官
デアラレマスカラ、多少オ役人ノ考ヘテ居
ラレル事トハ違ヒハセヌカト思フ、ダガア
ナタハヤハリ省内ニ居ラレテ之ヲ御出シニ
ナツタノデアリマスカラ、此邊ノ御觀念ラ
多少私ノ質問時間ガ減リマシテ已ムヲ得マ
セヌガ、伺ヒタイト思ヒマス

ハ、至急ニ勅令、省令等ニ依テ示シテ
クケレドモ、事業ノ關係ニ付キマシテハ、
原案ガ準備トシテナイノデハゴザイマセ
ヌ、唯ソレヲ發表スルコトガ宜イカドウカ
ト云フコトハ、委員會ニ於ケル決議ニ讓ル
ノガ私共トシテ至當デアル、俗ニ申ス役人
獨リ決メノヤウナ考ニ於テ此事業ヲ示スコ
トハイケナイ、寧ロ御趣意ノヤウニ民間ノ
意思ヲ本當ニ入ルト云フ考デ行カナイ
ト、先ニ是レヽノ事業ハ不急デアル、是
レ是レノ事業ハ不要デアルト致シマスト、却
テ惡イ結果ガ起ルデハナイカ、寧ロ慎重ナ
態度ヲ執ツテ、役人獨善ノ謗ノナイヤウ
ニ、用意トシテハ役所ハ勿論持ツテ居リマ
ス、又持ツテ居ルガ故ニ準備委員會ヲ進メ
テ居ル譯デゴザイマスガ、此點ニ付キマシ
テハ此法律ガ出來ルト直グ委員會ヲ開キタ
イ、其意味ニ於テ此法律ノ施行モ、最後ノ
附則ニ、各條ニ依ツテ 施行時期ヲ變ヘテ居
ル次第デアリマス、其考ヲ以チマシテ民間
ノ意向ヲ主ニシテ行キタイ、ソレヲ深ク入
レタイト云フ意味デ、今マデ色々々ナ會ガゴ
ザイマスガ、今マデノ會合ヨリモ私共ノ考
ヘル所ニ於テハ非常ニ之ヲ重ク視マシテ、
總理大臣ヲ會長トスル委員會マデ持ツテ行
テ、ソコニ貴衆兩院ノ御意見モ入レ、金融

業者、産業家ノ意見モ入レテ、國家ノ意思トシテ茲ニ敢然トシテ此非常時局ニ當ツテ行クキッパリシタ所ヲ決メテ行キタイ、役人ノ考ヘタ所ハ、御指示シノ通リヨク間違モゴザイマスノデ、又爲替管理ナドノ關係ニ於キマシテモ色々々ナ非難ヲ頂戴致シマシタガ今回ハ民間ノ意思ヲ深ク入レタイト云フ考デアリマシタノデ、準備トシテ役人ノ方ニ考ガナイ、斯ウ云フ意味デハゴザイマセヌノデ、其點ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

シ、簡拔ケデハ馴目アリマス、其點ニ付テ十分ニ御考慮ヲ願ヒマス

○太田政府委員 今ノ金融評議會ト申サレ
マシタノハ、私ガ若シサウ言ッタナラバ聞
違ニアリマシテ、資金調整委員會デアリマス、
マダソンナモノハ何處ニモ發表シタ
コトハゴザイマセヌカラ、ソレハドウゾ誤
解ノナイヤウニ御願シマス

○森田委員 關聯事項ハ其人ガ濟ンダ後デ
願ヒマス——私ノ言ハントスル所ハ今中島
サンガ大體盡サレマシタガ、サウスルト結
局太田サンノ御話ハ政府ノ御考デアリマス
ガ、此法律ニ依ツテ見ルト二種ノ委員會ヲ
作ルヤウニナッテ居ル、其二種ノ委員會ノ
人々ト根本的ニ相談ヲスルノデアッテ、吾
吾國民代表者、此法律ノ審議ニ參與スル者
ニハ示サズニ、今度此法律ニ依ツテ將來任
命サレル委員ニハ其悉クヲ打明ケテ相談モ
シヨウ、此代議士ノ寄ツテ居ル國民ノ代表
者、法律ヲ作ルカ作ラヌカト云フ根本ヲ成
ス吾々委員ニ伺ツテハソレハ發表ガ出來ヌ、
斯ウ受取レルノデスガ……

○太田政府委員 私ノ申シ方ガ惡イノデゴ
ザイマスガ、元々斯ウ云フ業態ヲ決メルニ
付キマシテハ、原案ノ原案トモ言フベキモ
ノヲ役所側デ示シテ行クノガ正シイカト思

ヒマスガ、先程申シマシタ色々な事情ガゴザイマスノデ、私ハ皆様方ノ意向ヲ入レテ、ソレヲ此委員會ノ方ニモ報道シテ作ツテ行クト云フ協力シタ考デナケレバ、實際ニハ難カシカラウト思ヒマス、議會ヲ輕視スルトカ、サウ云フ意味デ私ハ申上ゲタノデゴザイマセヌノデ、皆様方ガ斯ウ云フ事業ハ入レルベント云フ御意向ガアリマシタナラバ、ソレヲ織込ンデ行クヨリ外ナイト思ヒマズ

<p>之ヲ協賛ヲ與ヘル前ニ、吾々委員ニダケハ見透シガ付ケラレルヤウニハッキリトシテ戴カヌト困ル、私ハ率直ニ申上ゲレバサウ緊急ニ迫テ居ルモノトモ思ハレズ、又ドサクサ紛レニ斯ウ云フヤウナモノニ直グニ協賛ヲ與ヘシマフコトハ、私ハ結果ガドウカト非常ニ心配シテ居ル、而モ政府委員ノ人ニ其事業ノ區別スラ分ッテ居ナイヤウナモノニ、险呑デ危険デ私一人ハ此儘デハ贊成ニ躊躇スルノデアリマス、何カ急速ニハッキリ出來ルヤウナ方法ガ執レマスカ、執レマセヌカ</p>
<p>○太田政府委員 業態ノ政府案ヲ發表シ得ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、後刻大藏大臣ト相談致シマシテ御返事申上ゲタイト存ジマス</p>
<p>○森田委員 ヤハリ私ハ大藏大臣ガ出ラレテカラ質問シナイト、大局的デアリマスカラ質問ノ順序ガチャント付イテ行カヌノデス、私ハ此程度デ大藏大臣ガ後刻出席セラレテカラ初メカラ質問シタイ</p>
<p>○川崎委員長 承知致シマシタガ、森田君ハモウ御質疑ニナシテ居ルノデアリマスカラ、御質疑ニナシタ残リノ時間ヲ御許シ致シマス——次ハ松田喜三郎君</p>
<p>○松田(喜)委員 私ハ支那事變ニ從軍シタ</p> <p>軍人軍屬ニ對スル租稅ノ減免ノコトニ付キマシテ質問シタイト思ヒマス、命令要綱ノ中ニ所得稅ニ付キマシテ、出征シタル軍人軍屬ノ從軍ト云フコトガ書イテアル、ソレカラ應召軍人ノ從軍トアリマスガ、此中ノ「從軍」ト云フ文字ハ、内地ニ居リマシテ從軍シタ者モ即チ從軍デアラウト思ツテ居リマス、出征ト從軍トハ區別ガアルヤウニ思ヒマスガ、從軍ト云フノハ内地ニ居ッテモ從軍シタコトニナリマスガ、第一番ニ從軍ト出征トノ區別ヲ御聽キシタイト思ヒマス</p> <p>○大矢政府委員 戰時給與規則ニ依ツテ増來戰時給與規則ニ依ツテ給與ヲ受クル間ノ者ハ總テ從軍シテ居ル者ト云フ風ニ解釋シテ居リマス、出征ト申シマスノハ極ク簡單ニ申上ゲマスルト戰地ニ行ッテ居ル者、斯ウ云フ趣旨デ、兩者ノ間ニ違ヒガアリマス</p> <p>○松田(喜)委員 サウスルト軍人ノ俸給竝ニ手當ガ、從軍ト出征シテ居ル者トデ違ヒマスカ、即チ戰地ニ在ル者ト内地デ從軍シテ居ル者トノ間ニ違ヒガアリマスカ、分リ切ッタコトデアリマスガ、私ハ知リマセヌカ</p> <p>○大矢政府委員 全ク今ノ御話ノ通リデアラ先ニ聽イテ置キマス</p> <p>○大矢政府委員 戰時給與規則ニ詳シク規定サレテ居リマス、兩者ノ間ニ違ヒガアル場合ガアルノデアリマス</p> <p>○松田(喜)委員 區別ガアル、ソコデ私分リ兼ネマスノデスガ、例ヘバ出征シタ者ハコデ第一ノ即チ現役軍人ガ從軍中ノ俸給手當ト云ヒマスカラ、ソレハ即チ平時ノ俸給手當以上ニ、出征シマスルト俸給手當ガ十割ナラ十割殖エマスカラ、其合計シタモノヲ更訂スルノデアルカ、出征シタ爲ニ増額セラレタダケヲ更訂スル意味デアリマスカ</p> <p>○大矢政府委員 所得稅法ニ依リマスト、居ッテ戰時給與ヲ受クルノハ、陸軍ト海軍ト違ヒマスガ、大體内地ニ居ル場合ニハ加給ノ程度ハ半額或ハ三分ノ一ト云フヤウナト違ヒマスガ、給與ノ程度ハ半額或ハ三分ノ一ト云フヤウナ</p> <p>○松田(喜)委員 ソコデ出征シタル軍人軍屬ノ從軍中ノ俸給及ビ手當ハ所得額ノ中ニ算入セズシテ更訂ヲスルト云フコトデアリマス、其次ニハ應召軍人ノ從軍ト云フコトハ即チ現役ノ軍人ガ出征シタル場合ヲ指シ、第二ノ方ハ應召軍人ノ出征ヲ指スノデアラウト思ヒマスガ、其邊ガ一寸分リマセヌ</p> <p>○松田(喜)委員 其次ハ田畠ノ自作トカ漁業トカ、營業又ハ職業ノ所得ヲ、三千圓以下ノ者ニ付テハ所得ノ四分ノ一以上ヲ減ジタ時ニ於テ更訂ヲスルト云フコトデアリマスガ、是ハ能ク分ツテ居リマス、所ガ茲ニ地租ニ付キマシテハ「應召軍人從軍ノ場合ニ於テ應召ニ因リ田畠自作所得著シク減少シタリト認メラル、トキハ」ト書イテアル、此「著シク」ト云フコトガ洵ニ具體的デナクシ</p>

ト云フコトニナルト、其間ニ予盾ハナイカ
ト思フ、即チ將校ガ澤山俸給ヲ取ツテ居ル、
ソレヲ免除スルノガ惡イト言フノデハナイ、
ソレハ此戰時ニ於テ御引キニナルコトハ當
然デマル、デアルガ自作農——自作農ニモ
非常ナ差別ハアリマスケレドモ、先ヅ小サ
イ者ガ多イ、五反百姓ニ漸ク自作ヲシテ居
ルヤウナ者ガ、著シク減少シタ時分デナカッ
タラ二分ノ一ヲ引カヌト云フ、ソコニ矛盾
ガナイカ、農山漁村ノ者ハ隣保共助ヲシテ、
出征シテ居ル者ニ後顧ノ憂ノナイヤウニ、
收穫ヲ減ラサヌヤウニシテ居ル、サウ云ウ
モノニハ引カヌト云フ、私ハソコニ矛盾ガ
ナイカト言フノデアリマス、私ガ心配シマ
スルノハ、斯ウ云フ心配ヲ第一番ニスルノ
デアリマス、應召軍人即チ出征シテ居ル所
ノ兵ト云フモノヲ考ヘテ見マスルト、一等
兵ヤ二等兵デアリマスルト、給料ハ一日十
八錢デアリマス、上等兵ハ二十錢、伍長勤
務ノ上等兵ハ二十三錢デアリマス、斯ウ云
フ人ガ出征ヲ致シマスルト、戰時給與規則
ニ依リマシテ十割増シテ吳レマスルカラ、
一二等兵ハ一日三十六錢貰ヘル、一箇月ニ
約十圓程ニナラウト思ツテ居リマス上等兵
ハ二十錢デアリマスルカラ、是ハ四十錢トナ

リマシテ、一箇月ニ十二圓トナリマス、伍
四十六錢トナルノハ是ハ分ッテ居リマス、
或ハ下士ニシマシテモ、伍長ニハ一等二等
ガアリマシテ、二等ガ九圓、一等ガ十
圓五十錢、軍曹ハ一等ハ二十二圓五十錢、
二等ハ十八圓、三等ハ十五圓、四等ハ十三
圓五十錢トナツテ居リマス、斯ウ云フ人モ大
體十割増デアリマスカラ二倍貴ヘル、是ハ當
然デアリマス、ソコデ私ガ言ヒマスノハ、
政府ニ於キマシテ斯ウ云フ風ニ所得稅、或
ハ地租、營業收益稅、有ユル方面ニ於テ減
稅等ヲ致シマスルガ、此兵、或ハ下士官以
下ト言ウテ宜シウゴザイマセウガ、是ガ出
征シテ、ソレガ爲ニ家族ノ者ハ生活ニ困ル
者モ出來マス、或ハ七八人ノ子供ヲ振り捨
テ、縊ル妻モ、老イタ兩親モ置イテモ出征
ヲスル、尤モサウ云フ人ニハ扶助法ト云フ
モノガ出來、或ハ地方ニ於キマシテモ救濟、
後援、有ユル事ヲ以テ國民精神ヲ發揮シテ
救濟致シテ居リマスルガ、給料ノ倍貴ウタ
所ガ一日ニ三十六錢デアル、斯ウ云フ人ノ
隣保共助ダトカ、或ハ政府ノ救濟等ガドノ
程度ニナルカト云フコトヲ聞クテ見マスル
ト、政府ノ扶助方針ハ最高一日ニ付テタツタ
三十五錢デアル、ソレモ三人ノ家族ガアレ

バ一日ニ三十錢トナリ、二十錢トナツテ減イノデアリマスガ、此救助ヲ貰ヘタ所ガ一
日ニ僅ニ一圓カソコラノ金シカ救助サレナ
國軍人トシテハ嬉シク思ハヌノデアリマ
ス、ソレモ困リ抜イテ居ル人ハ申出マセ
ウ、或ヘ市町村長等ガ申出デテ救助ヲ與ハマ
セウケレドモ、日本軍人トシテ左様ナ助ケ
ヲ貰フト云フヤウナコトハ嬉シク思ハヌノ
デアリマス、出征スル時分ニハ家族ハ言ウ
テ居ルノデアリマス、淘ニ氣ノ毒デアル、
救助ヲシテヤルト市町村長ガ言ヒマシテ
モ、主人ハ國家ノ爲ニ行ツテ居ルノデアリ
ル、今元氣デヤツテ居リマス、マダ戰死ヲ
シテ居ルノデモナイ、吾々家族ノ者ハ芋鬻
ヲ食ッテモ生キテ居ル、砂ヲ嚙ンデモ生き
テ居ル、野菜バカリデモ生キテ居ル、今御
救助ヲ受ケフ子子女ノ教育上ニ困ル、或ヘ主
人ガ武勳ヲ輝カシテ戻ッタ時分ニ、此者ハ
ガ澤山アリマス、私ハ現政府ヲ攻撃スルノ
デモ何デモアリマセヌガ、此戰時給與規則
ヲ改正シテ、少クトモ最低一日一圓位ノチ
ノヲ渡スヤウナコトヲセナカツタナラバ、
今ノヤウニ僅カノ兵ガ出征シテ居ルナラ

正確ナ數ハ政府ハ發表シマセヌシ、私モ知リマセヌガ、此戰爭ハ如何ニ短期デ濟マサウト致シマシテモ、ドレダケ掛ルカ分リマセヌ、長期ノ覺悟ヲセナケレバイケマセヌ、又兵士モ澤山出征シテ、早ク解決セナケレバナラヌト云フ方針ダラウト思ツテ居リマスルガ、今日ダケノ出征者デアッタナラバ、農山漁村ニ於キマシテモ隣保共助ガ出來マセウ、隣リモ助ケマセウケレドモ、此以上倍出ルカ、三倍出ルカ分リマセヌ、之ヲ確言シ得ル人ハ一人モナカラウト思フ、其時分ニハ隣保共助ガ出來マセヌ、三軒ニ一人トカ、二軒ニ一人モ出ルト云フヤウナコトニナツタラ、逆モ隣保共助ハ出來マセヌ、私ハソコヲ心配スル者デアリマス、淘ニ私ニ心配ニ堪ヘヌ、又私ハ農漁山村ノコトヲ言ヒマシタガ、例ヘバ東京ノ小サイ商人ハドウ致シマス、如何ニ組合等ヲ作ツテ其小商人ヲ助ケルト致シマシテモ、殆ド出來ヌ狀態デアリマス、百姓ナラバ五反百姓ハ近所隣リデ助ケ合フコトガ出來マスケレドモ、特殊ノ事業ニ從事スル労働者ダツタラ如何ニシテ助ケマスカ、如何ニシテ救濟シマスカ、中々出來ヌコトデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテハ陸海軍大臣或

ハ綱理大臣等ニモ質問ラシタイ サウシテ
私ハ漸次此給與規則ヲ改正シ、サウシテ國
家ガ出征者ニ對シテ最低ノ生活ノ保障ヲシ
テヤルド云フコトニシナケレバイカヌト
思ツテ居リマス、斯クシナカッタラバ私ハ
非常ニ心配ヲスル、或ハ其金額ガドノ程度
ニ増額スルカ知レマセヌガ、金額ハ增加ス
ルトモ已ムヲ得ヌト思ツテ居リマス、此點

依ツテ租税ノ負擔力ガ減ジタ、或ハ無クナツタト云フ場合ニ、其租税ニ付テ適當ノ考慮ヲ拂フ、是レ以上ノコトハ租税制度デハ考ヘル餘地ガナカラウ、斯ウ存ジマス、此度先ヅ租税制度ニ付キマシテ考慮スルト致シマシテハ、此程度ノ所ガ最モ適當カト存ジテ居リマス

○松田(喜)委員 私モ租税ノ减免猶豫ト云フコトハ、今日マデ無カツタコトヲ 今日御

宜シク政府ハ一步進シテ根本的ノ給與規則
ノ改正ヲシテ行ク方ガ宜イ、戰ハ直チニ濟
ムモノトハ思ヘレマセヌ、有ユル租稅總テ
ノ費用等ノ關係スル所モアルノデアリマ
ス、今カラ思ヒ付イテ御持ヘニナラヌト渥
クナル、今カラ思ヒ付ケバマダ遲クハナイ
カラ、此點ヲ大イニ研究サレンコトヲ望ム
ノデアリマス、マダ御聽キシタイコトモアレ
リマスガ、質問時間ヲ三十分钟決メラレテ
居ルノデ、マダ十分間残ツテ居リマスカラ、
後ニ軍部大臣、大藏大臣ニ一寸間ヒタイコ
トガアルノデ、ソレニ時間ヲ残シテ保留シ
テ置キマス

私ハ漸次此給與規則ヲ改正シ、サウシテ國家ガ出征者ニ對シテ最低ノ生活ノ保障ヲシテヤルド云フコトニシナケレバイカヌト思ツテ居リマス、斯クシナカッタナラバ私ハ非常ニ心配ヲスル、或ハ其金額ガドノ程度ニ増額スルカ知レマセヌガ、金額ハ増加スルトモ已ムヲ得ヌト思ツテ居リマス、此點ニ付キマシテ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○大矢政府委員 只今應召軍人ニ對シテ非常ニ御同情アル、御理解アル御言葉ヲ伺ヒマシテ、全ク私共御同感デアリマス、從來ノ所得稅法、營業収益稅法、地租法ニ於キマシテハ、斯ウ云フ場合ニ對スル除外例ハ何等認メテ居ナカッタノデアリマス、是ハ租稅制度ノ上ニ於キマシテ餘程考究ヲ要スルコトデハナカラウカト存ジマシテ、日清戰役ニ際シテ、又日露戰役ニ際シテモ例ガナカッタ此應召軍人ニ對スル租稅ノ減免ト云モノヲ、特ニ此度考ヘマシテ提案致シタ御意見ノ通リダト私ハ心得テ居リマス、ソレデ出征軍人ニ後顧ノ憂ナカラシメルヤウノデアリマス、其精神ニ於テハ松田サンノフコトハ勿論デゴザイマシテ、唯此租稅制

度ハ關係ニ於キマシテ、サウシテ先づ租稅制度ニ付キマシテ考慮スルト致シテハ、此程度ノ所ガ最モ適當カト存ジテ居リマス

○松田(喜)委員 私モ租稅ノ減免猶豫ト云フコトハ、今日マデ無カッタコトヲ今日御拘ヘニナルノダカラ、是ハ無イヨリハ宜イト思ツテ居リマスガ、吾々ハ根本斯ウ云フヤウナ小サイ問題デナイト思フ、斯ウ云フヤウナ稅ヲ僅カ減免スルトカ、其減免スルコトニ依ツテ非常ニ不公平ガ出來ルノデアリマス、是ハ公平ト言ヘナイト思ヒマス、即チ資力ノナイ方ノ人ガ迷惑スル、資力ノアル人程是ハ得ダト思フ、併ナガラ三千圓以下ノ所得デアリマスルカラ大シクコトデハアリマセヌガ、資產階級ノ人ト大衆トノ間ニ又斯ウ云フ矛盾ガ出來ルノデアリマス、併ナガラ此法ハナイヨリハアル方ガ宜シイガ、自作農ノ地租ヲ二分ノ一ニ減ズルト云ガ、コトガ、營業収益稅、或ハ寧ロ所得稅ニ比ベテ見ルト矛盾ガアルヤウニ思フ、此點ハ遺憾ニ思フ、今御答ニナック所ニ依ルト、

ムモノトハ思ハレマセヌ、有ユル租税總テ
ノ費用等ノ關係スル所モアルノデアリマ
ス、今カラ思ヒ付イテ御持ヘニナラヌト渥
クナル、今カラ思ヒ付ケバマダ渥クハナイ
カラ、此點ヲ大イニ研究サレンコトヲ望ム
ノデアリマス、マダ十分間残ツテ居リマスカラ、
リマスガ、質問時間ヲ三十分ト決メラレテ
居ルノデ、マダ十分間残ツテ居リマスカラ、
後ニ軍部大臣、大藏大臣ニ一寸間ヒタイコ
トガアルノデ、ソレニ時間ヲ残シテ保留シ
テ置キマス

コトハ減殺サレマスカラ、其減殺サレル程

度ニ應ジテ減免シテヤラウ、斯ウ考ヘタ次

第デアリマシテ、配當所得或ハ貸地、貸家

ノ所得ト云フヤウナ、純粹ノ資産カラ生ズ

ル所得ニ付キマシテハ何等考慮ヲ加ヘテナ

イノデアリマス、此點ハ資產所得ノ者ニ對

シテモヤルノデハナイカト云フ御話デアリ

マシタカラ、一應御説明申上げテ置キマス

○松田(喜)委員 サウ仰シヤイマスト一寸言

ハネバナラヌ、私ハマダ十分アルカラ五分

間ダケ……所得稅ノ三千圓ノ中ノ其四分

ノ一減少シタ時分ニ更訂シテヤラウト云フ

ノデアリマス、四分ノ一ト云フト七百五十圓

デアリマス、所ガ能ク考ヘネバナラヌノハ、

全國ノ農村ノ一箇年ノ收入、一家族ノ夫

婦家族ガ眞黒ニナッテ働イテモ四百五十圓

ノ所得シカナイノデアリマス、其中カラ肥

料代モ引キマス、有ユル公租公課ヲ引キマ

ス、其點モ御考ニナラナケレバナラヌト私ハ

思フ、即チ根本的ニ給與ノ改正デモシテ、

サウンテ後顧ノ憂ノナイヤウニスルト云フ

コトガ必要ダト思フ、此法律ガ惡イトハ思

ヒマセヌガ、隣保共、助ヲ更ニヤラネバナラ

ヌ、國民舉ツテヤラネバナラヌノデアリマ

ス、此眞劍ナル行ヒト云フモノハ益々ヤラネ

バナリマセヌガ、現狀デハ困ルト云フコト

ヲ申上げテ居ルノデアリマス

○川崎委員長 次ハ大本君

○大本委員 先般ノ特別議會ニ於キマシテ

ハ、政府當局者ハ、日支事變ガ起リマシテ

モ、昨年ノ通常議會ニ政府ガ聲明サレタ中

央地方ヲ通ジタ稅制整理、即チ具體的ニ申

シマスト農村及び地方ノ負擔輕減ノ爲ノ稅

制整理ヲ斷行スル意思ガアル、サウシテ其

具體案ヲ來ルベキ通常議會ニ提出スル考ヲ

持ツテ居ルト云フコトヲ聲明サレタノデア

リマスガ、事態ガ今日ノ如ク進展シテ來マ

シテモ、政府ハ先般ノ特別議會ニ於テ聲明

サレタ通り、稅制整理ニ對スル具體案ヲ通

常議會ニ提出サレル御意思ガアリマスカド

ウカラ伺ヒタイ……

○川崎委員長 一寸大本君、御發言中甚ダ

失禮デアリマスガ、茲ニ付託サレマシタ

此委員會ハ支那事變ニ關係致シマスル問

題——此公債發行外四件ノ議案ニ關係シマ

シテ、此議案ヲ中心トシテノ御質問ヲ御進

ス願ヒマセヌト、只今ノヤウナ御話ガ出テ

參リマシテ、財政計畫全般ニ關スルコト、

コトガ必要ダト思フ、此法律ガ惡イトハ思

ヒマセヌガ、隣保共、助ヲ更ニヤラネバナラ

ヌ、國民舉ツテヤラネバナラヌノデアリマ

ス、此眞劍ナル行ヒト云フモノハ益々ヤラネ

バナリマセヌガ、現狀デハ困ルト云フコト

○大本委員 關聯シテ居ルト思ヒマスガ、

委員長ノ御考ハ如何デゴザイマスカ

同時ニ原料品ノ買入トカ、或ハ製品ノ販賣

マデ管理ガ及バネバ其效力が甚ダ薄イモノ

ト考ヘルノデアリマスガ、御考ヲ御伺シタ

思ヒマス

○大本委員 ソレデハ委員長ノ御意思ヲ尊

重致シマシテ遠慮致シマス——ソレデハ第

二ニ御伺致シマスガ、政府ハ外資輸入ノ御

考ガゴザイマスカ、是ハ政府自身外債ヲ募

ヤリニナル御考ゴザイマスカ、御伺シタイ

集サレルコトモ、又民間ノ事業會社ヲシテ

外資ヲ輸入セシムベク誘導サレルコトモ含

ンダ意味デ質問シタイト思ヒマス

○太田政府委員 外資輸入ト云フコトハ此

際出來レバ結構ナコトト存ジマス、色々研

究シテ居リマスガ、今ノ所私共ノ見タ所ニ

於テハ、又慥カ大藏大臣モ他デ言々タカト

思ヒマスガ、中々難カシイ問題デハナカラ

ウカ、出來レバ結構、又ソレニ付テノ研究

ハシテ居ルノデアリマスガ、今ノ所ソレハ

大變難カシイ結果デハナカラウカ、斯ウ考

ヘテ居リマス

○大本委員 臨時資金調整法ニ依ツテ資金

ノ調整ヲサレルコトニナッテ居リマスガ、

此法律ガ發動スルコトニナレバ、ソレト同

時ニ物資ノ調整ヲヤラヌト效力ガナイト私

ハ考ヘルノデアリマス、即チ新規事業ノ擴

張、或ハ株金ノ拂込ナドニ付テ政府ハ統制

○太田政府委員 成ベク金融界ノ摩擦ヲ少

ヲサレルト云フノデアリマスルガ、ソレト

シタナラバ議事ノ進行ガ出來ナイト思ヒマ

省ガセズシテ、日銀ヲシテ取扱ハシメマス

ル理由ハ何處ニアルノデスカ

ク致シタイト云フ考ガ主デゴザイマシテ、サウスル方ガ效果ヲ得ルニ近クハナカラウカト云フ考カラデゴザイマス

○大本委員 先般ノ特別議會ニ於テ大藏大臣ハ軍需工業ノ暴利ヲ貪ッテ居ルモノニ對シテハ、是ガ抑壓ノ政策ヲ執リタイト云フ未ダニサウ云フ法律ノ發動ヲ見ヌノデアリマスルガ、私共ガ見ル所ニ依リマスト、軍需工業ノ事業會社其他事業家ニ於キマシテハ、非常ナ暴利ヲ貪ッテ居ルモノガ澤山ニアルヤウニ思フノデアリマス、政府ハ現在程度ノ利益ハマダ暴利ト云フ所マデハ行ツテ居ラナイ、斯ウ云フ見方ヲシテ居ラレルノデアリマスカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス

○太田政府委員 大藏大臣ガ左様ナコトヲ申シタカ、私一寸不束ニシテ承知シテ居リマセヌガ、暴利取締法ナドニ謂フ暴利ノアリマシタ場合ニ於キマシテハ、無論法律ノ發動ガアル譯デゴザイマスガ、今具體的ニドノ會社ガ暴利ニナシテ居ルカト云フコトニ付テハ、私トシテハ御答辯申上ゲ兼ネルノデゴザイマス

○大本委員 私ガ御質問申上ゲルノハ、現在ノ軍需工業會社ガ舉ゲテ居ル利益、是ハ

マア個々ニ違ヒマスルガ、一例ヲ舉ゲテ見シテ二割以上三割程度ノ利益ヲ擧ゲテ居ルト云フ話デアリマス、其他純民間會社ト致シマシテモ、或ハ日本鋼管會社ノ如キハ投下資本ニ對シテ四割以上ノ利益ヲ擧ゲテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ラスト御考ニス保護ヲ受ケテ居ルノデアリマス、斯様ナ状態ヲ政府ハ暴利ヲ貪ッテ居ラスト御考ニナルノデアルカ、ソレヲ御聽キシタインデアリマス

○太田政府委員 是ハ商工大臣ノ所管ニ係ルコト存ジマスノデ、大藏省トシテノ稅ノ關係ニ關シマシテハ、只今アル所得稅法、臨時利得稅法、並ニ此間ノ特別所得稅法ノ三ツデ行ク以外ニハ、只今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ、製鐵會社ガ暴利ニナルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、商工大臣カラ御答ヲ願フ方ガ結構ダト思フノデアリマスルガ、私ハ大藏省モ關係ガアリマスルガ、私ハ大藏省モ大分關係ガアラウト思フノデアリマス、又商工省ダケノ決シテ關係デハナイト思フノデアリマス、其證

據ニヘ、先程モ申上ゲマシタ通り、現ニ先般ノ特別議會ニ於テ大藏大臣ガ聲明サレタノデアリマシテ、是ガ商工省ダケノ關係ダスル擴張ト云フ意味デアリマスガ、御承知ノ通リ擴張ト修繕ト云フコトハ餘程微妙ナ常ニ堅實ナ事業會社等ハ、御存ジノ通リニ修繕ト云フ意味ノ中ニ擴張ト云フコトガ非常ニ含マレテ居ルノデアリマス、所謂修繕スル同時ニ擴張ニナル事例ガ幾ラモアルノデアリマスルガ、是等ニ對シテドウ云フ御解釋ヲセラレテ居ルノデアリマスカ、承認メニナル御考デゴザイマスルカドウカリタイト思ヒマス

○關原政府委員 新設、擴張、改良ニ付キマシテ本法ノ適用ガアルノデアリマスガ、御話ノ如ク修繕デアリマシテモ、内容ガ幾分擴張ニナルト云フコトニナリマスト、擴張ト云フ方ヘ入ルグラウト思ヒマス、ソレカラ修繕ダケデアリマシテモ、ソレガ改良ト云フ觀念ニ入ル場合モアルト思ヒマス、ソレデ新設擴張改良ト云フモノヲ一ツノ觀念トシテ、本法ヲ適用スルコトヲ考ヘナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大本委員 是ハ實際問題ト致シマシテハナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大本委員 是ハ無論商工省モ關係ガアリス、例ヘバ學校ノ兒童ガ殖エテ來ル、其學校ノ增築ノ問題ヲドウスル、又重大ナル關係ヲ持ツテ居ル農業關係ノ資金ナドニ付キマシテハ、ヤハリ認メテ行カナケレバナラルト思フノデアリマシテ、唯斯ウ云フヤウ

ナ法文ノ下ニ單純ニ處理サレルコトガ、中

中私ハ難カシイ問題ニナラウト思フノデア

リマス、是等ニ對シマシテハ十分事前ニ御

研究ナス^ツテ置カヌト、私ハ色々支障ヲ生ズ

ルコトガアラウト思フノデアリマス、此點

ヲ一ツ十分御考究サレンコトヲ御願致シマ

ス、ソレデハ私ノ質問ハ此位ニシテ打切り

マス

○川崎委員長 ソレデハ此程度デ午前ハ休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時カラ開キマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午前十一時四十一分休憩

午後一時二十分開議

○川崎委員長 ソレデハ開會ヲ致シマス、

大藏大臣ハ豫算委員會ノ都合ガアリマシテ、総合セラ戴イテ此處デハ先ヅ二時間ト云フコトデアリマス、所デ委員長ハ先程カラ色々研究シテ見マスノニ、ドウモ二時間

出来ナイヤウニ心得マスノデ、先ヅ二時間

間デ一應豫算委員會ノ方へ歸ツテ戴イテ、又

時間ノ都合ヲシテ戴キタイト云フ要求ヲ致シテ居ルノデアリマス、左様ナ譯デアリマスカラ、ドウカ一ツ成タケ多數ノ方

ニ大藏大臣トノ質疑應答ヲシテ戴キタイト

存ジマス、此法案ニ關係ノアル重要ナ點ハ

先程カラ凡ソ分^ツテ居ルト思ヒマスノデ、其

點ヲ順次御質疑ヲ願ヒタク存ジマス——中

島君

○中島委員 委員長ノ御話モアリマスノ

デ、成ベク簡單ニ致シマス、大藏大臣ガ

御見エニナリマシタガ、午前中ニ於キマ

シテ太田大藏政務次官、其他政府委員カラ

承リマシテ、殊ニ自治的調整ノ場合ニ於

ケルヤリ方デスガ、ソレハドウ云フ風ニ

ヤラレルカト云フコトニ付キマシテハ、藏

相ハ九月二日ノ金融評議會ニ臨マレマシタ

時ニ於キマシテ、色々御話ニナツテ居ルノ

デアリマスガ、銀行ニ付テハ手形交換所又

ハ日本銀行本支店ヲ中心トシテ 一種ノ統

制團體ノヤウナモノヲ設ケル、問題ノナイ

ヤウナ産業ハ各自任意ニ融通サセル、問題

ナノデアリマス、併ナガラサウ云フ事ガ完

全ニ巧ク行ハレマス爲ニハ、ドウ云フ仕組

ニ致シタラ宜シイカト云フコトニ相成ルノ

デアリマスガ、ソレニ付キマシテ只今中島

サンカラ御話ガアリマシタガ、先日金融評

議會ヲ催シマシタ際ニモ、斯ウ云フコトモ

宜カラウ、ア、云フコトモ宜カラウト申シ

マシテ、別ニソレハ決^ツタ譯デハナイノデア

リマス、寧ロ當業者ノ方デ自治的統制ヲ致

スノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ仕組ヲ

シタラ宜イデハナイカト云フコトヲ考ヘテ

貴ヒタイ、斯ウ申シテ居リマス、併ナガラ

ソレデハ當業者ノ考ヲ俟^ツテソレノミデ決

ノデアリマスカ

○賀屋國務大臣 只今ノ御尋デゴザイマス

ムース」ニ、時間ヲ取ラズニ運ビタイト云

フコトガ主眼デアリマスルカラ、各銀行

ガ——既ニ御説明ヲ申上ゲテアルト思ヒマ

スルガ、調整委員會ニ依ッテ決定致サレマ

シタ標準ニ依リマシテ自ラ判断ヲシテ、其

貸付ノ資金ヲ廻スベキモノ、當分差控フベ

キモノヲ決メテ貰フト云フコトガ一番眼目

ナノデアリマス、併ナガラサウ云フ事ガ完

全ニ巧ク行ハレマス爲ニハ、ドウ云フ仕組

ニ致シタラ宜シイカト云フコトニ相成ルノ

デアリマスガ、ソレニ付キマシテ只今中島

サンカラ御話ガアリマシタガ、先日金融評

議會ヲ催シマシタ際ニモ、斯ウ云フコトモ

宜カラウ、ア、云フコトモ宜カラウト申シ

マシテ、別ニソレハ決^ツタ譯デハナイノデア

リマス、寧ロ當業者ノ方デ自治的統制ヲ致

スノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ仕組ヲ

シタラ宜イデハナイカト云フコトヲ考ヘテ

貴ヒタイ、斯ウ申シテ居リマス、併ナガラ

ソレデハ當業者ノ考ヲ俟^ツテソレノミデ決

メルト云フコトニ參レバ非常ニ結構ナノデ

アリマスガ、私共ノ方デモ一應斯ウ云フコト

ニスルノガ一番宜イデハナイカト云フ腹案

モ考ヘナケレバナリマセヌ、大體當業者ノ

申出ヲ候チマシテ、ソレニ依ッテ決メルノデ

アリマスガ、第一各銀行ガ自ラ判断シテ之

ヲ致ス、各銀行ノミデハアリマセヌ、信託

會社ニシテモ、金融機關ガ自ラ判断ヲ致シ

テ行ク、是ガ骨子デ、ソレデ行クト思ヒマ

ス、唯ソレニ付キマシテ、ヤハリ何カ地方

ス、唯ソレニ付キマシテ、ヤハリ何カ地方

別ニ致ストカ、或ハ地方別デナク、全國縱

斷ト申シマスルカ、一ツノ團體ノヤウナモ

ノガアリマシテ、オ互ニ法律ノ趣旨ニ依ッテ

之ヲ間違ヒナク運用シヨウデハナイカト云

フ、オ互ニサウ云フ考ヲ同ジクスル者ガ團

體トナリマシテ、互ニ相勵マスト言ヒマス

カ、サウ云フヤウナモノガ出來テ居ルコト

ガドウモ便利デハナイカ、例ヘバ政府ノ方

デ、委員會ノ決定ト雖モ、研究ヲ致シテ參

ル内ニ多少變更ガアルカモ知レマセヌ、必

要ナル事業ト思ヒマシテモ、モウ此程度ニ

事業ガ擴張サレ、バ、更ニ其資金ハ他ノ方

へ廻シタラ宜イト云フ意見ノ出ル場合モア

ルデアリマセウカラ、サウ云フ變更トカ、或

ハ運用ノ方法トカラ通知スルニ致シマシテ

モ、サウ云フ團體ガアル方ガ宜シイ、ソレ

カラ又今モ御話ガアリマシタヤウニ、疑義ヲ生ズルモノガ出ルカモ知レヌ、サウ云フ場合ニ、之ヲ一々中権ノ政府ニ設置シマスル審査委員會マデ持ッテ來ルト云フコトモ、是ハ時宜ニ適シナインデアリマス、餘程ノ難問題ナラバサウ云フコトモ宜イト思ヒマスガ、ヤハリ其團體ニ於テ之ヲ決スル、尤モ團體ノ中デ或ル幹事ガ決スルノハ工合ガ惡イカラ、寧ロ何處ノ銀行ニモ屬シナイ日本銀行ノ支店アタリガ、サウ云フコトヲ決スル機關ニナル方ガ都合ガ好イトイ云フ意見ガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニ、或ハソレガ決スルト云フ風ナ、機關ト言ヒマスカ、集リガ一ツ必要デハナイカ、ソレカラ又是ハ形式的ノコトノヤウデアリマスガ、結局各銀行ガ自治的ニ之ヲヤルト云フ確定シタ意思表示モ要ルト思ヒマス、サウ云フ意思表示ガアリマシテ、サウ云フコトヲ政府ノ方デ同意致シマシテヤレバ、大體サウ云フ仕組デ運行ガ出來ルモノノ如ク考ヘテ居ル次第アリマス

○賀屋國務大臣 命令デサウ云フ、一ツノ銀
行同士ガ地方的カ、或ハ全國縱斷的ニモ一
ツノ國體ヲ持ヘルカ、既設ノ國體ヲ利用致
シマシテオ互ニ勵マシテ自治的統制ヲヤル、
サウシテ統制ノ判断機關トシテヘ斯ウ云
フモノヲ使フ、サウ云フ銀行ノ方カラ申出
ガアリマシテ、吾々ノ方ガソレヲ適當ト認
ムル所、デ實際省令ヲ持ヘテ行キタイ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居リマス

○賀屋國務大臣 法律ノ平面的ノ仕組ハ
仰セノ如キ解釋ガ生レルノデアリマスガ、
併ナガラ之ヲ自治的ノ統制ニ俟チマスルコ
トヲ事實上ノ本旨ト致シタイ、吾々が聞イ
テ居リマスル主ナル金融業者モ、之ヲ自治
的ニ進メルコトニ依ツテ 業務ノ運行ガ非常
ニ「スマース」ニナリ、又自分達モ此國家ノ
非常時ニ當ツテ國家ノ趣旨ニ副ツテ之ヲ實行
致スモノデアルカラ、是非サウシテ行キタ

○賀屋國務大臣 大體私ガ今申上ゲタ輪廓
ヲ想像致シテ居リマスガ、當業者ノ申出ヲ
斟酌致シマシテ確定致シタイト思ッテ居リ
カ
○中島委員 サウスルト其命令ノ内容ハマ
ダ政府ノ方デ決定シテ居ナイノデアリマス
居ル次第デアリマス

○賀屋國務大臣 命令デサウ云フ一ツノ銀 行同士ガ地方的カ、或ハ全國縱斷的ニモ一 ツノ國體ヲ捨ヘルカ、既設ノ團體ヲ利用致 シマシテオ互ニ勵マシテ自治的統制ヲヤル、 サウシテ統制ノ判断機關トシテハ斯ウ云 フモノヲ使フ、サウ云フ銀行ノ方カラ申出 ガアリマシテ、吾々ノ方ガソレヲ適當ト認 ムル所、實際省令ヲ捨ヘテ行キタイ、斯ウ 云フ風ニ考ヘテ居リマス	○中島委員 サウスルト銀行側ノ自治的統 制機關ト云フモノモ、金融業者ノ意思ヲ汲 ンデ、ソレニ依ツテ政府ノ適當ト認ムル所 デ決メルト云フノデスカ	○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス、今ノ 機關ヲ、地方別ニ致シマスカ、全國縱斷的 ニ致シマスカ、當業者ガソレヲ協議シ、マシ テ——尤モソレハ餘り不適當デハイケマセヌ ガ、是ナラバヤルト認メマシタナラバ、 ソレデヤルノデアリマス	○中島委員 此處ハ非常ニ重大ナ所デアリ マシテ、當業者ノ自治的統制ヲ認メテモ、 政府ガ適當デナイト認メレバ直ダ第二條ニ 歸ツテ來テ、自治的統制ヲ打壊シテ、サウ シテ所謂官僚的統制ニ直グ移ル、斯ウ云フ 仕組ニナッテ居ルヤウニ見エマスガ、サウ
トヲ事實上ノ本旨ト致シタイ、吾々ガ聞イ テ居リマスル主ナル金融業者モ、之ヲ自治 的ニ進メルコトニ依ツテ業務ノ運行ガ非常ニ是 ニ「スムース」ニナリ、又自分達モ此國家ノ 非常時ニ當ツテ國家ノ趣旨ニ副ツテ之ヲ實行 致スモノデアルカラ、是非サウシテ行キタ イト云フ意向ヲ述べテ居リマス、非常ニ是 ハ尤ナコトデアリマシテ、經濟上ノ問題 ヲ一々政府マヂ取上ダテ所謂許可認可デヤ ルト云フコトハ、出來レバ是ハ避ケタイノ デアリマス、當業者ノサウ云フ考ガ非常ニ 結構ナノデアリマス、出來ルダケソレデ行 キタイ、唯法律ノ立前ト致シマシテハ、一 應ハソレガ不適當デアル場合ハ直接出來ル ト云フコトニ致シテ置キマセヌト、萬一例 外的ニサウ云フコトヲ實行シナイ銀行ガア リマシタリ、或ハ又實行ヲスルト云フコト ニナリマシテモ、其實際ガ全ク法ノ趣旨ニ 副ハヌト云フモノガアリマス場合ノコトハ、 ヤハリ考ヘテハ置カナケレバナリマセヌカ ラ、規定ハ斯様ニシテアリマスルガ、出來ルダ ケ政府ト致シマシテモ自治的統制ニ依ツテ 行キタイ、是ガ一番目的ヲ達シマス上ニ摩	○賀屋國務大臣 法律ノ平面的ノ仕組ハ 仰セノ如キ解釋ガ生レルノデアリマスガ、 併ナガラ之ヲ自治的ノ統制ニ俟チマスルコ トヲ事實上ノ本旨ト致シタイ、吾々ガ聞イ テ居リマスル主ナル金融業者モ、之ヲ自治 的ニ進メルコトニ依ツテ業務ノ運行ガ非常ニ是 ニ「スムース」ニナリ、又自分達モ此國家ノ 非常時ニ當ツテ國家ノ趣旨ニ副ツテ之ヲ實行 致スモノデアルカラ、是非サウシテ行キタ イト云フ意向ヲ述べテ居リマス、非常ニ是 ハ尤ナコトデアリマシテ、經濟上ノ問題 ヲ一々政府マヂ取上ダテ所謂許可認可デヤ ルト云フコトハ、出來レバ是ハ避ケタイノ デアリマス、當業者ノサウ云フ考ガ非常ニ 結構ナノデアリマス、出來ルダケソレデ行 キタイ、唯法律ノ立前ト致シマシテハ、一 應ハソレガ不適當デアル場合ハ直接出來ル ト云フコトニ致シテ置キマセヌト、萬一例 外的ニサウ云フコトヲ實行シナイ銀行ガア リマシタリ、或ハ又實行ヲスルト云フコト ニナリマシテモ、其實際ガ全ク法ノ趣旨ニ 副ハヌト云フモノガアリマス場合ノコトハ、 ヤハリ考ヘテハ置カナケレバナリマセヌカ ラ、規定ハ斯様ニシテアリマスルガ、出來ルダ ケ政府ト致シマシテモ自治的統制ニ依ツテ 行キタイ、是ガ一番目的ヲ達シマス上ニ摩		

○中島委員 サウスルト其命令ノ内容ハマダ政府ノ方デ決定シテ居ナイノデアリマス
居ル次第デアリマス
○賀屋國務大臣 大體私ガ今申上ガタ輪廓ヲ想像致シテ居リマスガ、當業者ノ申出ヲ斟酌致シマシテ確定致シタイト思ッテ居リマス
○中島委員 此法律ハ二十一箇條ノ中デ八箇條モ命令ニ委ネテアリマシテ、非常ニ命令事項ガ多イノデアリマス、其命令ノ内容ガ八箇條共ニ漠然トシテ分ラナイ、ソレデ今ノ點ガ私モ分リケイノデス、出來レバ早ク確定シテ一般ノ國民ニ之ヲ知ラスヤウニシテ戴キタイ
モウツハ第二條ノ會社ニ對スル銀行カラノ貸付金額ハ何ボニ決定致シテアリマスカ
○賀屋國務大臣 是ハ自治的調整ニ依ルノデアリマスカラ、法ノ趣旨ニ應ジテ銀行ノ方デヤツテ行キタイト思ヒマス、併ナガラ銀行ト致シマシテモ、サウ五百圓ヤ千圓ノ貸出ヲ一々其眼デ見ルト云フコトハ困難ナ點ガアルカモ知レマセヌカラ、又銀行ノ方ト相談ヲ致シマシテ或點マデニ止メル、斯ウ云フコトモ自治的統制ノ方ハ當業者ノ意

向モ又聽イテ見タイ、又今月ノ十三日ニ手形交換所ガ主催トナリマシテ、是ハ全國ノ銀行残ラズト云フコトニハ行カヌカモ知レマセヌガ、主ナル銀行ガ集マリマシテ、此法ノ趣旨ニ從ヒマシテ自治的ノ統制ヲヤルコトニ付キマシテ協議ヲ致シ、申合セラスル筈ニナツテ居ルヤウデアリマス、其處デ吾々ノ意見モ豫メ申シマセウシ、當業者ノ意見モ聽キマシテ、其邊デ大體決マルヤウニ考ヘテ居リマス。

○中島委員 ソレカラ第四條ニ依ツテ政府

ガ決定ヲスル場合ガアル、其場合ニ於テハ

「命令ノ定ムル會社設立ハ政府ノ認可ヲ受

クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ」トアリ

マスガ、政府ガ命令ニ依ツテ決メル場合ニ

ハ、自ラ政府ノ方ニ何十万圓以下ハ之ヲ許

ス、何十万圓以上ハ許可ナクテハ之ヲ許サ

ナイト云フ規定ガアリサウナモノデスガ、

モウソレハ政府デ定ツテ居ルノデスカ、新

ドウ云フ方針ニナツテ居ルノデアリマスカ、

銀行カラ會社ヘ貸付ノ場合ハ五十万圓ヲ以

テ限度トスルノデアルカ、何万圓ヲ以テ限

度トスルノデアルカ

○賀屋國務大臣 會社ノ新設ノ場合ニ付キ

○中島委員 サウスルト第四條第二項ノ二

號ノ株金ノ拂込、社債ノ募集又ハ金融機關

マジテハ、五十萬圓以上ノ資本金ノ會社ノ新

設ニ付キマシテ認可許可ノ申請ヲ致シテ貰

フ積リデアリマス、大體五十萬圓ノ點デ區

切リマスト、會社ノ數ニ致シマシテハ、從

リマス、資本金ノ額ニ致シマスト——私ハ

只今正確ナ數字ノ割合ハ記憶致シマセヌ

ガ、慥カ八割以上、非常ニ大キナ部分ヲ占

メルコトニナリマスルカラ、目的ヲ達シマ

スル上カラ申シマシテモ、又成ベク煩瑣ナ

手續ヲ防ギマス上ニ於テモ、此邊ガ適當デ

ハナイカト考ヘテ居リマス

○中島委員 社債ノ募集限度ハドウナツテ

居リマスカ

○賀屋國務大臣 社債ニ付キマシテ金融機

關ガ引受應募ヲ致シマスル場合ニハ、先刻

申上げマシタ自治的統制デアリマスルカ

ラ、其意向ヲ尊重スル積リデアリマス、其

ナイト云フ規定ガアリサウナモノデスガ、

モウソレハ政府デ定ツテ居ルノデスカ、新

ドウ云フ方針ニナツテ居ルノデアリマスカ、

銀行カラ會社ヘ貸付ノ場合ハ五十万圓ヲ以

テ限度トスルノデアルカ、何万圓ヲ以テ限

度トスルノデアルカ

○賀屋國務大臣 會社ノ新設ノ場合ニ付キ

○中島委員 サウスルト第四條第二項ノ二

號ノ株金ノ拂込、社債ノ募集又ハ金融機關

マジテハ、五十萬圓以上ノ資本金ノ會社ノ新

設ニ付キマシテ認可許可ノ申請ヲ致シテ貰

フ積リデアリマス、大體五十萬圓ノ點デ區

切リマスト、會社ノ數ニ致シマシテハ、從

リマス、資本金ノ額ニ致シマスト——私ハ

只今正確ナ數字ノ割合ハ記憶致シマセヌ

ガ、慥カ八割以上、非常ニ大キナ部分ヲ占

メルコトニナリマスルカラ、目的ヲ達シマ

スル上カラ申シマシテモ、又成ベク煩瑣ナ

手續ヲ防ギマス上ニ於テモ、此邊ガ適當デ

ハナイカト考ヘテ居リマス

○中島委員 社債ノ募集限度ハドウナツテ

居リマスカ

○賀屋國務大臣 社債ニ付キマシテ金融機

關ガ引受應募ヲ致シマスル場合ニハ、先刻

申上げマシタ自治的統制デアリマスルカ

ラ、其意向ヲ尊重スル積リデアリマス、其

ナイト云フ規定ガアリサウナモノデスガ、

モウソレハ政府デ定ツテ居ルノデスカ、新

ドウ云フ方針ニナツテ居ルノデアリマスカ、

銀行カラ會社ヘ貸付ノ場合ハ五十万圓ヲ以

テ限度トスルノデアルカ、何万圓ヲ以テ限

度トスルノデアルカ

○賀屋國務大臣 會社ノ新設ノ場合ニ付キ

○中島委員 サウスルト第四條第二項ノ二

號ノ株金ノ拂込、社債ノ募集又ハ金融機關

マジテハ、五十萬圓以上ノ資本金ノ會社ノ新

設ニ付キマシテ認可許可ノ申請ヲ致シテ貰

フ積リデアリマス、大體五十萬圓ノ點デ區

切リマスト、會社ノ數ニ致シマシテハ、從

リマス、資本金ノ額ニ致シマスト——私ハ

只今正確ナ數字ノ割合ハ記憶致シマセヌ

ガ、慥カ八割以上、非常ニ大キナ部分ヲ占

メルコトニナリマスルカラ、目的ヲ達シマ

スル上カラ申シマシテモ、又成ベク煩瑣ナ

手續ヲ防ギマス上ニ於テモ、此邊ガ適當デ

ハナイカト考ヘテ居リマス

○中島委員 社債ノ募集限度ハドウナツテ

居リマスカ

○賀屋國務大臣 御話ノ通リデアリマシ

カ、會社ノ新設増資等ノ場合ニ、政府ニ

ト申シマスカ、此場合事實上ノ機關ハ日本

金融機關ノ自主的調整ノ場合ノ意向モ斟酌

スルノデアリマス、是ハ今確タル所ハ申上

ダ兼ネマスガ、一寸私ノ胸ニ描イテ居リマ

スル所ハ十万圓デアリマス

○中島委員 金融機關ノヤル時ハ五百万圓

若クハ二百万圓タリ得ルガ、政府ノヤル時

ハ五十萬圓デアルト言フコトニナツテ、參リ

マスルト、非常ニ雙方ノ間ニ於テ不公平ガ

起ル、自主的ノ時ハ彼等ノ言フコトヲ聞イテ

マス、是ハ資本ノ新設ハアリマセヌ、五十

萬圓ノ方ハ五十萬圓デ決マツテシマビマス

ガ、此貸付ノ限度等ニ付キマシテ、寧ロ是

ハ自主的ニヤルノデ、一々許可認可ヲ求メ

テアリマス、モット細カイ所マデ行ツテ居

マス、是ハ資本ノ新設ハアリマセヌ、五十

萬圓ノ方ハ五十萬圓デ決マツテシマビマス

ガ、此貸付ノ限度等ニ付キマシテ、寧ロ是

ハ自主的ニヤルノデ、一々許可認可ヲ求メ

テアリマス、モット細カイ所マデ行ツテ居

マス、是ハ御話ノヤウニイケナイト思ヒ

カト云フコトモアリマスカラ、ソレヨリ政

府ノ直接ノ認可ヲ低クスル譯ニ行キマセ

ヌ、其邊ノ見合ノ所モ考ヘテ居リマスト申

マジテハ、五十萬圓以上ノ資本金ノ會社ノ新

設ニ付キマシテ認可許可ノ申請ヲ致シテ貰

フ積リデアリマス、大體五十萬圓ノ點デ區

切リマスト、會社ノ數ニ致シマシテハ、從

リマス、資本金ノ額ニ致シマスト——私ハ

リマス、

時資金調整委員會ヲ置クト云フコトヲ規定

致シマシテ、此委員會ニ依ツテ決定ヲ致ス

コトニシタイ、詰リ其決定ガ標準ニナッテ

動キ出ス次第デアリマス、其故ニ此法律

ガ全體ニ施行シテ動キ出ス前ニ、先づ其標

準ノ決定ヲスルコトガ主ナノデアリマスカ

ラ、只今考へ方ニ於キマシテモ、此法律

ノ第十一條ダケハ、議會ノ御協贊ヲ經マス

ト先づ施行致シマス、此委員會ニ於キマシテ

早急決定ヲシマシテ、法案全體ノ施行ニ移

ル、斯ウ云フコトニ考へテ居リマス、併シ

ナガラ此法律モ是ハ急速ニ施行シナケレバ

ナラヌノデアリマシテ、此臨時資金調整委

員會モ、サウ長ク暇ヲ取ル譯ニ行キマセヌ

ノデ、此第十一條ノ委員會ニヤハリ参考

資料ヲ提供スルコトガ必要デアラウト思ヒ

政府部内ニ只今設ケマシテ、政府部内ダ

ケノ知識デ出來ルダケノ知識ヲ集メマシ

テ、結論デハアリマセヌ假ノ案ヲ作ツ、此

臨時資金調整委員會ガ早ク其目標ヲ決定シ

テ貰ヒマスル參考資料ニ出シタイト云フノ

デ、今其準備委員會ニ於テ審議ヲ致シテ居

ルヤウナ次第デアリマス、サウ云フ次第デ

アリマシテ、之ニ依ツテ早急ニ決定ヲ致シ

タイ、尙ホ是ハ申上ゲ過ギルカモ知レマセ

ヌガ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、此

委員會ノ参考資料ニ供シマスル準備委員

會ノ決定ハ、是ハ一方カラ申シマスト、本

ナイト甚ダ進ミニクイト思ヒマスカラ、理

當ノ民間ノ權威者ヲ入レテノ決定前ノ草案

ノヤウナモノデアリマスルカラ、之ヲ世間

ニ發表致シマスルコトハ迷ヲ生ジテ、最後

的デナイモノヲ發表スルト云フ誇モ一方ニ

アラウカト思ヒマス、併ナガラ又考へ様ニ

依リマスト、其草案ガ出來マシテ、ソレヲ

本當ノ委員會ニ掛ケテ決定スルノモ旬日ナ

ラザル内ニ決定スルノデアリマシテ、間違

ガアレバ直グ訂正サレルノデアリマスカ

ラ、大體ノ方向ヲ見ル爲ニ準備委員會ノ決

定デモ非公式ニ世間ニ發表シタ方ガ、却テ

参考ニナルト云フ考へ方モ出來ハシナイカ

ト思ヒマスルカラ、其邊ニ付テモ考へマシ

テ、後ノ考へ方ノ方ガ幾ラカデモ良イト思

ヘバ、場合ニ依ツラバ準備委員會ダケノ決

定デモ非公式ニ早ク世間ニ出シテ見タラド

ウカト云フコトモ考へテ居リマス、併シ一

面是ハ餘リ後デソレガ違ツテ來ルトイケナ

ヌノデ、御不便デアリマセウガ便宜讀上げ

ルコトニ致シマス

○賀屋國務大臣 書類ハ部數ガゴザイマセ

マシテ、此調査委員會ノ更ニ準備委員會ヲ

資料ヲ提供スルコトガ必要デアラウト思ヒ

マシテ、此第十一條ノ委員會ニヤハリ参考

資料ヲ提供スルコトガ必要デアラウト思ヒ

マシテ、此調査委員會ノ更ニ準備委員會ヲ

資料ヲ提供スルコトガ必要デアラウト思ヒ

マシテ、此調査委員會ノ更ニ準備委員會ヲ

砂錫、雲母、石綿、ソレカラ土石採取業ノ
内明礬石、礬土、頁岩、耐火粘土、「アルミニ
ウム」原料用粘土、硅石、螢石、紡織工業ノ内
人造纖維製造業、ソレカラ鐵ノ銑銅一貫作
業ニ依ル事業、砂鐵貧鑄ノ利用ヲ目的ト
スル事業、特殊鉛(合金鐵、低燐銅)鍛鑄銅
品及ビ特殊鋼ノ製造事業、亞鉛鉛、「アル
ミニウム」、「マグネシウム」、「ニッケル」精
鍊業、白金、水銀、錫、「タンクスステン」、「ア
ンチモン」ノ製造業及ビ其ノ材料品製造業、
輕合金製造業、可鍛鐵及ビ鋼ノ鑄物業、蹄
釘、鋪鎖ノ製造業、自動車用瓦斯發生裝置
只今申上げマシタ内容ニ付テハ速記ニ留
キマス、大藏大臣トモ交渉ヲ致シマシテ、
メルコトヲ大藏大臣ノ方デモ承諾ヲ致シマ
シタ、ソレデ餘部ハナイヤウデアリマスノ
デ、是ハ至急ニ存ヘテ早ク手許ニ送ツテ吳
レルヤウニト申シテ置キマシタガ、取敢ヘ
ズ茲デ讀上ゲルサウデアリマスカラ御聽キ
ヲ願ヒマス

○迫水大藏書記官 許可ヲ致シマスモノト
シテハ、採礦業ノ内金鑄、銅鑄、鉛鑄、錫
鑄、「アンチモン」、水銀鑄、亞鉛鑄、鐵鑄、
硫酸鐵鑄、「クローム」鐵鑄、「マンガン」鐵
鑄、瓦斯、石炭酸「メタノール」「グリセリ
ン」、硝酸「アンモニア」、「カーバイト」、人
造「クリオリット」等ノ工業藥品製造業、染料
中間物製造業、「カーボンブランク」製造業、

午後二時三分休憩

午後二時十分開議

○川崎委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開

ミテ、大藏大臣トモ交渉ヲ致シマシテ、
ガアレバ直グ訂正サレルノデアリマスカ

ラ、大體ノ方向ヲ見ル爲ニ準備委員會ノ決

定デモ非公式ニ世間ニ發表シタ方ガ、却テ

参考ニナルト云フ考へ方モ出來ハシナイカ

ト思ヒマスルカラ、其邊ニ付テモ考へマシ

テ、後ノ考へ方ノ方ガ幾ラカデモ良イト思

ヘバ、場合ニ依ツラバ準備委員會ダケノ決

定デモ非公式ニ早ク世間ニ出シテ見タラド

ウカト云フコトモ考へテ居リマス、併シ一

面是ハ餘リ後デソレガ違ツテ來ルトイケナ

ヌノデ、御不便デアリマセウガ便宜讀上げ

ルコトニ致シマス

○迫水大藏書記官 許可ヲ致シマスモノト
シテハ、採礦業ノ内金鑄、銅鑄、鉛鑄、錫
鑄、「アンチモン」、水銀鑄、亞鉛鑄、鐵鑄、
硫酸鐵鑄、「クローム」鐵鑄、「マンガン」鐵
鑄、瓦斯、石炭酸「メタノール」「グリセリ
ン」、硝酸「アンモニア」、「カーバイト」、人
造「クリオリット」等ノ工業藥品製造業、染料
中間物製造業、「カーボンブランク」製造業、

火薬、爆薬、導火索製造業、石油業、人
造石油製造業、「コールタル」及ビ「コー
ルタル」分溜物製造業、「アルコール」
「ベンゾール」等ノ代用燃料製造業、飛行機、
自動車及ビ自動自轉車用ノ「タイヤ」及ビ其
ノ附屬品ノ製造業、防毒「マスク」ノ製造業、
「バルブ」製造業、磷酸「アンモニア」、硫酸
「アンモニア」、硫酸加里等ノ肥料製造業、研
磨材料製造業、電氣用「カーボン」、活性炭ノ
製造業、「コード」製造業、電氣ノ發電及ビ
送電ニ關スル事業、石油輸入業、以上ノモ
ノデアリマス

次ニ設備ノ擴張等ヲ認メザルモノトシテ
ハ、長石「ドロマイド」、火山灰、滑石等ノ、
土石採取業、人造絹絲製造業、(「アセチ
ル、セルローズ」絹絲ヲ除ク)、真綿製造、絹
絲紡績、毛絲紡績、綿絲紡績、人造絹織物
製造業、毛織物製造業、綿織物製造業、絹
織物製造業、網類製造業、刺繡業等デアリ
マス、ソレカラ金屬工業ノ中普通鐵ノミヲ製
造スル事業、平爐製鋼ヨリ鋼材壓延マデヲ
爲ス事業、平爐製鋼ノミヲ行フ事業、壓延
板製品、鍵及蝶番其他ノ建築用及家具用
金物ノ製造業、鐵製建具、家具及什器、鐵製

以外ノ家具及什器ノ製造業、建築、鐵塔等
ノ建設材料製造業、金、白金及ビ銀器等ノ
貴金屬細工品ノ製造業、「アンチモン」器「ベ
ン」先、食卓用「ナイフ」、「フォーク」及ビ「ス
プーン」、洋傘骨、金屬製玩具等ノ製造業、紡
績機械機具製造業、食料品製造加工用機
械機具製造業、印刷及ビ製本機械機具製造
業、「エレベーター」製造業、度量衡器製造
業、時計製造業、計算器「タイプライター」
等ノ事務用器機製造業、寫眞機、幻燈器及
ビ活動寫眞機械製造業、照明用器械器具製
造業(探照燈ヲ除ク)、眼鏡、樂器、蓄音器等
ノ製造業、金庫製造業、陶磁器製造業(特
殊品ヲ除ク)、屋根瓦製造業、「セメント」及
ビ「セメント」製品製造業、珊瑚鐵器製造業、
(特殊品ヲ除ク)賣藥及ビ賣藥類似品製造
業、壓縮瓦斯(「アンモニア」及ビ鹽素ヲ除
ク)及ビ醋酸ノ製造業、塗料及ビ顏料ノ製造
業(特殊品ヲ除ク)、石鹼及ビ化粧品製造
業、植物性油脂製造業、木蠟製造業、蠟燭製
造業、「フェノトルレジン」製造業、蓄音器
「レコード」製造業、「セルロイド」製造業、
精製毛皮製造業、糊料製造業、印刷及ビ製
造業、「ケチャップ」製造業、製菓業、製冰及ビ冷

凍業、製麵業、少シ細カクナリマスガ——大
分長クナリマスノデ、細カイモノハ省略シ
マシテ、商業ノ中、百貨店、旅館、下宿、
娛樂及ビ興行關係事業、料理飲食店業、
サウ云フモノデゴザイマス、ソレデ残リマ
シタ他ノ事業又ハ事業ハ、此ノ兩者ノ中間
ニゴザイマスノデ、大體從來通リノ取扱ヲ
スルコトニナツチ居リマス

○賀屋國務大臣 只今讀上ゲマシタ事業件
別デアリマスガ、先刻モ申上ゲマシタヤウ
ニ、第十一條ニ依ル委員會ニ依リマシテ決
定ヲ致スベキモノデアリマス、其準備トシ
テ致シテ居リマスル委員會ノ草案デアリマ
シテ、政府部内ニ於テモ假ニ意見ガ一致シ
テ居ルト云フ程度ニモ參ッテ居リマセヌノ
デアリマス、今讀上ゲマシタモノデ當分新
設擴張ヲ差控ヘルト言ヒマシタモノニ付キ
マシテモ、之ヲ研究致セバマダ違フモノモ
アルカモ知レナインデアリマス、同時ニ又
此法律ガ施行致サレル前ニ總テノ計畫ガ進
ミマシタモノ等ニ付キマシテハ、之ニ對シ
テ穩當ナル措置ヲ執ルト云フコトモ必要デ
アルノデアリマス、其邊ニ付テモ適當ニ考
ヘル積リデアリマス、尙ホ第十一條ノ委員
會ニ付キマシテハ、大體事前ニ於キマシ
テ、總テノ事業ニ今後ノ時局ガ終リマスル迄
毫モ變ラナイ具體的ノ方針ヲ立テマスルコ
トハ、是ハ困難デアラウト思ヒマス、研究
ヲ致シテ參リマスルト、今迄ハ擴張ヲスル
コトガイケナイト思ヒマシタモノデモ、擴
張ノ必要ナモノモアリマセウシ又事態ノ
推移ニ依リマシテハ、大イニ擴張ヲ要スル
ト思ヒマシタモノモ、或ル程度マデニ參レバ
ソレ以上ノ必要ノナイモノモアリマセウ、
サウ云フ風ニ色々動キノアルモノデアリマ
スルカラ、事前ニ於テ之ヲ確定スルト云フ
コトハ非常ニ困難デアリマシテ、其委員會
ニ於キマシテ豫メ一ツノ案ヲ作リマシタ上
ニ、尙ホ時々情勢ノ變化ニ應ジマシテ變更
ヲ致シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマ
ス、此資金ノ調整ト申シマスモノガ、形ハ
资金ノ方ニ出テ居リマスガ、實質ハ寧ロ事
業ノ方デアリマス、是ハ新シイコトノヤウ
デハアリマスガ、世界大戰ノ當時歐米各國
トモ是ハ實行致シタモノデアリマシテ、其
際モ吾々ガ考ヘタト同ジヤウナ事ヲ或ハ考
ヘタモノデアリマスカ、只今ノ立法例ヲ見
マシテモ、斯ウ云フ委員會ヲ設置致シマシ
テ、ソレニ其事業ノ件別ヲ委ネテ居ルヤウ
ナコトデアリマス、平時ナラスウ云フモノ
ヲ確定致シテ御協贊ヲ仰グト云フコトガ先
づ適切ナモノデアルト思ヒマスガ、只今ノ

ヤウナ戰時體制ノ時代デアリマスノデ、而モ何故ニ斯ウ云フコトヲ致スカト申スト、

御承知ノ如ク近代ノ戰爭ニ於キマシテハ、此戰用資材ノ消費ガ非常ニ盛ンナノデアリマス、吾々ガ日露戰爭當時ト現在ノ兵器ノ裝備トヲ見マシテモ、各種ノ新兵器ガ非常

ナ增加ヲシテ、素人眼デ見マシテモ、彈丸ノ消費ニ致シマシテモ、兵器ノ消費ニ致シマシテモ、之ヲ兵卒一人當リ、或ハ一聯隊當

リトカ一師團當リトカ云フヤウニ、致シマスレバ、素人デ分リマセヌケレドモ、恐ラク數倍數十倍ノ消費量ガアルノダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ斯様ナ鐵デアリマス

ルトカ石油、間接ニハ木材、其他各種ノ金屬等ノ如キ戰用資材ニ不自由ナク、軍ヲシテ後顧ノ憂ナク戰鬪ヲスル準備ヲ整ヘ

用具ヲ備ヘマスルコトガ最モ必要ナル事ト考ヘマスルノデ、一ニ共趣旨カラ出マシテ當分ノ間我慢ヲスベキ事業ニ付テハ我慢ヲシテ戴イテ、サウ云フ生産資材ガ必要ナル方面ニ向ケルト云フ處置ヲ已ムヲ得ズ採ラナケレバナラヌ次第デアルノデアリマスルカラ、其趣旨ニ依リマシテ、普通ノ立法ノ場合ト違ヒマシタ趣旨ヲ御斟酌下サイマシテ、此十一條ノ規定等ニ對シマシテ、成ベ

ク御用意ヲ得タイト考ヘテ居ル次第デアリト思ヒマス、出來ルダケハ法文ノ上ニ擧ゲ

マス

○中島委員 大藏大臣及ビ迫水書記官ノ御

說明ニ依リマシテ大體了解致シマシタ、此點ニ付テ押問答シテ居ツタラ時間ガアリマ

セヌカラ、私ハ大體アト一二點デ止メマスガ、是ハ餘程適用ガ大事デアリマス、而シテ又兼業シテ居ル者モアルシ、一ツノ「コ

ンツエルン」ニ依ツテ居ルモノモアリマセウシ、ソンナ點ニ付テ詳シク聽キタイノデス

ケレドモ、時間ガアリマセヌカラ他ノ點ニ飛ビマスガ、一體此法律ハ二十一箇條ノ中ニ八箇所ニ亘ツテ命令ニ委任シテアル、命令ニ委任スル範圍ガ非常ニ多イ、議會ノ審議ヲ制限スル範圍ガ非常ニ廣イヤウニ考ヘ

マスルカラ、十一條ノ委員會ニ付キマシテハ成ベク繼續委員會ノ意味ニ於テ、貴衆兩院議員ヲ過半數入レテ戴キタイト云フコトヲ私共希望シテ居ルノデアリマスル

ガ隨分澤山アリマス、ソレデサウ云フ方面ノ専門家、產業界ノ權威者モ入レタイト思ヒマスガ、御話ノ如ク貴衆兩院ノ議員ノ方ニモ成ベク多數參加ヲシテ戴ク積リデ居リ

リマス、中々商工省ダケデモ行カナイモノガスルカラ、十二條ノ委員會ニ付キマシテ

十五條ヲ除キ」、是ハ貯蓄債券ノコトデア令ニ委任スル範圍ガ非常ニ多イ、議會ノ審議ヲ除キ、是ハ貯蓄債券ノコトデア

スルカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

ガスルカラ、十一條ノ委員會ニ付キマシテ

ノ専門家、產業界ノ權威者モ入レタイト思ヒマスガ、御話ノ如ク貴衆兩院ノ議員ノ方ニモ成ベク多數參加ヲシテ戴ク積リデ居リ

スルカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

スルカラ、十一條ノ委員會ニ付キマシテ

ノ専門家、產業界ノ權威者モ入レタイト思ヒマスガ、御話ノ如ク貴衆兩院ノ議員ノ方ニモ成ベク多數參加ヲシテ戴ク積リデ居リ

ルコトニ努力致シタ次第デアリマス、尙ホ委員會ノ構成デアリマスガ、是ハ非常ニ專門的ノコトガ多イト思フノデアリマス、事務ノ種別ニ付キマシテモ中々吾々素人デ分

リマセヌ、又其種別ノ擴張ノ必要ノ有無ト云フコトニ付テモ、専門的ノ知識ガ非常ニ要スルノデアリマス、殊ニ陸海軍方面ノ軍事關係ノ知識ヲ大イニ要スルノデアリマス、又各省デ言ヘバ、電氣モアリマス、船モア

リマセヌ、又各條ニ付キ勅令ヲ以テ定ムトナッテ居マス、サウシマスト第何條ガ至急ニ一番先ニ施行サレテ行クカ、十一條アタリノ委員會ガ先ニ出來ルダラウト思ヒマスガ、其緩急ハ各條ニ依ツテドウ云フヤウニナッテ居ルデセウカ、其説明ヲ一ツシテ戴キタ

イ

ソレカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

スルカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

○賀屋國務大臣 此各條ニ付テ定メルト云

テ出ルヤウニナッテ居リマスガ、本法ニ限ツテ各條ニ付キ勅令ヲ以テ定ムトナッテ居リマシテ、各條毎ニ施行期日ガ違ツテ居リマス、サウシマスト第何條ガ至急ニ一番先ニ施行サレテ行クカ、十一條アタリノ委員會ガ先ニ出來ルダラウト思ヒマスガ、其緩急ハ各條ニ依ツテドウ云フヤウニナッテ居ルデセウカ、其説明ヲ一ツシテ戴キタ

イ

ソレカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

スルカラモウ一ツハ「本法ハ第十四條及第

○賀屋國務大臣 此各條ニ付テ定メルト云

フコトニ致シマシタ理由ハ、主タル所ハ第

ニ、此資金ノ融通ヲ圖ルベキ事業ト、先づ
我慢ヲシテ貰ヒマス事業トノ區分ヲ決メマ
スコトガ、此運用ノ先決問題デアリマス、
而モソレヲ政府ガ單純ニ決メナイデ、議會
ノ御協賛ヲ得マシタ法律上ノ委員會デ決メ
タイ、斯ウ思ヒマス、然ラバドウシテモ第
十一條ト云フモノハ先ニ施行致サナケレバ
ナラヌモノデアリマスルカラ、之ラ理由ト
致シマシテ、一齊ニ施行致シマセヌデ、一條
文ニ依ツテ限ルト云フコトニ致シタ次第デ
アリマス

尙ホ此終期デアリマスガ、是ヘ今回ノ非常
時立法ヲ通ジマシテ、多ク事變ノ終了ト云
フコトヲ申シテアリマス、此事變ノ終了ト云
ハ何ゾヤト云フコトニナリマスト、是ハ形
式的ニハ勅裁ヲ仰イデ決定ヲ致ス積リデア
リマス、然ラバ如何ナル情勢ニ至リマシタ
場合ニ左様ナル手續ヲ執ルカト云フコト
ニ付テ申上ガマスレバ、兩國ノ間ニ於テ斯
カル事態ノ結果ヲ付ケル協定ガ出來マス、
且ツ兵力使用等ノ狀態ガ略々平常狀態ニ復
スル、斯ウ云フ時ニ於キマシテ左様ナ處置
ヲ執ル積リデ居リマス

○中島委員 能ク分リマシタ、ソレカラ公
債ノ消化ニ付キマシテ、是モ長ク質問シタ
所

イノデスガ時間ガナイカラ止メマスガ、本法ニ付キマシテハ色々ノモノヲ集メテ規定シテアリマスガ、公債ノ消化ニ付キマシテハ今ノ所ハ「デフレーション」状態ニナツテ、寧口公債ヲ日銀デ買ツテヤラナケレバナラヌヤウナ状態ニナツテ居ル、ダガ先ニナツテコトニナツテ居ル、先ニナルト此公債ノ消化ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌガ、本法ニ於キマシテハ公債ノ消化方法ニ付テハチットモ謳ツテアリマセヌ、或ハ新聞紙ニアル所ニ依リマスト、會社ニ對シテハ利益金、剩餘金ノ一部デ公債ヲ持タストカ、重役賞與ノ一部デ公債ヲ持タストカ、法人ノ配當金ヲ六分位ニ止メテ置イテ、一割ノ配當デアツクナラバ四分ハ公債ヲ持タストカ、色々ノコトヲ言ツテ居ルノデスガ、斯ウ云フヤウナ公債ノ消化ニ付テハ、方法ガ此中ニチットモ謳ツテナインデアリマスガ、ソレハ又次ノ通常議會ニ於テ、公債ガ到底消化ガ出來ナイト云フヤウナ強制的ナ法律モ出ス積リデアウ云フヤウナ強制的ナ法律モ出ス積リデアリマセウカ、大藏大臣ノ御方針ダケラソ同ツテ置キマス、公債消化方法ニ付キマシテ、細カク御尋シタイノデアリマスケレドモ、時間ガアリマセヌカラ、此點ダケモウツ

御伺シテ置キマス

○賀屋國務大臣 大體ニ於キマシテ法律ニ
依ッテ仕事ヲスルト云フコトハ出來ルダケ避
ケタイト思ヒマス、併ナガラ必要ナル場合ニ
ハ是ハヤラナケレバナリマセヌ、併シ必要
ナ場合ニヤリマシテモ、此立法ノ如ク出來
レバ自治統制デ行キタイ、經濟界ノ如キ複
雜微妙ナモノニ對シテハ、ドウシテモ共
方針デ行クノガ宜イ、公債ノ消化ニ付キマ
シテハ、只今ノ所ハ御話ノヤウナ「デフレー
ション」状態デアル、是ハ斯ル事變ノ當初
ニ於テハ何時デモ起ル現象デアル、是ハ又
一般ノ警戒心其他デ、善イ事カ惡イ事カ
ハ別ト致シマシテ、何時デモ起ルコトデア
リマス、起リ方ハ其場合ニ依ッテ相當違ヒ
マセウケレドモ、是ハ寧ロ或ル意味デ、
「インフレーション」政策ヲ執リマスレバ、
例ヘバ此法律ニアリマスヤウニ、或ル制限
ニ依ッテ日本銀行ガ應募シマス、又國債ニ於
居ルシ、是ハ「インフレーション」政策デ
ハアリマセヌガ、支那貿易ノ一部停頓デ、
ノ滯貨等ニ關シマシテモ、日本興業銀行ヲ
シテ適當ナ金融手段ヲ考ヘサシテ居リマス、
總テサウ云フ方向ニ參リマス、日本銀行

シヨン」政策デアリマス、其ノ結果、サウデナクテモ非常ナ戰費ガ撒布サレマスカラ、「インフレーション」政策ヲ執ッタモノハ、今度ハ出來ルダケ引締メテ行カナケレバナラヌト云フ方向ニ將來轉換スル、サウシナクテモ資金ガ多クナルト云フ實情ニナルノデアリマス、併シ其場合強制的ノ方法ヲ執ッテ迄モヤラナケレバナラヌト云フ必要ハ只今ノ所ナイト思ヒマス、是ハ寧ロ國民ノ愛國心、自發心ニ懇ヘテ御互ガ進ム、斯ウ云フコトノ方ガ宜シイト思ヒマス、此議會等ニ於キマンシテ、總テ政治上ノ問題デアリマスカラ、何デモ先ノコトヲ言フ譯ニハ參リマセヌガ、只今ハサウ云フ法律ヲ出ス意思ハ毫モ持ッテ居リマセヌ

○賀屋國務大臣 一定ノ金額ニ繰入レマス
コトニ依リマシテ、色々サウ云フコトガ出
ルト思ヒマス、五十万圓ニ切リマスレバ四
十万圓ノ會社ヲ作ルトカ、色々アルト思ヒ
マス、ドウモソレヲ餘リ煩瑣ニ規定致セバ、
出来ルダケソコガ釣合ガ取レ、完全ニナ
リマスガ、又實行上非常ニ煩瑣ニナリマス
ノデ、多少ノソコニ不備ハ出來マスガ、一
本ノ境ニ切ル方ガ實際上適當デハナイカ、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○川崎委員長 次ハ森田君

○森田委員 大藏大臣ニ私ハ御尋ヌルノデ
アリマスガ、大體私ハ多少考ガ達ツテ居ル
カモ知レマセヌガ、此法律ヲ御出シニナル
目的ハ、第一條ニ明ニシテアルノデハアリ
マスガ、本當ノ政府ノ目的ハ、政府ハ將來
多額ナ公債ヲ發行スル、ソレヲ引受ケシム
ル爲ニ此法律ヲ作ラレルノダラウト察スル
ノデアリマス、是ハ私ノ察シデアリマス、
サウ云フコトデ御作リニナルノデハアラウ
ガ、今後此法律ニ書イテアルヤウナコトヲ
實行シテ行カル、コトハ、即チ自分ノ資本
ヲ持ツテ居ル者デモ、會社ヲ作ルコトモ出

可ヲ要スルヤウナコトニナル、謂ハゞ電力
デ一度問題ニナツタコトノアル私有國營ミ
タヤウナモノデアル、自分ガ資本ヲ持ツテ居ッ
テ自分ガ仕事ノ出來ヌヤウナ束縛ヲ受ケ
ル、露西亞デ物ヲ買フニハ、御承知ノ通り
ニ留紙幣ヲ持ツテ居ッテモ、賣下ノ許可書ト
云フモノガ無ケレバ賣ッテ貰ヘナイ、是ハ私
ガ聞イタコトデ、事實デアルカドウカ知リ
マセヌガ、政府ノ若イ役人ノ間ニハ、露西亞
ノ統制經濟ヲ眞似テ、追々ニアヽ云フ風ニ
ヤルノダト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノ
デアリマスガ、ソレハ勿論事實デナイコト
ヲ希望ハシマス、併ナガラ遺憾ナガラ議會
ノ度毎ニ出テ來ルモノハ、漸次サウ云フ方
面ニ傾イテ行キハセヌカト思ハレル、此法
律ノ如キモノハ、本當ハ財界ニ大キナ變革
ヲ與ヘル法律ナノデアリマス、資本ヲ持ツテ
ヤツタリ、或ハ借りリテヤツタリ、自由ニ出來
テ居ルモノガ出來ナイヤウニナル、サウ言
フト或ハ政府ノ方デハ、本問題ハ臨時法デ
アツテ、決シテ永久的ノ法律デハナインダ
カラ、支那事變ガ片付イタラ廢メルト仰シ
ヤルデアリマセウガ、從來サウ云フロ實ノ下
ニ御作リニナツタ法律デ、御廢メニナラヌモ
モノガ大變ニアル、實ハ御廢メニナラヌモ

ノ方ガ多イ、重要産業統制法ノ如キモ、
不景氣ニ處スル便法トシテ五箇年ノ期限ヲ
附シテ、アノ法律ヲ御作リニナッタ、其五
箇年目ノ期限ガ來タ時ニ、之ヲ又續イテ行
クヤウニ改正ヲ行ハレタ、税金ノ方デ言
フナラバ、營業税デモ戰時利得税デモ色々
簡年目ノ期限ガ來タ時ニ、之ヲ又續イテ行
クヤウニ改正ヲ行ハレタ、税金ノ方デ言
フナラバ、營業税デモ戰時利得税デモ色々
一時的ノ法律トシテ現レタモノガ、遂ニハ
永久化シテシマウテ居ルノデアリマス、デ
アルカラ公債ヲ得ル爲ニ斯ウ云フ法律ヲ御
作リニナッテ、財界ニ非常ナ變動ヲ興ヘル
ヤウナコトガ宣傳サレテ、今回ノ有價證券
ノ値下リデモ何十億ト云フモノデアッテ、
今度ノ支那事變費モ、今回出テ居ル豫算若
クハ過去ニ於テ協賛ヲ與ヘタ豫算ヲ加ヘタ
ルモノ以上ニ、國ノ富、國民ノ富ヲ減殺シテ
居ルト思フノデアリマス、公債ハ必シモ斯
ウ云フ法律ヲ設ケテ、國內ノ資金ヲ統制ヲ
セヌデモ、圓紙幣ノ統制ヲ行ハヌデモ差支
ナイ、恐らくハ今後出ル所ノ公債ハ、日本銀行
行ラシテ引受ケサシテモ、將來必要ニ應ジ
テ日本銀行ニ廻リ廻ツテ戻ツテ來タ紙幣ヲ
以テソレヲ應募サシテ行クヤウナ、從來
執ツテ居ツカ方法デ一向差支ナイ斯ウ云フヤ
ウナ法律マデ作ツテ、強制的ニ要ラヌ方面ニ
資金ヲ與ヘヌヤウニ、サウシテ公債ノ方面
ヘ振向ケルヤウナコトヲ人工的ニ行ツテ、

非常ナ「ショック」ヲ財界ニ與ヘルヨリモ、
寧ロ自然ニ圓ノ融資ヲ任シテ置イテ、サウ
シテ此公債ノ引受ヲ圓滑ニヤッテ行ツタ方ガ
却ツテ宜カッタノデハナイカ、斯ウ云フ根本
的ノ觀念ニ對シテ大藏大臣ノ考ヘテ居ラレ

ナラバ無理ニ臨時資金ノ調整ヲヤラナクテモ、大本君ガ午前中ニモ尋ネテ居ツタヤウニ思ヒマスガ、物資ノ統制、資源ノ統制ヲヤルノガ宜イノデハナイカトモ思ハレルノデアリマスガ、何レニシテモ國內ノ圓紙幣ノ流通ヲ統制シナクテモ私ハ何モ差支ナイト思フ、其統制ヲスル爲ニ却テ我國ノ產業ガ

統制ヲヤラウト云フコトガ新聞ニ出タダケ
デモ、アノ大キナ今度ノ動搖ガ財界ニアツタ
コトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ國
民トシテモ不急ナ事業ヲヤッタリ、或ハ戰
爭ニ必要ナ資材ヲ、消費シナイデ宜イ物ヲ
消費シタリスルヤウナコトハ、道徳上私ハ
シナイグラウト思フ、ダカラ斯ウ云フヤウ

ガ來タリスルコトニナル虞ガアルノデス、サ
ウ云フ風ニ産業界ガ萎縮シテ行ケバ、國ノ收
入デアル所ノ國稅收入デモ、却ツテ私ハ減退
ヲ來スト云フヤウナコトニナルコトハ、國民所
得ガ減退スルノデアルカラ、公債ナドデモ、
國民ノ貯蓄ガ殖エ、又ト應募セヌヤウナ結果

私立入ッテ申上ゲ タイト思ヒマス、ソレデ
祕密會モ何モ要リマセヌガ、速記ヲ御止メ
ヲ願ヒマス、ソレカラ新聞記者ノ諸君モ此
處ニ御入リニナツテ居ルト思ヒマスガ、新
聞ニ書イテ戴ケナイ部分ガアリマスカラ、

萎縮シハセヌカ、支那事變ノ見透シハ恐ラク
ク何人モ付カヌコトデアラウト思ヒマス
ガ、歐洲大戰ノ時デモ、英吉利ハ御承知ノ通
リニ國內ニ於テハ產業ハ平生ト何等變リガ
ナイヤウニヤツテ行ッタカラ、アノ長イ間
堪ヘテ行ッタノデアリマス、今日本ガ直チニ
斯ウ云フヤウナ強イ經濟統制ヲ用ヒナケレ
バ、此戰費ノ調達ト云フカ、物資ノ調達ニ

ナ方面ハ國際貸借ニ一番重キヲ置カナケレ
バナラヌ、圓紙幣デ物ヲ買フコトノ出來ナ
イコトニ重キヲ置クコトハ、何人モ否マナレ
イ所デアリマスガ、我國ノ產業ヲ萎縮サス
ヤウナ圓紙幣統制ヲ用ヒルヤウナコトハ、
決シテ私ハ策ノ得タモノデナイノミナラ
ズ、只今ノ大藏大臣ノ御話ニ同感スル以上、ア
ア云フ大藏大臣ノ思ウテ居ラレルヤウナ事

ニナルノデヤナイカ、何レニシテモコヽデ
ハ財界ニ變革ヲ來スヤウナコトハ宜クナ
カッタノデヤナイカト云フ質問ヲシタノデ
アリマスガ、ソレニ對シテ今ノ大藏大臣ノ
話ハ、話トシテハ私能ク分ッテ居ルシ、同感
デアリマス、ケレデモ此處ニ一旦出タノデ
アル、何等他ニ他意アッタノデハナイト
仰シヤル、ソレハ勿論サウデアリマセウ、

○川崎委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サ

困ッテ來ルヤウナコトハ私ハ考ヘラレヌノ
デス、ソコ迄行詰ツタモノトハ思フテ居リマ

ヲヤルノニハ、却ツテ斯ウ云フ法律ヲヤッタ
ラ惡イ結果ヲ來スノデヤナイカ、ソレハド

サウスルト、斯ウ云フ事ヲ行フコトニ依ツ
テ、事業界ガ相當ニ支那事變ノ爲ニ不景氣

○森田委員 只今大蔵大臣ノ御話ニナック

セヌ、外國ノ品物ヲ輸入スル中デ、節約シナ
ケレバナラヌ物ヘ、爲替ノ管理法ヤ貿易ノ管

ウシテ 悪イ結果ヲ來スノデ アルカト云フ
ト、悉ク斯ウ云フ強イ干涉ヲ受ケルノデア

ニナルト云フコトハ已ムヲ得又カラヤル、

ス、私モ次第ニ其事ニ付テ御尋シヨウト思ツ
テ居ツタノデアリマス、正貨ノ流出ト云
フコトニ付テノ今ノ御話ハ、即チ國際貸借
ノ問題ニナッテ來ルノデアリマス、ソコ
デ私ガ申上ゲルノハ、物資ノ消費ノ節約ヲ
サス意味ニ於テ斯様ナ統制ヲ圖ルノデアル
ト大藏大臣ハ仰シャツタノデアルガ、ソレ

理法ニ依テ十分ニ目的ハ達セラレルノデヤ
ナイカ、斯ウ云フ強制的ナ經濟統制ヲ行フガ
爲ニ、財界ニ非常ナ萎縮ヲ與ヘテ其結果ガ
日本ノ產業ガ減退シテ行ク、現狀維持ヲハ
ナイ、減退シテ行クヤウニナル結果ハ、却ツ
ナイカト思フ、一度斯ウ云フヤウナ法律、
產業ノ爲ニ、國家ノ爲ニ私ハ採ラヌ所ヂヤ

リマスカラ、事業ト云フモノハ圓滑ニ進ミ
マセヌ、恐ラク迅速ニ、又敏速ニ運ブト言
ハレマスガ、私ハ是ハ中々是ダケノ認可許
可ヲ取ルノハ利權ノヤウナモノデ速ニ行カ
ヌ、速ニ行カヌ結果トシテハ、產業ト云フ
モノハ許可ガ來タ時ニハ其時期ヲ外シテ、
結局其事業ハヤラヌデ宜イヤウナ時ニ許可

ト思ハレマスガ、ドウデアリマスカ
○賀屋國務大臣 段々ノ御尋デアリマスル
ガ、甚ダ蛇足ニナルカモ知レマセヌガ、少
シク考ヘテ居ル所ヲ申上ゲテ置キマス、今
御話ノ如ク、結局國際收支ノ問題デアリマ
スノデ、之ヲ調整シマシテ、或ル物ハ輸入
ヲ制限致シ、必要ナ物ハ餘計輸入サスト云

二八

クコトニ致セバ、一應ハソレデ宜シヤウナコトハ御話ノ通リデアリマスガ、サウシテ入ッテ参リマシタ品物ガ國內ノ需要ニ合ハヌ時ニハ、國內デ非常ナ物價騰貴ヲ起スマウナコトニナリマス、ソレデ今ノ生産資材トカ戦用資材ト云フ物ハ、是ハ放ダテ置キマスト何十億ト云フ戰費ガ散布サレルノデ、ニモ賃錢收入ガ増シ、非常ニ消費ガ増加スル、サウシテ各方面ノ事業ガ起ルコトニナリ易イ、サウシマスト、平和産業ニモ戦用資材ト云フモノノ需要ガ澤山起ル、斯ウナルトドウシテモソコニ不足ガ起ツテ價格ガ暴騰スル、一方戦争ヲ目的——ト云フ言葉ハ悪イカ知レマセマセヌガ、サウ云フ風ニ不足ト云フコトガ起ツテ來マズカラ、ヤハリ國內デ按排シナケレバナラヌ、ソレモ直接必要ナ方ヘ行クト云フ風ニ按排シナケレバナラヌ、其時ニハ御話ノヤウニ物資ノ按排ト云フコトガ基本デアリマスカラ、物資其モノデ押ヘテ行ケバ宜イガ、其押ヘル方法トシテ會社ノ新設トカ擴張トカ云フモノヲ採リマシタ、何故ナラバ此處ハ鐵ヲ何處使用スル事業、油ヲドウ使フ事業ト云フ風ニ世ノ中ノ經濟界ノ形ハ出テ参リマセヌ、ド

ニ出テ參リマスカラ、會社ノ新設増設ト云
フ形態ニ依ツテ處理スルコトガ適當デアラ
ウトスウ考ヘタノデアリマス、ソレデハ金
融機關ノ貸付トカ社債引受ノ時ニ押ヘルノ
ハドウカト云フト、是ハ寧ロ金融機關ノ貸
付トカ社債ノ引受ト云フ時ニハ押ヘナイデ、
會社或ハ事業家ガ金ヲ借リタイトカ、或ハ
社債ヲ募集シタイト云フ時ニ押ヘレバ宜イ
ヤウデアリマスガ、是ハ實際却テ煩雜ニナ
ル、會社ノ方デ金ヲ借リタイト云ヘバ全部
銀行デ一々話ノ出來ルモノデナイカラ、銀
行ニ來テ話ノ出來タ時ニ押ヘタ方が件數ガ
少クナツテ却テ宜イ、銀行デ話モ出來ナイ
ノニ會社ノ方ヘ借りテ宜イト云フヨリモ、
其ノ話ノ出來タ時ニ宜イト言ッタ方が宜イ、
又銀行デ話ノ出來タ時ヤツタ方が自治的調
整ガ出來ル、會社ヲ新設スルト云フ時ハ、
マダ會社ヲ造ツタ云ブ譯デナイカラ、是ハ
實際形態ノ整ツタ時ニ於テ此問題ヲ處理ス
ルノガ實情ニ適當デハナイカト今ノ所思フ
ノデアリマス、「トラブル」ヲ起シマスニモ
此ヤリ方ノ方ガ起ス「チヤンス」ガ少イヂヤ
ナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ尙ホ是ハ不景氣ニナルヂヤナイカト云フ
仰セデアリマスガ、今ノ事業デアリマスト、
新設擴張等ハ當分ナイモノモアリマスガ、

私ハ素人デ申上ゲ兼ネマスガ、場合ニナッテ、競争者ガ出来ナイ立場ニナッテ、ドウカ受合ヘマセヌガ、一種既得権ノヤウ先般モ色々サウ云フ方面ノ方ガ來ラレテ話ヲシマシクラ、成程左様カト云ツテ歸ッタノデアリマスガ、ソレカラ軍需工業方面へ行クト仕事ガ殖エルカラ景氣ガ好クナル、ドウシテモ斯ウナルト御話ニナッタ跛行景氣ノヤウナ事ガ起ルノデアルケレドモ、是ハ情勢上已ムヲ得ヌ、併シ私ハドウシテモ戦争ニハ勝ツニ決ツテ居ルシ、金ハ撒布サレルカラ景氣ハ好クナルト云フコトハ全體トシテ好クナル、何デモ事變ノ初メハ先行ガ分ラヌカラ一時ハ衰ヘマス、今回ノ株ノ値下リ其他ノ事モ、色々ノ原因モアリマセウガ、是ガ段々世間ノ諒解ガ行ケバキット好クナル、其内ニ市場ニハ金ガ出ルト云フノデ、又好景氣ニナリ過ギテ警戒シナケレバナラスト云フ時モ、餘リ遠クナイ内ニ來ルノデヤナイカト思テ居リマス

ニ依ツテ御話ノヤウナ目的ヲ達シヨウト言ハレルガ、私ハ現在ノ支那事變ニ對スル目的ヲ達成スル爲ニハ、斯ウ云フ法律ヲ造ラヌデモ宜イヂヤナイカ、是ハ水掛論デアリマスカラ、其邊ハ此程度デ置キマシテ、只今大藏大臣ハ景氣ハ必ズ惡クナラヌ、好クナルカモ知レヌ、跛行景氣ガアルカモ知レヌガ、是ダケノ豫算ヲ使フノダカラ景氣ガ好クナルヤウニ言ハレルノデアリマスガ、サウデナクテ、平時デモ軍事豫算ガ大變多クテ、平和ノ豫算ガ少クテ跛行豫算デアルト世間ハ喧シク言々テ居ッタ、今度ハ斯ウ云フ法律ニ依ツテ平和豫算ハ非常ナ壓迫ヲ加ヘ、サウシテ國家ガ軍需工業ノミニ全力ヲ入レテ行クト云フコトデ、一層跛行景氣ニナルコトハ勿論ノコトデアリマスガ、却テ斯ウ云フ事ヲヤルコトニ依ツテ、原料ヲ得ルコトガ困難ニナル、而モ今消極的事業ト積極的ニヤルベキ事業トノ内譯ヲ御讀ミニナッタノハ、即チ原稿ノ又原稿ミタヤウナモノヲ讀ンダノデアルト言ハレテ居リマスカラ、ソレニ付テ彼此レ批評ハ致シマセヌガ、其中デモ吾々ガ考へテ居ッタノハ、今日何ト言ウテモ我國ニ一番足ラヌモモノハ鐵デアル、其鐵ヲ造ルニ付テハ總テガ皆許可ヲ與ヘル事業ニナッテ居

ル、洵ニ結構ナコトデ當然ナコトデアリマ
スガ、併ナガラ鐵ヲ造ルノニハ耐火煉瓦方
要ルカラ耐火煉瓦ヲ造レト言ハヒルノデア
リマスガ、其通リデアリマス、耐火煉瓦ハ
非常ナ數ガ要ル、併シ、今硅石煉瓦ハ言ハ
レナカツタガ、寧ロ硅石煉瓦ノ方ガ必要デア
ル、是ハナクテハナラヌガ、是ガ許可サレ
ル分ニ入ッテ居ラヌ、併ナガラ本來ハ硅石煉
瓦ガナケレバドウシテモ鐵ハ出來マセヌ、
又許可セヌトハッキリ言ハレタ中ニ窯業機
械ヲ指示サレタノデアリマスガ、耐火煉瓦
ヤ硅石煉瓦ヲ造ルノガ窯業機械デアリマ
ス、此機械ヲ造ラセズニ置イテ、耐火煉瓦
ヲ造レ、硅石煉瓦ヲ造レ、鐵ヲ増産セヨト
言ハレテモ不可能ノコトデアリマスカラ、
私ハ必要ナル事業ト必要ナラザル事業ト云
フコトニ付テ教ヲ受ケタノデアルガ、此事
變ニ對シテ直接ナリ間接ナリ必要デナクテ
モ、輸出ニハ又絶對必要デアルト云フヤウ
ナモノモアルノデアリマスカラ、之ヲ全然
許可シナイ事業ノ中ニ加ヘテ行クト云フコ
トハ、產業的ニ萎靡縮小ヲスルノデアル、
輸出ノ減退トナリ、跛行景氣ヲ起スヤウニ
ナリ、有ユル方面ニ凹凸ラ來シテ、結果ニ
於テハ宜クナイカラ、斯ウ云フ法律ニ依ラ
ヌノガ一番宜イガ、若シ法律ニドウシテモ

依ラナケレバナラヌト云フノデアルナラ
バ、ドウ云フ風ニシテヤツテ行ツタラバ、
今ノヤウナ弊害ヲ除イテ行ケルカト云フコ
トハ、吾々ノヤウナ粗末ナ頭デハ分ラヌ、
是ハ無イノガ一番安全デアルケレドモ、政
府ガヤルト云フコトデアルカラ、斯ウ云フ面
白クナイ法律デモ、多少ノ修正ヤ條件ハ附
クカモ知レヌガ通サナケレバナラナイヤウ
ニナルカモ知レヌト私ハ思ツテ居ルガ、ソレ
ハ結果トシテハ宜クナイ、又大藏大臣ハ物
價ノ騰貴ヲ惧レルト言ハレルガ、斯ウ云フ
跛行景氣ヲ來スヤウナコトヲシテ物價
ガ騰貴セズニ居ルデアリマセウカ、私ハ
必ズ物價騰貴ハ免レヌモノデアルト考
ヘル、物價ノ騰貴モ免レルコトガ出來ズ、
跛行景氣モ免レナイ、又軍需工業以外ノモ
ノノ輸出ノ減退スルヤウナ場合ニ、人造絹
絲業ナドモ許可シナイヤウデアリマス、吾
吾モ人造絹絲ニ多少關係シテ知ヅ居リマス
ガ、人造絹絲ナドハ生産ノ減ヲ來シテ居ル
コトハ御承知ノ通リデアリマスガ、是ガ丁
度アノ紡績業ノヤウニナツテ來テ、今封印ヲ
シテ使ツテ居ラヌ機械ハ、モウ餘程前ノ機械
デアリマシテ、假ニ使ツテモ採算上引合ハ
ナイモノニナツテ來テ居ルノデアリマス、
寧口今日ヤハリ輸出ヲ強調シテ行カウト云

ノノニハ、新シク設備ヲヤッテ行カナケレバナラヌ、サウシテ「コスト」ヲ下ゲテ行カナケレバ伊太利ヤ亞米利加ノ人造絹絲ト競争スルヤウニナレヌ、ソレヲ古クナッテモ宜イカラ許可ヲ與ヘヌノダ、今ノ能力デ出来ルダケ造ツテ行ツテ居レバ宜イト云フコトナラバ、結局海外ニ於テ競争ハ出來スト云フコトニナッテ、輸出ハ止ツテシマウコトニアル、「セメント」ノ事業デモ其ノ通り、是ハモウ戰時ニナツテモ銃後ニ於ケル產業ハ平時ト變ラヌヤウニヤルト云フ信念ヲ、政府當局諸公ニ持ツテ貰ヒタイ、此支那事變ガアルカラトテ、國內產業ニ色々ナ異變ヲ起シテ、ソレガ爲ニ萎靡、縮小、退壊シテ來ルコトハ避ケナケレバナラヌ、ソレヲ避ケテ行カウト云フコトニ努メテ貰ハナケレバ、此時局ヲ經濟的ニ切抜ケルコトハ出來ナイト云コトニ付テ、私ハ深ク大藏大臣ニ考慮ヲ煩シタイト思ヒマス、引合ハヌ事業ハ事業家ハヤリハシマセヌ、日本ノ事業家ハ何レモ金ヲ持ツテ居ツテヤツテ居ルノデハナイ、銀行カラ金ヲ借リテ事業ヲヤッテ、サウシテ稅金ヲ納メテ、残リガ何程カアルノヲ以テ、又事業費ニ充テテ居ルノデアリマスカラ、引合ハヌヤウナ事業ヲヤラナイト云フコトモ御承知ヲ願ヒタイ、ソコデ御尋ラシテ見タイノ

デアリマスガ、今ノ根本的ノコトニ對シテ
ハサウ云フ希望ヲ申上ゲテ御考慮ヲ深ク煩
シテ置クコトニシテ、此ノ五十万圓ト云フ
コトノ限界デアリマス、恐ラク私ハ會社ノ
設立デモ、増資デモ、拂込デモ總テ五十万
圓ハ許可ヲ受ケル中ニ入ルト思フノデアリ
マス、五十万圓ヲ超エタ資本ト云フノデ
ハナクテ、五十万圓ハ入ルノデハナイカト
思フガ、ソレハ私ハ此省令要綱ハ能ク分リ
マセヌ、未定々々ガ多イヤウデ、斯ンナモ
ノヲ讀ンデ見タ所デ何ノ参考ニモナラナイ
ト思フノデアリマスガ、五十万圓ハ許可ヲ
要セヌ中ニ入レル意思ハナイカ、五十万圓
トニシテ、五十万圓ハ一番小サイ會社デア
リマシテ、四分ノ一拂込デアレバ十二万五
千圓、或ハ拂込ヲ取ルニシテモ何ニシテモ
五十万圓ト云フ會社ハサウ大キナモノデハ
ナイカラ、五十万圓ハ許可ヲ要セザルモノ
ニ入レテ戴キタイ、四十九万九千九百九十
九圓マデハ宜イガ、一圓ノ所デ許可ヲ受ケ
ナケレバナラヌヤウニナルノデアリマスカ
ラ、ソレハ許可ヲ要ラナイヤウニスル意思
ガアリヤ否ヤト云フコトヲ御尋申上ゲルノ
デアリマス

ノ數々ヲ承ッテ置キマス、又五十万圓ノ點
デアリマスルガ、五十万圓以上ノ會社ガ多
イノデアリマスカラ、御話ノヤウニ五十万
圓以上ニスレバ宜イデセウガ、五十万圓カ
ラ此方ニ入レタイト思ツテ居リマス

○森田委員 入レタイガ一圓ノ所ダケデス
カラ、ソコハ餘程考慮ヲ願ハヌト、是ハ色
色問題ニナルコトト思ヒマス、一圓デ許可
ヲ取ルモノト取ラヌモノト出來テハ、煩瑣
デ、其程度ハ大變違ツテ來ルト思フノデアリ
マスカラ、ソコラハ——私ハ此法律ハナク
テモ宜イト思ツテ居ルノデアリマスガ、アナ
タガ已ムヲ得ナイト仰シヤルガ、併シ此一
圓ハ大藏省ノ方ニ御讓歩ヲ願ツテモ宜カラ
ウト思ヒマス、御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、
ソレカラ次ハ事務的ノコトダカラ極ク簡單
ニ問ウテ行キマス

○川崎委員長 事務的ノコトナラ大藏大臣
デナクテ他ノ方デドウデスカ、サウシテ下
サイマセヌカ、他ノ委員ノ方デ成タケ大藏
大臣ニ御聽キシタイト云フ方ガアルノデア
リマスカラ……

○森田委員 ソレデハ大藏大臣ニモウ一ツ
御尋シタイ、今アナタノ仰シヤツタノハ十万
圓カラノ社債ニ付テハ許可ヲ要スルモノノ
中ニ加ヘルト言フガ、十万圓ノ社債ト云フ

コトハ債務ノコトヲ社債ト言ハレルノグラ
ウト思ヒマス、債券ヲ發行スル社債ハサウ

トジマスカラ、社債ハソンナ小サイモノハ
小サイモノヲ發行シテハ居ラナイ、サウス
ルト手形ヤ、證券デ借リルカモ知レナイ

ガ、總テ十万圓以上ノモノガソコニ入ルノ
デハナイカト思フノデアリマスガ、サウス
ルト斯ウ云フ法律ノ出ルコトヲ承知シテ居

ラナイカラ、事業家ハ將來ノ拂込、將來ノ
増資ヲ當テニシテ機械ヤ色々ノ物ヲ注文シ
テ、既ニソレガ出來ツ、アリマスガ、ソレ
ガ若シ政府ノ言フ不急事業ノ中ニ入ツテ居

ハ十二條ノ臨時資金審査委員會ト云フモノ
ハ、金ノ心配ヲスル委員會アルカ、或ハ
貸スカ貸サヌカラヤル委員會ナノカドウデ
アルカ、其次ニハ委員ノ數ハ何名ニスルカ、
ソレカラ専門家ヲ入レルト云フコトハ贊成

デアルガ、併シ是ハ若シ此法律ニ協賛ヲ與
ヘントスレバ、吾々國民ノ代表トシテ與ヘ
ナル積リデアリマスカ

○賀屋國務大臣 今ノ御尋ノ點ハ實際問題
トシテ非常ニ肝要ナ點デアル、詰リ此法律
ノ經過的ノ規定ノ處置デアリマスガ、此法
律ノ出來ル前ニ普通ニサウ云フコトガアリ

マシタモノヲ、後デ困ルヤウナ事ヲ致シテ
ハイケマセヌ、其點ハ非常ニ注意ヲシテ參
ルヤウニシタイト思ツテ居リマス、ソレデア
リマスカラ法律ノ出來ル前ニソレ等ハグツ
ト運バレマシテ、其結果ノ付カナイヤウナ

事ノナイヤウニ注意シテ行キタイ、社債ニ
付テ御話デアリマスガ、詰リ貸出ガ十万圓
トシマスカラ、社債ハソンナ小サイモノハ
ナイカラ、實際ハナイト思ヒマス

○森田委員 モウ一ツ伺ヒタイ、第十一條
ト第十二條ノ臨時資金調整委員會ト云フノ
ハ、是デ大體政府ノ適當ト認ムル案ヲ委員
會ガ作ツテ、自治統制ニ持ツテ行ク委員會ダ
ラウト思ヒマスガ、サウデスカ、其次ニ

シマヒハシナイカト云フコトデ、不許可ニ
ナルト云フヤウナコトガ心配ニ堪ヘヌノデ
アリマスガ、其邊ハドウ云フ風ニ御扱ヒニ
ツタリ或ハソレガ爲ニ全ク前途方行詰ツテ
ガ若シ政府ノ言フ不急事業ノ中ニ入ツテ居

ハ十二條ノ臨時資金審査委員會ト云フモノ
ハ、金ノ心配ヲスル委員會アルカ、或ハ
貸スカ貸サヌカラヤル委員會ナノカドウデ
アルカ、其次ニハ委員ノ數ハ何名ニスルカ、
ソレカラ専門家ヲ入レルト云フコトハ贊成

デアルガ、併シ是ハ若シ此法律ニ協賛ヲ與
ヘントスレバ、吾々國民ノ代表トシテ與ヘ
ナル積リデアリマスカ

○賀屋國務大臣 今ノ御尋ノ點ハ實際問題
トシテ非常ニ肝要ナ點デアル、詰リ此法律
ノ經過的ノ規定ノ處置デアリマスガ、此法
律ノ出來ル前ニ普通ニサウ云フコトガアリ

マシタモノヲ、後デ困ルヤウナ事ヲ致シテ
ハイケマセヌ、其點ハ非常ニ注意ヲシテ參
ルヤウニシタイト思ツテ居リマス、ソレデア
リマスカラ法律ノ出來ル前ニソレ等ハグツ
ト運バレマシテ、其結果ノ付カナイヤウナ

事ノナイヤウニ注意シテ行キタイ、社債ニ
付テ御話デアリマスガ、詰リ貸出ガ十万圓
トシマスカラ、社債ハソンナ小サイモノハ
ナイカラ、實際ハナイト思ヒマス

○森田委員 大藏大臣ノ只今ノ御答辯デハ
貴衆兩院議員ヲ相當探ルト云フノハ、貴衆
兩院議員合セテ過半數ヲ採ル者ガアルカド
ウカ、之ヲ併セテ拜承シタイ

○賀屋國務大臣 第十一條ノ委員會ハ、今
ノ資金ヲ廻スカ廻サヌカラ決メル委員會デ
テハ前申シマシタヤウニ、官吏ノ外ニ產業
金融等ノ専門家ヲ主トシテ入レテ行キタ
イ、是ガ最モ時宜ニ適スルノデアリマス、
コトガ一ツ審査委員會ノ方ハ日本銀行ノ方

マスガ、只今別ニ過半數ト云フコトモ考ヘ
テ居リマセヌ、產業ヤ金融ノ専門家ヲ寧ロ
入レタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、員
數ハハッキリ申上ゲラレマセヌガ、大體四十人位ニナリハセヌカト思ヒマス、ソレカラ
ラ其次ノ委員會ハ、是ハ實際ニ許可不許可
ヲヤツタリ、又自治的統制ヲヤツテモドウ
モナラヌト云フヤウナ面倒ナ問題ガアツタ
時ニ、ソレニ掛ケテヤル、是ハ此方ノ委員
會デ貸スカ貸サヌカ決メテモ宜イシ、十一
條デ標準ハ出來マスケレドモ、實際問題ガ
起ツタ場合ニ判斷ニ困ルト云フヤウナコト
ガアラウカト思ヒマス、サウ云フ時ニソレ
ニ相談シテ日本銀行ガ決メル、斯ウ云フ委
員會デス

○森田委員 大藏大臣ノ只今ノ御答辯デハ
満足致シ兼ネルノデアリマスガ、私ガ問フ
タノハ、十一條ノ臨時資金調整委員會ハ、具
體的ナ、所謂第三條ノ政府ノ適當ト認ムル
案ヲ、此第十一條ノ資金調整委員會デ作ル
委員デアルカ、或ハ先程述べラレタヤウニ積
極的ノ許可ヲスル、或ハ許可セザル事業ト
云フモノヲ含ムモノデアッテ、政府ノ適當ト
認ムル自治ヲヤルト云フ問題ト、第十一
條ト切離シテヤル考デアルカドウカト云フ

カドウカ、日本銀行ニハ日本銀行ノ機關方アリマセウカラ、是ハ私ノ聞キ達ヒデアリマセウカラモウ一つ分ルヤウニ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ貴衆兩院カラ過半數ヲ取ルカ取ラナイカ、マダ決メテ居ラヌト云フヤウナ御話デアリマスガ、私ハ是ハ大藏大臣ニ率直ニ申上ゲテ置ク、從來ノ委員會ノ例デ見ルト、大體過半數ハ民間側ノ方デナク政府ノ側ガ多イノデアリマス、モウ一つハ事業ノ關係カラ委員ヲ御採リニナルノハ淘ニ結構デス、併シ本當ハ政府ニ關係ノアル事業家ハ、自己ノ主張セント欲スル所デモ、又民間ノ事業家ガ思ッテ居ル事デモ、率直ニ申シ兼ネル、色々ナコトデ政府ノ認可、許可ヲ受ケル爲ニ、政府ニ直接深イ關係ガアルカラ、政府ノ氣ニ入ラヌヤウナコトハ、精々差控ヘテ置カヌト、他ノ事デ敵討ヲヤラレテハイカヌカラト云フノデ、言ヒタイ事モヨウ言ハヌノデス、サウ云フヤウナコトデ役人ノ作ツタ案ガ宜イカ悪イカラ見ル時ニ、ヨウ言ハナイヤウナ人ガ居ツテモ——ソレハ居ラレテモ宜イガ、併シ效果ヲ現ハス上ニ於テハ、ヤハリ率直ノ意見、所謂衆智ヲ集メテヤルコトガ宜イノヂヤナイカ、意見ヲ率直ニ言フ者ヲ集メテ行クノニハ、貴衆

兩院カラ過半數ヲ採ル方ガ宜イノヂヤナイカト思ハレマスカラ、此點ヲ一ツ——今大藏大臣ハ言質ヲ取ラレチヤナラヌト心配シテ居ラレルカモ知レマセヌガ、序デニ斯ウイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 第十一條ノ方ハ、資金ヲニ率直ニ申上ゲテ置ク、從來ノ委員會ノ例デ見ルト、大體過半數ハ民間側ノ方デナク政府ノ側ガ多イノデアリマス、モウ一つハ事業ノ關係カラ委員ヲ御採リニナルノハ淘ニ結構デス、併シ本當ハ政府ニ關係ノアル事業家ハ、自己ノ主張セント欲スル所デモ、又民間ノ事業家ガ思ッテ居ル事デモ、率直ニ申シ兼ネル、色々ナコトデ政府ノ認可、許可ヲ受ケル爲ニ、政府ニ直接深イ關係ガアルカラ、政府ノ氣ニ入ラヌヤウナコトハ、精々差控ヘテ置カヌト、他ノ事デ敵討ヲヤラレテハイカヌカラト云フノデ、言ヒタイ事モヨウ言ハヌノデス、サウ云フヤウナコトデ役人ノ作ツタ案ガ宜イカ悪イカラ見ル時ニ、ヨウ言ハナイヤウナ人ガ居ツテモ——ソレハ居ラレテモ宜イガ、併シ效果ヲ現ハス上ニ於テハ、ヤハリ率直ノ意見、所謂衆智ヲ集メテヤルコトガ宜イノヂヤナイカ、意見ヲ率直ニ言フ者ヲ集メテ行クノニハ、貴衆

兩院カラ過半數ニスルト云フコトハ考ヘテ居リマス、併シ専門的知識ヲ重要トシマスノデ、其點ニ付テハ御諒解ヲ願ヒタイトハ思ヒマス、タ過半數ニスルト云フコトハ考ヘテ居リマス、併シ専門的知識ヲ重要トシマスノデ、其點ニ付テハ御諒解ヲ願ヒタイトハ思ヒマス、次ノ第十二條ノ委員會ハ、日本銀行ガ金ヲ貸ス委員會デハナイノデアリマシテ、事業ノ認可ヲ兼ネテ日本銀行ヲシテ行ハシカト云フ點ハ、寧ロ過半數デハナイト思ヒマス、次ノ第十二條ノ委員會ハ、日本銀行ガ金ヲ貸ス委員會デハナイノデアリマシテ、アルガ故ニ輸入ノ禁止、若クハ制限ヲスルト云フモノニ對シテ、外國品ヲ原料トスル製品ノ製造其他ニ干渉スルト云フコトニナル、是ハマア宜イ、所ガ必要缺クベカラザルモノトシテ輸入サシタモノニ對シテ、何等手心ヲ加ヘスト云フコトニナレバ、リマス
○作田委員 是ハ商工大臣ニ伺ッタ方ガ宜カツタカモ知レマセヌガ、資金ト關聯シテ居ルト考ヘマシタカラ、御尋ネシマシタ

○川崎委員長 商工大臣ニモ質問ノアル方ガ澤山アリマスノデ、適當ナ機會ニ商工大臣ノ出席ヲ要求致シマス、其時マデ留保ヲ願ヒマス
○作田委員 ソレデハ大藏大臣ニ斯ウ云フコトヲ聽イテ見タイト思ヒマス、詰リ此資金ノ調整、物資ノ調整ト云フコトモ、一面ニ於テ消費ノ節約ト云フコトガ伴ハナケレバナラヌ、相表裏シナケレバナラヌ、詰リ臨時資金調整法案ト云フモノノ裏ハ、即チ此輸出入品ニ關スル臨時措置ノ法律ダ、斯ウ云フ意味ダト云フコトデアリマス、是モ其一つデアリマス、積極的ノ消費節約ト云

フコトニ對シテモ適當ナ方法ヲ考ヘナケレ

バナラヌト思フノデアリマス、ソレハ立法

手段ニ依ルベキモノモアリマセウ、十分當

局トシテ政府自ラ率先シテ範ヲ國民ニ示シ

テヤルト云フコト——今ノ「ガソリン」ナン

カハ最モ好イ例デアリマス、皆サンガ御乗

リニナツテ居ルノモ輸入ノ自動車デ輸入

ノ「ガソリン」ヲ使ッテ一臺宛待タシテ居ラ

レル、斯ウ云フヤウナコトハ何モ大藏大臣

ニ皮肉ヲ言フノデハアリマセヌケレドモ、

サウ云フコトヲ官廳自身ガヤツテ居ラレル、

ソレデハ輸入ノ制限ノ問題、消費節約ヲ御

獎勵ニナルト云フコトハ出來ナイ、根本的

ニ一つは大藏省デナク、政府全體トシテ

御考ヘニナルベキ筋合デハナイカ、特ニ其

中デ立法上ノ何カ御意見ガアルカ、立法手

段ニ依ル御意見ガアルカドウカ、之ヲ伺ッ

テ置キタイ

○賀屋國務大臣 今ノ御話ノ點ハ洵ニ御尤

デアリマシテ、其物品共モノニ付テ立法

ヲ致スト云フコトハ、是ハ商工大臣ノ方カ

ラ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマス、尙ホ立法

手段等ニ依ラズシテ國民ノ自制的自發ニ俟

タナケレバナラヌモノガ澤山アリマスノ

デ、今回ノ經費ニ要求ヲ致シテ居リマスル

内務省、文部省兩省所管ニ於ケル國民精神

總動員ニ關スル經費等ニ於キマシテ、十分

ニ國民各自ニ徹底ヲ致シマシテ、自發的ニ

斯ル手段ヲ用ヒテ節約ヲシテ貰フヤウニ

努メル積リデアリマス

○作田委員 モウ一ツアリマス、臨時資金

調製法第四條デアリマスガ、無制限ニ拂込

其他ヲ許スト云フモノ——先刻御讀ミニナッ

タノデアリマスケレドモ、ア、云フモノハ

專門的ニヤツテ居ルトハ考ヘラレナインガ多

イノデアリマシテ、其工程ノ或ル部分ダケ

ガ、或ハ三割、五割、七割ト云フ形ニナッ

テ居ッテ、區分ニ非常ニ困難ガアラウト思フ

ノデアリマスカラ、オヤリニナルナラバ區

分ニ付テモウ少シ明快ナ、何カ基礎的ナモ

ノヲ承ッテ置キタインデアリマス、モウ一ツ

假ニサウ云フ明快ナル區分ノ方法ガアッ

テ御分ケニナルト致シマシテモ、放任スル

トシテ居ラレル部分ガ、其放任ト云フ行

爲ガ、全然默ッテ許可モ要ラヌト云フコト

ニナルト、效力ヲ生ゼヌコトニナル、所ガ

罰金ヲ課ケラレルト云フコトニナリマス

ト、例ヘバ大藏省ノ許可ノ分モ、絕對不許

造工程ナリ、事業ノ計畫デ、可分ノモノト

不可分ノモノトガ同ジ工程ニ於テ出テ來ル

ト云フ場合ガアリマスレバ、サウ云フコト

立テルト云フコトニナル、絕對放任ト云フ

ラヌコトニナル、サウスルト此處ニ許可、

不許可、中間ト區別サレルヤウナ見方ニナ

ルト思フノデアリマス、其邊ニ付テドウ云

フ風ナ御考ヲ有ツテ居リマスカ

○賀屋國務大臣 中間ト申シマスノハ、所

ロ放任ト云フ意味デハアリマセヌノデ、寧

ウ云フ事業ハ幾ラ擴張シテモ宜シイト云フ

ノデ、擴張ニ付テ許可ヲ要シナイトスルモ

ノヲ包括的ニ出スカモ知レマセヌガ、先程

讀上ゲマシタ分ハ概括的ニ是ハ判斷ガ付キ

難イノデ、更ニ兼業等モアッテ其ノ標準ヲ決

メナケレバナラヌ、或ハ其際標準ヲ個々ニ

決メル外ハナイ、サウ云フヤウナ兼業ノ程

度ニ依リマシテ、右ニモ左ニモ分ケラレ

ヌト云フヤウナモノニ付テ、段々是ハ右ト

カ左トカニ依ッテ選リ分ケテ參リマス性質

ノモノデアリマス、ソレカラ御話ノ點デ、

例ヘバ百万圓ノ資本ヲ増加シテ擴張スル、

時局ノ爲メ急ナルモノハ三十萬圓、サウデ

ナモノガ七十萬圓ト云フ場合ニ、是ガ製

造工程ナリ、事業ノ計畫デ、可分ノモノト

不可分ノモノトガ同ジ工程ニ於テ出テ來ル

ト云フ場合ガアリマスレバ、サウ云フコト

ハ尙ホ斯ウ云フ委員會ニ於テドウ處置ス

タイト思ヒマス

○作田委員 ソレデハ私ハ大藏大臣ニ對ス

ル質疑ハ是デ打切リマス、後ハ政府委員

ニ伺フコトニ致シマス、更メテモウ少シ聞

キタインデアリマスガ、商工大臣ガ御出席

ニナツテカラニ致シマス

○川崎委員長 小笠原君ニ御誼リ致シマ

ス、大部分質問ガ出テ居リマシテ、アナタ

ノ問ハレルヤウナコトモ問ハレマシタガ、

此際御問ヒニナリマスカ

○小笠原委員 私モ臨時資金調整法案ヲ中

心トシテ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、大

分既ニ質問ガ出テ居ッテ、或ハ重複シテ諄イ

ヤウニナツテ御迷惑ナ點ガアルカト考ヘマス

ケレドモ、併シ此法案ハ殆ド從來業者ノ自

由ニ一任サレテ居タ資金統制ヲ、假令表面

ハ自由統制ニ讓テ居ルト言ヒマシテモ、歸

スル所ハ全權ヲ政府ノ手ニ委任セシメント

スル重大ナ法案デアッテ、世間モ甚シク不安

ノ眼ヲ以テ見テ居リマスン、此法案ガ出

テカラモ既ニ多數ノ會社ガ新設セラレ、

增資拂込等ガ急ガレテ居ッテ、金融界ガ非常

ナ混亂ト迄ハ行カヌカモ知レマセヌガ、未

曾有ノ金融恐慌ヲ來シテ居ル事實ガアルノ

デアリマシテ、其點カラ少シ諄イヤウデス

ケレドモ、ハッキリサセテ戴カナケレバナラ

ス點ガアルト思フノデアリマス、勿論私ハ
御断リ申上ゲテ置キマスケレドモ斯ウ云
フ厖大ナ豫算ヲ御編成ニナッテ居ル大藏大
臣ニ、特ニ彼はレ理窟ヲ申上ゲル意味デハ
ナイノデ、又此投資統制トシタモノハ、歐
洲大戰當時ノ事ヲ回顧シテ見レバ、皆何處
デモヤッテ來タコトデアリマスカラ、之ニ
強イテ反対スル者デハアリマセヌガ、其内
容ガ妥當適切デナケレバ其運用ガドウシテ
モ過チナクヤッテ行カレナイ、斯ウ云フ趣意
カラ御尋申上ゲル次第デアリマスカラ、ド
ウカ其御含ミデ御返事ヲ賜リタイト存ジマ
ス、最初ニ御伺申上ゲタイノハ、資金統制
ノ問題ニ付テデアリマス、是ハ先刻モ御尋ノ
點ガアリマシタガ、本法第一條デ見マスル
ト、是ハ二ツ目的ガアルヤウニ見受ケラレ
マス、其一ハ只今大臣ガ申サレタヤウナ、今
度ノ支那事變ニ必要ナ外國物資ノ輸入、買
入ト、國內生産力ノ擴張ニ要スル資金ノ調
達デアラウト思ヒマスルシ、其二ハ事變
費ノ爲ニ公債ノ消化ヲ圖ラナケレバナラ
ヌ、是ハ表面ニサウ云フコトヲ強ク言ッテ
居リマセヌケレドモ、事實ハサウ云フコト
カラ出テ居ルダラウト思ヒマスガ、政府ハ
先刻ノ御話デヘ前ノ目的ツノヤウニ取レ
マスガ、後ノ公債消化ノ事モ此法案ニ御入

レニナッテ居ルノデハナイカドウカ、其點
ヲ一つ伺ヒタイト思ヒマス
○賀屋大藏大臣 御説ノ通リデアリマス、
其主タル點ハ、根本ハ物資ノ點デアリマス
ガ、同時ニ物資ト資金ハ表裏ニアリマスカ
ラ、例ヘバ物資ニ對シテ資金ガ多過ギマス
レバ「インフレ」的物價傾向ニナリマス、又
物資ニ對シマシテ資金ガ少過ギマス場合
ニ於テハ物價ノ下落、非常ニ金融モ梗塞的
ニナリマスノデ、是ハ大體相俟ッテ行カナ
ケレバナラヌ一ツノモノデアリマスルガ、
既ニサウシテ行カナケレバナラヌト云フ分
ガアリマス、ソレデ適當ニ物資ノ方ガ調整
サレバ、隨テ資金モ調整サレテ、其結
果ハ公債消化ニモ來ル、又何十億出シマシ
タモノガチットモ公債ヲ消化シマセヌヤウ
デハ困リマスカラ、國債消化ノ爲ニ無理
ニ片方ヲ押付ケルト云フ意味デハアリマセ
ヌガ、國債ノ消化ガ之ニ入ッテ居ルト云フ
コトハ間違ナイ事實デアリマス、ソレカラ
尙ホ本法ハ興業債券等ノ規定モアリマスノ
デ、是ガヤハリ資金ノ要ル方ニ資金ヲ持ッ
テ參リマス一ツノ「トンネル」ト申シマス
○賀屋國務大臣 金資金特別會計ニ入リマ
スル金ハ、主トシテ金ノ賣買等ニ關シマシ
テ、金ノ再評價ニ關シ日本銀行ニ取ラレタ
利益デアリマシテ、資金ハ大體利息ニ依リ

○小笠原委員 今興業債券ノ御話ガ出マシ
タノデ、一寸質問ノ順序ガ違ヒマスガ御
同申シテ置キタイノハ、興業債券ノ今未發
行ノ分ガ約二億五千万、今度新シク五億、
詰リ七億五千万圓、斯ウ云フ風ニオ出シニ
ナルコトニナッテ、其内二億五千万圓ノ分
ハ先刻ノ御話デアリマスルト、金資金特別
會計デ引受ケルノダト云々タヤウナ意味ノ
御答辯ガアリマシタガ、併シ此前金資金特
別會計ヲオ作リニナル時ノ御説明デハ、七
億四千七百万圓ノ内四億一千八百万圓ハ金
ヲ買入レル、約二億圓ハ公債ヲ持ツ、五千
万圓ハ產金獎勵ニ使フ、殘リノ一億二三千
万圓ダケガ將來ノ新產金買入ニ使フノダ、斯
フ云ウ御話デアッタノデアリマシテ、私共ソ
レデ考ヘテ見ルト、興業債券ヲ持チニナ
ヤウニ、貯蓄債券ノ方ハ本法廢止後ニ殘ル
デ見マスルト、先刻中島君ガ言ハレマシタ
ノデアリマスルガ、御伺申上ゲタイノハ、
何カサウオ持チニナル餘力ガアルノカ、ソ
レトモ將來金資金特別會計ヲ何カノ方法デ
オ殖シニナル考ガアルノカドウカ、其點ヲ
御伺シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 金資金特別會計ニ入リマ
付キマシテハ、只今ノ所其意思ガアルト申
上ゲル迄ニナッテ居リマセヌ、此立法ハ附則
ニアリマスルヤウニ、事變終了後一年ト云
フコトニ致シテアリマス、一年ト申シマス
マスル以外ハ餘リ殖エマセヌ、今ノ御話ニ
依リマスト二億四五千万圓ハ一寸ナイヤウ
デアリマス、是ハ金ノ現送高モ多少増加シ
テ居リマシテ、資金ノ餘力ノアル點モアリ
マス、ソレカラ公債ノ點モ只今ノヤウナ時
機デアリマスルカラ、多少日本銀行ノ方カ
ラ致シマシテモ資金ノ運用ノ餘力ヲ作リマ
シテ、興業債券ヲ引受ケタ方ガ宜シヤウ
ニ考ヘマシテ、左様申上ゲタ次第アリマ
ス
○小笠原委員 尚ホ興業債券ノコトデ一寸
申上ゲタイト思ヒマスルノハ、此附則ノ方
デ見マスルト、先刻中島君ガ言ハレマシタ
ノデアリマスルガ、御伺申上ゲタイノハ、
何カサウオ持チニナル餘力ガアルノカ、ソ
レトモ將來金資金特別會計ヲ何カノ方法デ
オ殖シニナル考ガアルノカドウカ、其點ヲ
御伺シタイト思ヒマス

ノハ、一年アリマスレバ其間ニ適當ナル當時ノ情勢ニ應ズル立法ハ之ヲ全部廢シマスルカ、サウ云フ機會ヲ與ヘラレル譯デアリマス、事變後直グ之ヲ廢止スルト云フコトデアリマスト、未ダ尙早ナ憾モアリマスガ、假ニ其後ニ規定スルト致シマシテモ、其間ニ立法ノ機會ヲ與ヘラレマスノデ斯ク致シタ次第デアリマス、此邊ノ結果ハソレニ依ヅテ處理致ス積リデアリマス

○小笠原委員 ソレデハ元ヘ戻リマシテ御尋申上ゲマス、政府ノ此目的ト云フモノガ、先刻御話ニナリマシタヤウナ二ツニアリト致シマスナラバ、事變ニ必要ナ外國物資ノ輸入買入ト、國內物資ノ生産力ノ擴充ニ要スル資金ノ調達、此最初ノ目的ニ付テ政府ニハ何カ御計畫ガアルデアラウ、詰リ此法案ヲ御出シニナルニ付テ、第一ノ目的ヲ達スルノニハ斯ウ云フヤウナ計畫ヲ持ッテ居ル、例ヘバ政府デ必要ト認メテ居ル物資ガ是々アルガ、現在ドレダケ不足シテ居ル、又是々ラ輸入シテ居ルガ、是ハ將來國內ノ物ニ俟タナケレバナラヌ、ソレニハ事業ノ擴張ニドレダケノ資金ガ要ル、斯ウ云ツタヤウナツノ御計畫ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、又勿論是ハ御持チニナツテ居ルト

思フノデアリマスルガ、細カイコトハ此處併シ大要ニ付テハ是レ位ノ資金ヲ斯ウ云フ方面ニ使フモノデアル、斯ウ云フ御示ガ願ヘレバ洵ニ結構デアルト思ヒマス
○賀屋國務大臣　此物資ノ需給ノ全體茲ニ生産力ニ關シマシテハ、或ル意味デ國家總動員計畫ノヤウナモノデアリマシテ、只今ノ戰爭ハ兵力ト經濟戰ト兩方デアルノデアリマス、隨テ生産力ト物資ノ需給ニ付キマシテハ、前カラ總動員計畫等モ進ンデ居ルノデアリマスガ、此際其内容ヲ申上ダマスコトハ差控ヘタイト思フノデアリマス、ソレカラ又此資金ニ付キマシテハ、興業債券五億圓ヲ擴張致シマシテ、尙ホ其外二億五千萬圓ノ餘力、合セテ七億五千万圓デハ是ハ到底不足デアリマス、併ナガラ是ハ他ノ金融機關等ニ於テモ大イニ將來間ニ合セル餘地ガアルノデアリマス、但シ或ル意味ニ於キマシテ長期ニ瓦ルモノデアリマスカラ、銀行等ノ供給能力ヲ相當擴張シテ置ク必要ガアルダラウ、斯ウ云フ見地カラ二倍ニ致シマシタ次第デアリマス

リマシテモ、結局公債ニ依ツテ支辨スル外ナイ情勢ニアルコトハ申上ゲル迄モナイコト思ヒマス、自然公債ヲドウ云フヤウニ消化シテ行カレルカト云フ、其對策ガ非常ニ重大ナ譯議場ニ於テ、當分公債ハ日本銀行デ一手引受ラシテ、民間ノ力ガ増スニ連レテ漸次賣却處分シテ行ク方針デアル、斯ウ云フ工合ニ御答辯ニ相成ツタノデアリマスルガ、左様ニ了解シテ宜シイノデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 其通リデゴザイマス

○小笠原委員 尚ホ昨日是ハ大口サンモ言ハレタノデアリマスルガ、政府デモ十分御氣付ニナッテ居リマスルヤウニ、先頃北支事件費公債ノ中デ一億圓ヲ直接「シンヂケート」團ニ御相談ニナッタ云フコトハ、是ハ遠慮ナク申シマスト世評ガ甚ダ芳バシクナイノミナラズ、金融業者ニ一大衝動ヲ與ヘト私ハ稱シテモ宜イグラウト思ヒマス、今日金融市場ガ未曾有ノ梗塞狀態ニ陥ツテ居ル所ノ一つノ原因ヲ成シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、公債ガ多額ニ上リマスル場合、其公債消化ニ付テ當局ガ御苦心ニナルコトハ萬々御察シ申上ゲマスケレドモ、併シ總テノ經濟對策ハ財界ノ安定ト信用トヲ

基礎ト致シテ、之ヲ傷ツケナイコトガ第一
眼目ニナッテ立テラレナケレバナラヌト共ニ、
公債ノ發行處理等ニ付キマシテモ、何ヨリモ
ソレガ財界ノ安定ト信用トヲ傷ツケナイヤ
ウニ、衝動ヲ興ヘナイヤウニ御注意願ハナイ
トイカヌト思ヒマス、ソレニハドウモ言葉
ガ過ギルカモ知レマセヌガ、政府デモットドッ
シリ構ヘテ、モット落著イテヤッテ戴イタラド
ウデアラウカ、ドウモ此頃——例ノ四億ノ公
債ノ處理ニ付テ「シンヂケート」團ニ御相談
ニナルト云フヤウナコトハ、餘程一部ノ者
ハ何カ政府ノ方デ——是モ言葉ガ惡イカモ
分リマセヌガ、シックカリシタ案ヲ御持チニ
ナッテ居ナイ、コンナ風ニ見テ居ル者モアリ
マスノデ、ドウカ今後ハサウ云フコトノナイ
ヤウニ、私ハ是非トモ御願シタイト思フノデ
アリマス、ドウセ要ルモノハ要ルノデアリ
マシテ、ソレニハ大藏大臣ノ言ハレタ通り、
五十億デモ百億デモ要ルモノハ要ルト思ヒ
マス、何レニシテモ是ハ今日ノ場合日本人
ノ手デ、日本國內デ消化スル以外ニ途ハナ
イト考ヘルノデアリマス、併シ只今大藏
大臣ガ申サレタ通り、今日本ノ國力ハ非
常ニ殖エテ居リマシテ、私ハ五十億ヤ百
億ノ公債ハ、方法宜シキヲ得レバ財界ニ
大キナ打撃ヲ興ヘルコトナクシテ之ヲ消化

シ得ルト思フノデアリマス、或人ガ丁度公債ヲ發行スルダケ預金額ガ殖エテ居ルト云フヤウナコトヲ申シマシタガ、私共ガ事實調べテ見マシテ、丁度銀行ノ預金ハ四十何億、或ヘ郵便貯金其他ノ殖エテ居ルノヲ見テ、ヤツテ見ルト、公債ヨリモ一寸宜イヤウニ預金ノ方ハ殖エテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フ工合デアリマスカラ政府ノ方デ一ツドッシリ構へ込ンデヤツテ戴ケルナラバ、私ハサウ困難ナク公債ヲ消化シ得ルノデハナイカト思フ、即チ日本銀行ガ一旦引受ケマシテ、代リ資金ガ昨日御話ノヤウニ戻ヅテ來ル時ニ公債ヲ處理スルヤウニスレバ、サウ困難ナシニヤツテ行ケルノデハナイカ、唯政府ノ御注意ニナルベキハ、ソレニ依ツテ或ル過度的ナ時ニ所謂惡性「インフレ」ガ起ツテ、物價ガ暴騰スルヤウナコトガアツテハナラヌ、此點ニ付テ常ニ政府ハ御注意ニナルベキモノデナナイカ、併シ金本位ヲ離脱シタ今日、完全ニ通貨統制權ヲ政府ガオ持チニナツテ居ルノデアリマスカラ、私ハ其點モ政府ノ方デ落著イテシッカリヤツテ戴ケバ、餘リ心配ハ要ラナイノデヤナイカト考ヘテ居ル者デアリマス、此頃ノ公債ノ問題ガ相當世間ヲ刺

レテ世間ヲ刺戟スルヤウナコトガアリマスト、如何ニモ遺憾デゴザイマスカラ、此統制法ガ出テモ公債消化ノ爲ニ殊更高度ノ資金統制ヲヤラナイデヤッテ戴ケルヤウニ御工夫ガ願ヒタイト思フノデアリマス、ソコデ私ハツ御伺ヒ致シタインデアリマスガ、何レニ致シマシテモ金利ガ高マルコトハ大禁物デゴザイマスガ、併シ資金ト云フモノハ儲カル所、利益ノ高イ所デナケレバ集マラナイカラ、政府ガ豫期セラレテ居ルヤウニ、此法案ノ運用ニ依ッテ果シテソレガ公債ノ方へ振り向イテ行クカドウカト云フコトニナルト、是ハ十分御考ラ願ハントイカヌノデヤナイカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ簡單ナコトデ二三御伺シタインハ、此金利低下ノ爲ニ政府ハ當分ノ間制限外ノ發行——此頃準備擴張ヲナサルト云フ御考モアルヤウデアリマスガ、又漸次是ガ出テ參リマスレバ、制限外發行稅ヲ減免スル意思ガナイカドウカト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ金融機關ノ中保險會社ノ被保險者ニ對スル配當率方四分五厘ト云フガ如キ、非常ニ今日カラ見ルト高率デアリマスガ、是ハ寧ロ商工當局ト御話ニナッテ御引下ニナル御考ハナイカドウカ、更ニ是モ一つノ標準ニナルノデア

○賀屋國務大臣

第一ノ制限外發行稅若ク

リマスガ、民法トカ商法ニ五分トカ六分ト
云ツタ高利率ガ現存シテ居ルコトハ現状ニ
副ハズ、又幾ラカ金利低下ヲ妨ゲテ居ルヤ
ウニ思ヒマスガ、此三ツニ付テ政府ハドウ
云フ御考デアラウカ、御伺シタイト思ヒマ

商法ニ於ケル法定利率ノ問題デアリマシテ、御話ノ如クデアリマスガ、是ハ比較的經濟界ノ實際ノ問題ニ多少遠イ所モアルヤウデアリマスガ、尙ホ御話モアリマスカラ考究スペキ題目ニ一つ加ヘテ置キタイト思

リマスガ、民法トカ商法ニ五分トカ六分ト
云ツタ高利率ガ現存シテ居ルコトハ現状ニ
副ハズ、又幾ラカ金利低下ヲ妨ゲテ居ルヤ
ウニ思ヒマスガ、此三ツニ付テ政府ハドウ
云フ御考デアラウカ、御伺シタイト思ヒマ
ス

商法ニ於ケル法定利率ノ問題デアリマシテ、御話ノ如クデアリマスガ、是ハ比較的經濟界ノ實際ノ問題ニ多少遠イ所モアルヤウデアリマスガ、尙ホ御話モアリマスカラ考究スペキ題目ニ一つ加ヘテ置キタイト思ヒマス

○小笠原委員 先刻森田君ガ尋ネラレテ、ハッキリシタ御返事ヲ伺ッテ居ルカラ、御尋セヌデモ宜イカト思ヒマスガ、斯ウ云フ統制法案ガ出ル毎ニ、政府當局ノ一部ニ或ル種ノ「イデオロギー」ノ下ニ、或ハ之ヲ「イデオロギー」ニ致サレテ、斯ウ云フ革新政策ヲ出スノデハナイカト云フコトハ、新聞雑誌等ニ絶エズ見エル意見デアルノミナラズ、ドウカスルト若手官吏ノ方カラ伺フ時モアルノデアリマシテ、此點ハ非常ニ不安ヲ與ヘル本デアルカラ、モウ一度ハッキリ進ムニ連レテ革新政策ガ盛ラレルト云フコトハ當然デアルト考ヘラレルガ、併シ今日ノ如キ非常時ニハ、何ト言ッテモ一番大切ナコトハ、國內ノ和平一致ト國民ノ不平不安ヲナカラシメルコトデアルト思フ、ソレニハ國民ノ一部ガ不安心ヲ感ズルヤウナ「イデオロギー」的ナ政策ガ出テ來テ、言葉ヲ換ヘテ言フト、試驗的ニ革新政策ヲ行フ

ヤウナコトガアルト、洵ニ國內ノ和平一致ヲ破ルコトニナルノデアリマシテ、私ハ賀屋大藏大臣ガ先刻ハツキリ言ハレマシタ通リニ、是ハ當面應急ノ必要ニムヲ得ザル對策ヲ立テタモノデアルト云フユトデ、ハツキリシテ居ルト思ヒマスケレドモ、ドウカスルト一部ニハ獨逸流ノ所謂統制的經濟ニ走ツテ、「ファシシヨ」的ノ「イデオロギー」ヲ盛ルモノダト云フコトヲ言ツテ居ル者モアリマスノデ、此點ヲハツキリト伺ヒ、尙ホサウ云フコトヲ若手ノ官吏ノ中ニハ公然ト言ハレル向モアリマスカラ、ドウカ大藏大臣ニ於テモ其點ハ無用ニ財界ヲ刺戟セザルヤウ、サウ云フ不用意ナ言ヲ今後爲スナキヤウ、部内ヲ固ク警メテ戴キタイト存ズルノデアリマス

資金ノ貸付ノ中ニ、既設會社ガ既ニ借入レ
テ居ル資金ノ借替ノ場合等ガ起ツテ參リマ
スレバ、其借替等モ此適用ヲ受ケルコトニナルカドウ
カト云フコト、ソレカラ配當資金ト云フヤ
ウナモノガ此適用ヲ受ケルコトニナルカドウ
カト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○小池委員 私ノ質問ハ大藏大臣ヘノ質問
ガ大部分デアリマシテ、其一部分ニ拓務大
臣ヘノ質問ガアルノデアリマス、丁度私ノ
番ニナツテ居リマス時ニ大藏大臣ガオ出ニ
ナラヌカモ知レマセヌガ、ソレハ一ツ保留
サシテ戴キタイ、拓務大臣ニ一言伺ッテ置キ
タイコトハ、昨日出マシタ臨時資金調整法
案ノ問題デアリマス、其中ニ關聯シタ一項
デアリマス、今大藏大臣ノ言明ヲ伺ヒマス
ト、此法案ニ依リマシテ資金ヲ特ニ便宜ヲ
與ヘテ貸出スベキ事業ノ中ニ、「パルプ」製
造業ト云フモノガ諷ツテアッタノデス、是ハ
當然ナコトデアリマシテ、今日日本ノ國民
ノ衣食住ノ中ノ衣ヲ賄ヒマスル一ツノ大キ
ナ源泉ハ、人造絹絲竝ニ人纖デアルト私ハ
信ジマス、是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマ
シテ、羊毛ヤ或ハ木綿ノ問題ヨリモ將來ハ
更ニ大キナ重大性ヲ有ツト思ヒマス、サレバ
コソ今日資金ヲ特ニ便宜ヲ與ヘテ貸出スベ
キモノノ中ニ、「パルプ」製造業ガ入ツテ居ル
ト思ヒマス、併ナガラ「パルプ」ノ製造業ヲ
特ニ今日此事變ニ際シテ獎勵ヲ致スニシテ
ノガ國內ニ於テ可能ニナリマセヌケレバ、是ハ
一ツノ大キナ支障ヲ來スト思フノデアリマ
ス、獎勵シヨウト思ヒマシテモ、國際收支ノ

此點ニ付テ、拓務大臣ガ「バルブ」ノ自給自足ト云
ニナルト信ジマス、私ハ其點ニ付キマシテ、
「バルブ」ノ輸入ヲ抑壓スルコトガ出來ルダ
ケノ國策、自給自足ノ自信ガ御有リニナル
カドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○大谷國務大臣 「バルブ」ノ自給自足ト云
フコトハ私最モ希望シテ居ルコトナノデア
リマシテ、此輸入ヘ將來克服シテ行カナケ
レバナラナイ一ツノ事業ト思ッテ居リマス、
樺太ノ木材ニ付キマシテモ、又朝鮮、或ハ今
臺灣デ計畫サレテ居リマスヤウナ「バカス」
デ「バルブ」ヲ採ル、色々ナ方法ヲ用ヒマシ
テ、此「バルブ」ノ製造ニ付テハ十分補助モ
シ、計畫モ立テ行カナケレバナラヌト思ッ
テ居リマスガ、唯樺太ニハ舊クカラ山林ノ、
何ト申シマスカ、輪伐ニ付テノ一ツノ決メラ
レテ居ル條件ガアリマス、之ヲ或ル程度マ
デ改正シテ迄モ此人絹「バルブ」ト云フモノ
ヲ造ツテ行カナケレバナラナイト存ジテ居
リマス、尙ホ内地ノ北海道ニモ木材ガ澤山
出ル譯デアリマス、樺太ガ持ツテ居ルヨリ以
上、木材ノ量トシテハ或ハ北海道ノ方が多
イカモ知レマセヌ、能ク北海道ノ方トモ打

○小池委員 「バルブ」問題ハ此法案ノ中ノ一部分ニ過ギマセヌカラ、極メテ簡単ニ伺ツテ時間ヲ節約シタイト思ヒマスガ、斯ウ云フコトダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、只今伺ヒマスト、「バルブ」ノ自給自足ニ付テハ現在マダ的確ナル「プラン」ガナイト仰シヤル、是ハ困ルノデアリマス、是ハ此前ノ臨時議會ノ時、既ニ事變ニ入リマス時カラ國際收支ノ問題ニ付テ、「バルブ」ガ輸入サレマス額ト云フモノハ、本年度ハ一億一千餘万圓ニナル、サウ云フ大キナ入超ヲ來シマスルヤウナモノヲ、其始末ヲ付ケルベキ方法ガ今日マダ立ッテ居ナイト云フコトハ困ル、此處デ論ジ合ツタ所デ仕様ガアリマセヌカラ、一刻モ早ク計畫ヲ立テ、戴キタイト云フコトヲ御願致シマス、是ハ等閑ニ附サレテ居ルト色々ナモノニ影響スルコト大デアリマス、私ノ信ズル所ニ依リマスルト、拓務大臣ノ御管轄ノ権太ニ於キマシテモ、内務省ノ管轄ノ北海道ニ於キマシテモ、或ハ東北、其他臺灣、朝鮮、滿洲ニ於キマシテモ、此變態的ナ事變時ニ於キマシテ積極的ニ之ヲ伐採致シマスレバ、恐ラ希望ヲ以テ掛ラウト存ジテ居リマスキタイト云フコトニ付テハ、非常ニ熱心ナ合セマシテ、是非共人絹「バルブ」ヲ造ツテ行

ク今年度ニ入リマス所ノ四十万廻ノ「バル
」ハ、來年位ニハ恐ラク自給自足ガ出來
ルノヂヤナイカト思フ、ソレハ一々樺太幾ラ、
何ガ幾ラト云フコトヲ申上ゲマセヌ、御分リニ
スガ、時間ノ節約デ申上ゲマセヌ、御分リニ
ナツテ居ルト思ヒマス、唯之ヲヤッテ戴クカ
戴カナイカ、積極性アリヤ否ヤト云フコト
ガ問題ヲ解決シマス、所ガ今仰セラレタヤ
ウニ、樺太ニ於キマシテハ十數年程前カラ
妙ニ消極的ニ決メラレタツノ伐採方針ガ
アル、之ヲ一ツアナタノ手デ叩キ潰シテ貰
ハナケレバ 自給自足ト云フモノハ 出來ナ
イ、之ニハ色々ナ糾ガアッテ、色々ナ方面カラ
ノ約束、色々ナ貴縁ガアリマス、此壹縁
ヲ斯ウ云フ事變ノ時ニ叩キ潰シテ、自給自足
ノ域ニヤッテ戴カネバナラヌ、是ハ是非私強
イ御願ト致シマシテ、實行ノ出來マスヤウ
ニ御考ガ願ヒタイト云フコトヲ特ニ申上ゲ
テ置キマス、御決意ノ程ヲ伺ツテ置キタイ
○大谷國務大臣 承ツテ置キマス、今内務省
ノ方トモ其問題ヲ打合セラ致シテ、著々ソ
テ置キマス、御決意ノ程ヲ伺ツテ置キタイ
レヲ實行スルコトニ掛ツテ居リマス
○小池委員 ソレデハ拓務大臣折角イラツ
シヤイマシタガ、是ダケニ致シテ置キマス
○川崎委員長 小池君ノ大藏ト商工へ留保シ

○松田(正)委員 拓務大臣ガ折角オ出デニ
ナリマシタノデ一寸伺ヒマス、此處ニ書イ
テアリマス通り、資金調整法案ニ基イテ見
マスルト、資金ハ今モ政府ノ言ハレル重要工
業ノ方ニ流レテ行ツテ、不急不要ノモノニ
對シテハ資金ガ廻ラナイ、其廻ラナイモノ
ヲ持ツテ行クト云フノガ主眼デアル、所ニ
近來滿洲ノ方デ事業ヲ起シテ、日滿經濟ノ
提携カラ、今迄ハ内地デ生産シテ居ツタ工業
ハ、滿洲デ生産スルト内地トノ競争ニナル
カラト云フノデ、滿洲國デハヤラナカツタ、
ソレヲ今度ハ内地ト競争ニナッテモ宜イカ
ラ滿洲ノ方ニ投資ヲシテ吳レト言ツテ、今
ヤ誘ヒニ來テ居ル、ソレカラ配當ハ半官半
民ノ會社ガ主ダカラ、ソレデ大體ニ於テハ
六分ト云フノデ、ソレヨリ以上配當シナイン
ト云フコトデアツクノガ、配當スル、幾割
シテモ宜イ、内地ノ資本家ハ滿洲ノ方ヘ投
資ヲシテ吳レト言ツテ誘ヒニ來テ居ルヤウ
ナコトヲ聞クノデアリマス、サウ致シマス
ルト此資金ノ調整法カラ考ヘテ見マスレバ、
拓務省ノ方ニ於テハ、此滿洲投資ト云フコ
トニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ル
カ、此日本ノ内地政府ノ支拂ノ金ト云フモ
ノハ内地デ廻轉致シテ居ツテ、サウシテ公債

ヲ消化シテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ行
クベキモノトスルナラバ、満洲ニ投資サレ
ル金ト云フモノハ私ハサウナイト思フ、サ
ウ云フコトニ付テ拓務大臣ハ別段今ノ所御
考ハナイノデアリマスカ

○大谷國務大臣 只今ノ満洲ニ對スル投資
ノ御質問デアリマスガ、私ノ所管デハナイ
ノデアリマシテ、對滿事務局デ、陸軍大臣
ノ所管ニナツテ居ルノデアリマスガ、陸軍大
臣トシテドウ考へテ居ラレマスカ、私ハ陸
軍大臣ノ代リニ能ク御返事モ出來マセヌ
ガ、併シ内地ト同様ニ成ベクヤツテ行ク考
デナイカト私ハ想像スルノデアリマス、朝
鮮ニ於キマシテハ無論内地ト歩調ヲ合セテ
進ンデ行キタイト存ジテ居リマス

○川崎委員長 皆サンニ御諮リ致シマス
ガ、本案ニ關係ノコトデ拓務大臣ニドナダ
カ御尋ノ方ガゴザイマシタラ、關聯質問デ
此際御許シ致シタイト思ヒマスガドウデセ
ウ——ナイヤウデアリマス、ソレデハ……
○小池委員 事務的ノコトヲ一ツ 大藏省
ニ……

○川崎委員長 事務的ノコトハ今森田君ニ
モアルサウデス、森田君極ク簡單デセウ
ネ——ソレデハ森田君ノ方カラ事務的ノコ
トヲ……

(委員長退席、清水委員長代理著席)

○森田委員 一寸時務のコトニ付テ簡單

ニ二三御尋申上ゲマス、此許可認可事業ノ

中ノ何レニモナイヤウナ、例ヘバ個人經營

ナドヲ商事會社ニ直ス許可ニ付テノ御意見

ヲ拜聽シタイノデアリマス

○關原政府委員 其場合ニ於キマシテハ商

事會社ノ設立ニナリマスカラ、第四條ノ適

用ガ生ジテ來ルト考ヘテ居リマス

○森田委員 勿論第四條デ一定金額以上ノ

モノナラバ認可許可ノ要スルコトハ承知シ

テ居リマス、私ノ御尋シテ居ルノハ個人經

營ノ事業デアツテ、先程御話ノ許可スルトカ

セヌトカ言ハレタヤウナ事業デナク、全然

從來個人デ經營シテ居ルモノヲ、色々ノ都合

ニ依ツテ同族會社ヲ作ルトカ、サウ云フモノ

ガ會社ニナルト云フ場合ニハ、許可ヲ與ヘ

テ一向差支ナイモノト吾々ハ思フガ、併シ

政府ハドウ思フカ、斯ウ云フ御尋ナノデス

○關原政府委員 ソレハ商事會社ノ種類ニ

依ツテ決マルト思ヒマス、其商事會社ノ種類

ガ第十一條ノ委員會ニ於キマシテ資金ヲ融通スベキ事業ニ入ッテ居リマスレバ、許可スルコトニナルト存ジマス

○森田委員 サウ云フコトニナルト簡單ナ

モノデモ簡單ニ行カナクナル、私ノ問フ

ノハ資金ニハ關係ナイ、從來個人デ營業シ

テ居ツタモノガ、株式會社ニ組織ヲ變更スル

ニモ關係ガナイノデス、資金ヲ別ニ借入レ

ルノデモ何デモナイ、從來個人デヤツテ

居ツタ事業デ、何々商店ガ何々商事會社ト云

フモノニ組織ヲ變更スル、認可ヲ申請シナ

ケレバナラヌコトハ法律ノ定ムル所ニ依ツ

テ當然デアリマスガ、許可ヲスルノニ彼

此レ考慮スルトカセヌトカ云フモノデハナ

イ

○關原政府委員 御説明ノ通リデアリマス

○森田委員 ソレカラ次ニ、從來色々ナ事

業ニ使ツテ居ツテ、銀行ト極度ノ當座貸越、或

ハ手形ノ借越等ノ極度ノ契約ガアル場合

ニ、ソレガ現在此法律ヲ公布サレル時ニハ

マダ餘地ガアルト云フヤウナモノニ對シ

テ——具體的ニ言ヘバ百万圓ノ契約ガア

ル、然ルニ既ニ使ツタ金ガ五十萬圓、アトノ

五十萬圓ハ、契約ハシテアルガ借リテハ居

ナイト云フヤウナモノニ對シテモ、ヤハリ

認可許可ガ要ルデアリマセウカ、先程ノ大

藏大臣ノ答辯ノ所デ私ハ聞キ漏ラシタノデ

スガ、過去ノモノハソコマデ干渉スル必要

ルコトニナルト存ジマス

○森田委員 サウ云フコトニナルト簡單ナ

マスガ、其點ヲ伺ヒタイ

○關原政府委員 過去ノモノニ付キマシテ

ハ、之ニ依ツテドウシヨウト云フヤウナ考ハ

スル場合ニハ、私ガ言フノハ本店ニ照會

ナイノデアリマス

○森田委員 ソレカラ是ガ又面倒ニナルト

思フ、現在各株式會社ハ何レモ早クハ十月

一日、遅キハ十二月一日ト云フ期日デ以テ

株金ノ拂込通告ヲ出シテ居ルノデアリマ

ス、是等モ有效ト思フノデアリマスガ、政

府委員ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○關原政府委員 本法施行前ニ於キマシテ

拂込ノ催告ヲ致シタモノニ付テハ、本法ノ

適用ハナイト思ヒマス

○森田委員 其次ニハ最後ノ御尋デアリマ

スガ、日本銀行當局ガ此認可許可事項ニ當

ルト云フコトハ、即チ日銀ノ行員ガ此衝ニ

當ルコトニナル、本店ノ行員ダケデナクシ

テ、支店ノ行員モ當リ得ルデアラウト思ヒ

マスガ、サウ云フ場合ニハ支店ノ行員ハヤ

ハリ本店ニ照會スルノデアリマスカ、支店

ノ行員ガ單獨デ出來ルノデアリマスカ、其

點ハドチラニナルノデアリマスカ

○關原政府委員 御質問ノヤウナ細カイ點

ニ付キマシテハ、マダ此處デハツキリ申上ゲ

ルマデニ決定シテ居リマセヌ

○森田委員 是ハ細カイコトデヤナイ、許

ヲ日銀當局ニ興ヘルノデアル、其日銀當局

ハヤハリ行員ガ其衝ニ當ルノデアル、サウ

スル場合ニハ、私ガ言フノハ本店ニ照會

テスルトセヌトニ依ツテハ非常ニ日數ノ

關係モ違フ、事業會社ガ設立ノ認可ノ申請

ヲスル、早ク許可ガアルノト、遲クナッテ許

可ガアツタ頃ニハモウ設立ノ必要ガナクナ

ルト云フノデハ非常ニ違ヒマス、此點ハ此

席上デハツキリサシテ置クコトガ、本法

ヲ活カシテ使フ上ニ於テ、民間ノ者モソ

レヲ切望シテ居ルノガアリマス、デアルカ

ラ日本銀行ニ委ス、日本銀行ノ支店長ナラ

支店長ニ其事ヲ委任スルト云フコトニナレ

バ敏速ニ運ブカラニ其方ガ宜イ、斯ウ思フ念

カラ間フノデアリマスカラ、小サイ問題デ

ハナイ

○關原政府委員 御質問ノ場合ニハ其事業

ノ種類トカ、金額ノ多寡ニ依ツテモ取扱ガ必

シモツツデハナイト思ヒマスガ、出來ルダ

ケ早ク仕事ガ出來ルヤウニ、取扱ノ手續ヲ

決メタイト考ヘテ居リマス

○清水委員長代理 一寸小池君ニ御斷りシ

マスガ、商工大臣ハ午後五時頃ニナラナケ

レバ出席出來ナイト云フコトデアリマス

○小池委員 五時過ギデスカ、今ハ事務

的ノコトヲ大藏當局ニ少シ伺ヒタイノデ

ス——先程太田政務次官ノ答辯ノ際ニ、對
滿投資ニ付テハ第一條ノ中デヤハリ同様ニ
扱フノダト言ハレタヤウニ記憶シテ居リマ
ス、先程ドナタカノ質問ニ、第二條ニアル
有價證券ハ、滿洲ニ投資スペキ有價證券モ
其中ニ入ルノカ、其通リデアルト云フ御話
デアル、サウンジマスレバヤハリ此法案デ對
満投資モ同様ニ扱フト云フコトニナル、其
點ニ付テ一ツノ苦情ナリ希望ナリガアル、
現在デハ例ヘバ對満投資ハ非常ニ不自由デ
アル、色々ナ制限ヲ掛ケラレテ中々難カリ
イト云フノガ、滿洲ノ經濟開發ニ當ッテ居
ル人カラ聞カサレル不平デアリマス、例ヘ
バ鐵ノ問題ニ付キマシテモ、内地ノ鐵企業
ニ對シマスル金融ノ問題ト、滿洲ニ於キマ
スル昭和製鋼所其他ニ對シマスル金融ノ狀
態トハ格段ニ違ッテ、非常ニ不自由デアル、
内地カラノ資金ノ融通ト云フモノハ、中々容
易ナコトデナイト云フ苦情ヲ聞カサレテ居
ル、今度ノ法案ニ依リマシテ、是ガ鐵企業
之ヲ積極的ニ貸出スト云フコトニナリマス
レバ、滿洲ノ投資ニ對シテモ一ツ同様ナ積
極性ヲ以テヤツテ貰フ方ガ宜イノデハナイ
カト思フ、此點ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ル

満洲國ノ公債デアリマス、此公債ガ現在
日本銀行デ貸出ラヤリマスル際ニ、地方債
並ミノ取扱ヲ受ケテ一錢一厘取ラレテ居リ
ル、是ハ我國ノ公債ハ九厘ダト聞イテ居リ
マスルガ、其間ニ二厘ノ開キガアル、是ハ
ドウ云フ意味デ斯ウ云フ開キヲ付ケテ居ル
カト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、出

ハ日歩九厘ト定メテ居リマス、満洲國國債ヲ入レナカッタ理由ハ、諸外國ノ國債ト同ジヤウニ扱ツテ居リマスノデ、英國ノ國債モ皆満洲國ト同ジヤウニ一錢一厘ノ扱ラシテ居リマス、九厘ノ取扱ヲ受ケテ居リマスノハ、日本國國債ニ限ツテ居リマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

單デスガ之ヲ伺ヅテ置カナケレバナラヌ、先程大藏大臣カラ御發表ノアリマシタ資金ヲ融通スル上ニ於テ獎勵スペキ事業、或ハ獎勵シテハナラヌ事業ト云フモノノ名前ヲ與ゲテ聞カサレタガ、斯ウ云フコトヲ一應伺ヅテ置クコトガ必要ダト思フノデアリマス、ソレハ今後新設シ得ベカラザル事業ノ中ニ

満投資モ同様ニ扱フト云フコトニナル、其點ニ付テ一ツノ苦情ナリ希望ナリガアル、現在デハ例ヘバ對満投資ハ非常ニ不自由デアル、色々ナ制限ヲ掛ケラレテ中々難カシムト云フノガ、満洲ノ經濟開發ニ當ツチ居ル人カラ聞カサレル不平デアリマス、例ヘバ鐵ノ問題ニ付キマシテモ、内地ノ鐵企業ニ對シマスル金融ノ問題ト、満洲ニ於キマスル昭和製鋼所其他ニ對シマスル金融ノ狀態トハ格段ニ違ッテ、非常ニ不自由デアル、内地カラノ資金ノ融通ト云フモノハ、中々容易ナコトデナイト云フ苦情ヲ聞カサレテ居ル、今度ノ法案ニ依リマシテ、是ガ鐵企業或ハ其他此際必要ナ事業ニ對シマシテ、極力

來ルナラバモウ少シ之ヲ近寄ラセテ、滿洲國ノ公債ヲモウ少シ自由ニ之ヲ優遇シタナラバ、滿洲國ノ財政經濟ノ上ニ相當好キ影響ガアリハシナイカト云フコトガ第一點、第三ノ點ハモウ少シ大キク引ッ被セテ、此對滿投資、或ハ滿洲日本間ノ輸出入ノ問題、今申上ゲマシタ滿洲國ノ公債ノ問題ノ如キ、其他一切ノモノヲ引括メテ、モウ少シ日本ト滿洲トノ間ノ關係ト云フモノヲ、少クモ貿易ノ上、或ハ金融ノ上ニ於テ、實際的ニ一體化スルヤウナ何カ御計畫ハナイカドウカ、サウ云フコトガ必要ダト思ヒマスガ、御計畫ハナイカト云フコトヲ伺ヒ

○小池委員 ソレハ事實ヲ御話下サツタノ
デアリマスガ、ソレデ満洲國ノ色々ノ財政
經濟ノ經營上適當ナリト御考ニナリマス
カ、外國並ミニ満洲ノ公債ヲ取扱ハレテ宜
イノカ、又サウ云フヤウニ外國ト差別ナク
取扱ツテ居ルガ、併シ此處デヘ言ヘナイガ
言外ニ或ル何等カノ味ガアルコトト思フノ
デアリマスガ、唯事實ヲ幾ラト幾ラト云フヨ
トヲ御聽キシタノデハナイ、ソレデ國策上
宜シキヤ否ヤト云フコトヲ御聽キシタノデ
アリマス

斯ウ云フモノガ入ッテ居ツタト思ヒマス、見リマス、其事業ノ性質其モノハ今日必要ナノデアルケレドモ、其事業ノ設備ガ今日既ニ餘リ多ク出來テ居ツテ操短ヲシテ居ルガ爲ニ、之ヲ今日新設増設ヲ許サナイト云フモノガ入ッテ居ル、ソレハ「セメント」モ其ノ事業モ、事業ノ性質トシテハ決シテ等閑ニ付スベキ事業デハナイガ、現在ノ設備ガ餘リ多クテ操短ヲシテ居ルガ故ニ新設ノ必要ナシ、斯ウ云フヤウナ見方ヲシテ、許スベカラザル所ノ事業ノ中ニ入ッテ居ルト思ヒマス、併シ是モ考ヘ方デアツテ、私今日何

○入間野政府委員 日本銀行ノ満洲國國債ニ對スル貸出利率ノ點ハ、銀行局ノ關係デアリマスカラ、私カラ御答申上ゲマスガ、日本銀行ニ於キマシテ手形割引及ビ貸付ニ付キマシテ、國債擔保ノモノニ對シマシテ

御話ノ點ニ付キマシテモ目下研究致シテ居
リマス

ガ此事業界ノ中デ一番痛ヲ成スカト言フ
ト、先程モ森田君カラ御話ガアツト思ヒマ
スガ、非常ニ古イ時代ニ出來マシタ工場設
備ト云フモノガ、是ガ其儘残ツテ居ツテ、ソ
レガ同ジ種類ノ事業ノ中デ進歩シタ設備ノ

モノト競争シテ、ヨタ／＼シナガラ此古イ

設備ガ運轉シテ居ルト云フコトガ、其事業

カラ出來マス製品ノ價格ヲ不當ニ引上ゲテ

居ル原因ニナッテ居ル、硫安ノ問題ガヤカマ

シイノハ其爲デアル、是ハ硫安製造業ノ中

ニ、設備ノ非常ニ舊式ナモノガアツテ、ソレニ

依リマス生産費ト云フモノガ非常ニ高イ爲

ニ、ソレガ基準ニナッテ硫安ノ値段ガ決ッテ

居ル、此舊式設備ヲドウカシナケレバナラ

ヌト云フコトガ、日本ノ產業ヲ發達セシム

ル上ニ於テ特ニ大切デアル、殊ニ事變時ニ於

テハ斯ウ云フ設備ニ付テハ十分ナル考慮ヲ

シナケレバナラヌノデアリマスガ、例ヲ舉

ゲマスレバ、例ノ「セメント」ニ於キマシテ

モ、或ハ人造絹絲業ニ於キマシテモ、ヤハ

リ是ハ舊式ナ設備デ、今日精銳ナル機械ト

太刀打ノ出來ナイト云フヤウナ設備ガ多々

アル、「セメント」ニ於キマシテモ、人絹ニ

於キマシテモ、サウ云フヤウナ事業ヲ頭カ

ラ新設増設ヲ許サル事業ト決メズニ、舊

設備ヲ叩キ潰シテシマッテ、同ジ「キヤハシ

チ」ノ範圍内ニ於テヤリマスナラバ新設

ヲ許スト云フ御考慮ガアツテ然ルベキデ

アルト思フ、此點ニ付テノ御所見ヲ御聞キ

致シタイ

經濟ニ付キマシテハ、小池サン仰セノ通

ニ、相協力シテヤツテ、其意味ニ於テハ新紀元

ヲ開イテ行キタイトマデ覺悟致シテ居ル次

第デアリマス

第二ノ事業ノ性質ト云フモノニ付テノ御

意見ハ、其通リト思ヒマス、併シ先程大藏

大臣モ縷々申述ベマシタ通り、何ニ致セ此

時局ニ當ッテ、ドウシテモヤツテ行カナケレバ

ナラナイト云フ事業ヲ先ヅ置キタイト云フ

趣意ニ於キマシテ、操短シテ居ルモノハ、

資金ヲ供給スルヲ許サナイ方面ノ方ニ置イ

タ譯デアリマスガ「コスト」ヲ低メテ行ク爲

ニ、良キ日進月歩ノ機械ヲ持ッテ行クト云フ

コトハ是ハ當然ノコトデアリマス、サウ云ツ

タヤウナ場合ニ付キマシテドウ云フヤリ

十分バカリ休憩ランテ貰ヒタイト云フ要求

ガアリマシタ、ソコデ三十分休憩致シマス

ト五時ニナルノデアリマスガ、其内若シ代

議士會デモ開クト云フコトニナルト三十分

間ニ食事ヲ済マストスレバ六時頃カラヤッテ

モ宜イノデスガ、六時マデ休憩致シマセウカ

テモ大シタコトハナイノデアリマスガ、自

由ニ輸入セラレタル戰爭ノ資材ト云フモノ

ハ、目的ハ戰爭資材デアツテモ他ノ目的ニ利

用ガ出來ル、例ヘバ「ゴム」ノ如キモノハ玩

具ナドニ出來ル、鐵モ色々々下ラナイモノニ
出來ル、必要ナモノモアリマセウガ、先刻
モ此處デ大藏大臣ニ聽イタノデアリマスガ、
自動車「ガソリン」ト云フヤウナモノモ他

午後六時二十三分開議

○川崎委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ

開會致シマス、モウ大分時間モ經過シテ居

リマスカラ、ドウゾ一ツ質問ノ要領ダケヲ

願ヒマス、政府ノ方デモ成タケ直截簡明ニ

能ク判リ易ク御答辨ヲ願ヒマス、作田君ハ

商工省ヲ留保セラレテ居リマスノデ、作田

君カラ始メテ戴キマス——作田君

申上ゲタ次第デアリマス

○作田委員 輸出入品等ニ關スル臨時措

置ニ關スル法律案ニ付テ商工大臣ニ御尋致

シマス、第二條ニ依リマスト、輸入ヲ制限

セラレタモノ「其ノ他ノ事由」トアリマス、

是ハ判リマセヌガ、輸入ノ制限ト同ジヤウ

ナモノニアラウト思ヒマス、サウ云フ事由

ニ依テ需給關係ノ調整ヲ必要トスル場合ト

ナッテ居リマスガ、是ハ寧ロ自由ニ輸入セラ

レタモノニ對シテ必要ガアルノデハナイ

カ、輸入ヲ制限セラレタモノ——ドチラニシ

テモ大シタコトハナイノデアリマスガ、自

由ニ輸入セラレタル戰爭ノ資材ト云フモノ

ハ、目的ハ戰爭資材デアツテモ他ノ目的ニ利

用ガ出來ル、例ヘバ「ゴム」ノ如キモノハ玩

具ナドニ出來ル、鐵モ色々々下ラナイモノニ
出來ル、必要ナモノモアリマセウガ、先刻
モ此處デ大藏大臣ニ聽イタノデアリマスガ、
自動車「ガソリン」ト云フヤウナモノモ他

午後四時三十二分休憩

○太田政府委員 第一二日滿一體トシテノ

ノ目的ニ使ツテ居リマス、サウ云フ目的ノ資

材ノ獲得維持ト云フコトハ、却ツテ自由ニ輸入セラレタモノニ對シテ必要ガアルノデハ

ナイカト思ハレルノデアリマスガ、ドウ云

フ御考デアリマスカ

○吉野國務大臣 アノ規定ヲ大體立法致シ

マシマシタ趣旨ハ、國內ニ需要スル數量ヲ

抑ヘルノデアリマスカラ、隨テ抑ヘタモノ

ハドウシテモ需要ニ對シテ多少足リナイ譯

デアリマスカラ、其消費ノ節約ト云フコトハ

シナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ガ一ツノ精

神デゴザイマスガ、併シ御話ノ通リニ輸入

ヲ制限致シマシタモノ以外ノモノニ於キマ

シテモ、御示シノ通リノヤウナコトヲ想像

スルノデアリマスカラ、法律ニハ「輸入ノ制

限其ノ他ノ事由ニ因リ」ト廣ク書イテアル

ノデアリマスガ、併シ書イタ氣持ハドチラ

ニ重キヲ置クカト云ヘバ——重イト云ウテ

ハ惡イカモ知レマセヌガ、ドチラガ主デア

ルカト言ヘバ、今申シマス通リ輸入ヲ制限

シテ足リナイモノ、其消費ト云フモノニ對

シテ適當ナ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フ趣旨デ

アリマス

○作田委員 御説明ハ能ク判ツタノデアリ

マスガ、其以外ノモノニ對シテ何等カノ方

法ヲ考ヘテ居ラレルカドウカト云フコトデ

アリマス

○吉野國務大臣 ソレハ今申シマシタ通り

ニサウ云フ必要ガアラウト思ヒマス

ガ、此法律竝ニ臨時資金調整法ト云フモ

ノト併セテ一聯ノ資材ノ浪費ヲ防グト云

フコトニアルノデアリマス、然ラバ消費

ノ節約ト云フコトニ對シテ、立法手段及ビ

立法ノ手段以外ノ他ノ方法ニ依ッテ其目的

ヲ達スル意思ガアルカドウカ、アリトスレ

バ何カ御考ガアルカドウカ、是ハ先程藏大

臣ニ伺タノデアリマスガ、商工大臣ニモ

御聽キシタインデアリマス

○吉野國務大臣 軍事資材ノ方ノ話ダケニ

限リマシテ、問題ヲ複雜ニシナイ爲ニ申上

ゲマスガ、例ヘバ鐵材ト云フヤウナモノニ

付キマシテハ、ヤハリ今御示シニナリマシタ

通リニ、國防軍事ノ見地カラ、比較的不急、

不要ト云フ方面ニ使ハレマスコトハ此際ト

シテハ控ヘテ貰ヒタイ、斯ウ思ヒマスカラ、

ハ惡イカモ知レマセヌガ、ドチラガ主デア

ルカト言ヘバ、今申シマス通リ輸入ヲ制限

シテ足リナイモノ、其消費ト云フモノニ對

シテ適當ナ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フ趣旨デ

アリマス

○作田委員 御説明ハ能ク判ツタノデアリ

マスガ、其以外ノモノニ對シテ何等カノ方

法ヲ考ヘテ居ラレルカドウカト云フコトデ

マスケレドモ、我國ノ實際ノ事情カラ申シ

マスト、一々法規ヲ以テ何ノ物質ハドウ云

フ方面ニハ使ツテハナラスト云フコトヲ規

定スルコトハ適當デモナイシ、非常ニ煩雜

デモアリマスカラ——全然ヤラスト云フコ

トハゴザイマセヌデ、必要ガアレバヤリマ

スガ、ソレ以外ニ消費節約ト云フ國民運動

ヲスル、或ハ物ニ依ツテハ今度ノ議會ニハ

ノヲ手加減致シマシテ、其モノノ價值ヲ高

クシテ消費ノ節約ヲ自然ニ行ハシムルト云

フ方法モ講ズル、或ハ資金調整法ト云フ法

律ノ運用ニ依リマシテ、サウ云フ品物ヲ使

フ事業其モノヲ抑ヘル、斯ウ云フヤウナコ

ト、色々相俟ツテ其目的ヲ達シタイ、斯様

ニ考ヘテ居リマス

○作田委員 サウスルト直接ニ立法ハシナ

イ、間接ニ何等カノ立法手段ニ依ッテヤル、

他ニハ精神運動ヲ起ス、斯ウ云フコトニ承ッ

テ宜イノデスカ

○吉野國務大臣 私ハ直接ノ立法ハシナイト

ハ申シマセヌ、例ヘバ鐵材ノヤウナモノニ付

カ何カニ法規デ定メタイ、斯ウ云フ考ヲ今

持ツテ居リマス、其他ノモノニ付キマシテ

テハ法規ヲ以テ規定スル積リデアリマス、

ガ從來迄ノヤリ方デアリマスカラ、著シク

減少シタリト認メタルトキニ一分ノ一ノ減

免ヲスルト云フコトハ、出征軍人ニ對スル

カラ出発シテ居ルト考ヘルノデアリマス、

ソレハ考ヘテ居リマス、ケレドモ色々ナ物ニ付テ總テ法規命令ヲ以テヤルト云フ考ハ有ツテ居リマセヌ

○作田委員 商工大臣ニマダ色々質問ガアリマスケレドモ、此位デ打切リマスガ、大臣ニ付テ總テ法規命令ヲ以テヤルト云フ考ハ有ツテ居リマセヌ

○川崎委員長 サウスルト濟ミマス

○作田委員 濟ミマス——軍人軍屬ニ對ス

ル租稅ノ減免ニ關スル命令要綱ガ出テ居リ

マスガ、之ニ對シテ先刻松田君カラ色々理

由ヲ御尋ニナツテ、「應召ニ因リ田畑自作所

得著シク減少シタリト認メラルルトキ」ト

アル、此「著シク」ト云フコトハ無意味デア

ルト云フコトニ付テ詳シク御述ベニナック

ノデアリマス、私共モ同感デアリマスガ、

空文デアリマスガ、今出征軍人へ殆ド大部分ハ農村デアリマシテ、農村出身者ニ對シテ、多少デモ減少シタリト認メタルトキハ之ヲ減免スルト云フコトハ、非常ニ大キナ精神的影響、效果ガアルト私ハ考ヘマス、此著シク」ト云フ字ヲ除クコトガ出來ルカドウカ、モウ一ツ是ハ本人ノ申請ニ依リ、又稅務署長ハ申請ガナクテモヤレルト書イテアリマスガ、其以外ニ市町村長ノ申請ト云フモノヲ入レテヤラセルコトニナレバ圓滿に行クノデハナイカ、稅務署長デハ實際ハ分リマセヌ、又本人ノ家族ハサウ云フコトハ理解ガナイ、市町村長等ニ申請サスト云フコトニナレバ、始メテ是ガ圓滿ニ實行出來ル、是ダケデハ實行ガ不能デアルト私ハ考ヘマス、サウ云フコトニ御直シニナル意思ハナイカドウカ、ソレカラモウ一ツ之ニ應召軍人トアツテ、出征ト云フコトガ書イテナインデアリマス、所得稅ノ方ハ、現役ノ出征ト云フ場合ガ要ルノデ、地租ニハ要ラナイト云フ思召カモ知レマセヌガ、現役デ出征致シマセウトモ、豫備デ應召シテ出征致シマスル時デモ、等シク君國ノ爲ニ一身ヲ犠牲ニシテ、出征スルノデアリマスカラ、之ニ出征ト云フ文字ヲ御入レニナッテ差支ナイヤウニ考ヘマス、立法技術上入レラレ

ルコトニナレバ御入レニナル意思ガ御有リニナルカドウカ、簡單ニ是ハ結論ダケヲ御答ヘ願シテ置キマス、其點ニ付テハ吾々ノ方ニ考ガアル、ドウスルカト云フコトダケニ付テ御答ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 御答致シマス、此度ノ減免稅ノ立法ノ趣旨ハ、大體所得稅及ビ收益稅タル地租、營業收益稅ニ付キマシテ、軍人ガ從軍シタル場合ニ、其從軍ニ依ッテ收入ガ減少スルト云フコトガ起リマスルノデ、ソレヲ現行法通リニシテ置クノガ實際ノ實情ニ副ハナイ、從軍中ノ軍人ヲ優遇スル所以デナイ、ソレデ或ル程度以上所得、

緩和ノ途ヲ講ジタノデアリマス、隨ヒマシテ地租ニ於キマシテモ、或ル程度以上收入ノ減少スルト云フ場合ニ之ヲ適用シタイト内ニ全ク入レナイ方ガ宜カラウ、斯ウ考ヘタノデアリマス、勿論斯ウ云フ際デアリマスカラ、其實行ニ當リマシテハ十分注意致シマシテ、成ルベク無理ノナイヤウニ致ス積リデハ居リマスガ、大體ノ立法ノ趣旨ガ左様ナノデアリマス、ソレカラ次ニ申請ハ本人バカリデハナク、市町村長ニヤラレタラドウカト云フ御説デアリマスガ、是モ

ルコトニナリハシナカト思フガ、實際ニテ執ツテ行ク上ニ於テハ、結果ニ於テ殆ド同市町村長ノ意見ヲ十分聽取致シマシテ實行スルヨリ外ナイ、今ノ自作農ノ質貸價格二百圓以下ノ免稅ノ手續モ、各本人ガ申請スルヨリナツテ居リマスケレドモ、ヤハリ實際ハ市町村長ガ纏メテ出スヤウニナツテ居リマシテ、殊ニ今回ハ…（作田委員）ソソナ理由ハ聽カヌデ宜イデス、結論ダケ言ッテ下サイ」ト呼フ）實際ニ於テハ御趣旨ニ變ラヌヤウニヤレルト思ヒマス、ソレカラ最後ノ現役ノ者ニ付キマシテハ、是ハ先程カラ申上ゲマシク通り、今度ノ從軍ニ依ッテ所得收入ガ減ルト云フコトハ起ツテ來ナイ、從來或ハ自作農ノ仕事ニ從事シテ居ナイカラ、從軍自體ガ直チニ原因シテ收入ガ減ル、從軍自體ガ直チニ原因シテ收入ガ減ル

○作田委員 總テ入レナイト御考ヘニナッ

○吉野國務大臣 御説ノ通リ委員會ハゴザ

ノ方ノ關係デ已ムヲ得ズ是ダケノモノハ節

約シタイ、斯ウ云フ見地カラ、物ニ依リマシテハ國家產業ノ必要ナ物其モノノ輸入ヲ止メルト云フコトニナルノデアリマス、

隨ヒマシテ、其事柄自體ガ時ニハ財政上ノ機密ニ屬スルト云フ場合モ、ザイマスル

シ、又其中ニハ軍事ノ資材トシテ、ドウ云フモノヲドノ位入レルカト云フヤウナ軍ノ

スルヨリ外ナイ、今ノ自作農ノ質貸價格二百圓以下ノ免稅ノ手續モ、各本人ガ申請スルヨリナツテ居リマスケレドモ、ヤハリ實際ハ市町村長ガ纏メテ出スヤウニナツテ居リマス、是ハ議論ハシマセヌガ、モウ少し架空論ト云フモノガ生レテ來ルノデアシテ、是ハ實情ヲ調べテ貴ハナケレバナラヌ、ソソナコトハ答辯ニナリハシナイ

○吉野國務大臣 御説ノ通リ委員會ハゴザイマスガ、此輸出入品ニ對スル制限ヲスルニ付テ、委員會ト云フモノガナイヤウデアリマスガ、他ノ方ハ皆委員會ガ出來テ居テ是ダケナイノデアリマス、是ハ御持ヘナサラズニ、商工大臣ダケデオヤリニナルノデスカ、ドウ云フ風ニオヤリニナルカ一寸伺テ置キタイ

○吉野國務大臣 御説ノ通リ委員會ハゴザイマセヌ、詰リ此關係ハ產業上ノ見地デ物ヲ入レナイト云フノデナクシテ、國際牧支ノ方ノ關係デ已ムヲ得ズ是ダケノモノハ節約シタイ、斯ウ云フ見地カラ、物ニ依リマシテハ國家產業ノ必要ナ物其モノノ輸入ヲ止メルト云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ、其事柄自體ガ時ニハ財政上ノ機密ニ屬スルト云フ場合モ、ザイマスルシ、又其中ニハ軍事ノ資材トシテ、ドウ云フモノヲドノ位入レルカト云フヤウナ軍ノ

機密ニ關スルヤウナモノモ自然出テ參ルノ
デアリマスカラ、ソコデ實際問題トシテハ
大藏省其他ノ方ト十分ニ御話ヲシテ、寧ロ
ノ制限ヲスルト云フコトニナルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、サウ云フヤウナコトヲ委
員會デ議スルコトハ適當デナイト思ッテ、
此點ハ省イタノデアリマス

○作田委員 今度ハ大藏次官ニ一寸御伺シ
タイノデアリマス、先ニ大臣ニ伺ツタ説明デ
ハ私ニハ腹入リガシナカツタノデアリマスケ
レドモ、時間ノ關係上重ネテ御問シナカツ
タノデアリマスガ、此資金調整法第四條ノ
無制限ニヤラスト云フ分デアリマス、拂込
其他干渉シナイト云フコトニナツテ居ル分
デアリマスガ、法ノ立前ニ於テハ、干渉ス
ル分トシナイ分ヲ分ケテ置クト、干渉ス
ル分ハ許可ガ要ル、斯ウ云フコトニナルノ
ハ、許可スルカ許可シナイト云フノダカ
ラ、必ズ許可ノ申請ヲ致シマスガ、要ラナ
イト云フ分ハ、大藏省ガ要ラナイト云フ
コトハ、條文ノ上デハ書カレマセウケレド
モ、ソレハ會社ノ定款若クハ現實ノ營業ト
云フモノガ複雜多岐デアル場合ニ於テ、放
任セラレタ分デアルカドウカト云フコトヲ
獨斷デ決メルコトハ出來マイト思ヒマス、

○太田政府委員 理財局長カラ少シク細カ
リマスカ
ウト思フ、サウスルト、ドレモ是モ苟モ之
ニ該當スルヤウナモノハ全部大藏省ヘ一度
申請シテ、伺ヒヲ立テテ御許シヲ得ネバヤ
レスコトニナルノデハナイカト思ハレルノ
デアリマスガ、是ハドウ云フ風ニナッテ居

當々タ折ニハ罰金ヲ喰フノデアリマスカラ、
伺ヒラ立テルト云フコトニナツテ來テ、結果
局干涉セザルモノハ一ツモナイト云フ結果
ニナラヌカ、斯ウ云フノデアリマス

○太田政府委員 是ハ今理財局長ノ申シマ
シタコトガ少シ 言葉ガ足ラナカッタと思ヒ
マスガ命令ノ中ニ 事業主ノ名前ヲスッカリ
書クノデアリマス、其事業ノ中ニ入ッタモノ

題ヲ考へ、會社ノ實情ヲ考へタ時ニ、如何ニシテサウ云フ區別ヲ立テルカ、結局悉ク一遍ハ伺ヒヲ立テサスト云フコトニ歸著スルデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス

○關原政府委員 只今ノ御質問デゴザイマス
スガ、事業ノ種類ニ依リマシテ、此事業ニ付キマシテハ、如何ナル場合ニ於テモ政府ガ認可ヲ與ヘルノダ、或ハ許可ヲ與ヘルノダト云フヤウナ種類ノモノニ付キマシテハ、其規定ノ方法トシマシテハ、命令ノ中ニ其事業ハ明ニシテ、斯ウ云フモノハ認可ヲ受ケルコトニ致シテ宜カラウト思フノデアリマス
○作田委員 ドウモ分ラヌノデアリマス
ガ、仰シヤル方ハ分ツテ居ルカドウカ知リマセヌガ、聽イテ居ル方ハ分リマセヌ、詰リ事業ニ依ツテハ何等干渉制限ヲ加ヘナイ、斯ウ云フ事業ガ抽象的ニ茲ニアルノデス、ケレドモ具體的問題トシテ、ソレノ重役ガ拂込ラヤラウト云フ折ニ、果シテ其條文ニ當ルカ當ラヌカト云フコトヲ考ヘテ、萬一

○作田委員 其御書キニナルノデアリマス
ガ、先刻モ非常ニ詳シク御述ニナッタノデ
スガ、アレヲ聽イテ居ル中ニ、是ハ許可ス
ル方、是ハ許可シナイト云フ方ヲ竝ベラ
レタ折ニ、其二ツヲヤツテ居ル營業ガアル、
實際ニ於テ許可ニナルモノヲ三割ヤリ、不
許可ノモノヲ七割ヤルト云フ、箇々ノ場合
ニサウ云フ兩方ヲヤルノガ出テ來ル、ソレ
ガ又實際ニ於テサウ云フモノヲ何デ抑ヘル
ノカ、只今ノ現實デ抑ヘッコナインデアリマ
スカラ、過去半箇月トカ、一年トカ、三年トカ
ノ平均ヲ取テ行クノデアリマス、サウ云
フモノノ仰ヘ方ニ依ッテ許可ノ中ニ入り、不
許可ノ中ニ入ルト云フコトニナッテ來ル、
ソレカラ若シ之ヲ定款デオヤリニナルト云
フコトニナルト逆モ收拾ノ付カナイモノニ
ナルノデアリマス、抽象的ニハ是ハヤル、

マシテハ、或ハ認可ヲ受クル前提トシマジテ、斯ウ云フモノハ認可ヲ受クベキ事業デアルカドウデアラウカト云フコトヲ、御聞合セニナル必要ガアルカモ知レマセヌ
○作田委員 マア此位ニシテ置キマセウ、ソレカラ今一つ伺ヒタイノデアリマスガ、第四條ニ株金ノ拂込、社債ノ募集ト云フコトガ書イテアルガ、是ハ許可事項ニナル場合トナラナイ場合ガアルノデアリマセウガ、第三條ニ依ル自治調整ト云フモノガ行ハレル分ニハ問題ハナイノデアリマスガ、第二條ニ於テ、第三條ニ關係ナク第二條ニ依ル表面的ノ調整ラシテ行ク折ニ、茲ニ有價證券ノ應募ト書イテアルノデアリマスガ、第四條ニ依ツテ許可シタルモノト許可セザルモノトガ、第一條ニ來テドウ云フ關係ガアルカ、詳シク言ヘナイデモ御分リニナルダラウト思ヒマスルガ、第四條ニハ株全

ノ拂込、社債ノ募集云々ト書イテアッテ、ソ
レハ許可ヲ得ル、此分ガ第二條ニ來テ之ヲ
二條ノ許可ヲ受クレバ宜イト云フコトニナ
リマス、第四條ニ於テ許可ヲ受ケザルモノ
ガ第二條ニ來タ場合ニハ許可ヲ受ケルト云
ガコトニナリマス、サウ云フ風ニ見エルノ
デアリマスガ、是ハ許可ガ二重ニナル場合
ト、一度第四條ニ依ッテハ許可セザルコト
ニナツクモノガ、第一條ニ於テハ許可スルト
云フコトニナリマスト、中途半端ノモノガ
出來ルノデハナイカト思ハレルノデアリマ
ス

マスガ、委員會ノ話デアリマスガ、十一條
ハ鍊達堪能ノ士ヲ御加ヘニナルコトハ既ニ
分ツテ居ルノデアリマスガ、大體鍊達甚
能ノ士ハ即チ鍊達甚能デアリマスケレド
モ、三十九五十モノ會社ヲ掛持シテグ
ルグル廻ツテ居ル、其間ニ碁將棋ナドラス
ルヤウナ人ニ委員ニナツテ貰ッタ所ガ、盲
判ヲ御捺シニナルダケノ話、ソレカラ役所
ノオ役人諸君ニ委員ニナツテ貰ッタ所ガ、グ
ルグル廻リヲシテ、所管事務モアリマセウ
カラ、サウ云フヤウナ方々デ委員ノ形式ヲ
繕ラフト云フコトハ、結局實益ガナイモノ
デアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、第十一
一條、第十二條ノ如キハ最モ國民生活ニ重
大ナル影響ガアルノデアリマスカラ、此際
一ツサウ云フ業界ニ居ル若イ課長位ノ所ヲ
選拔シテ、毎日出ルヤウニスル、月給ハ亞
米利加邊リデヤッタヤウニ一年ニ一圓ヤツテ
モ宜ノデアリマス、何カサウ云フヤウナ
コトニシテ、毎日出テキバキ仕事ヲシテ行
クコトヲオヤリニナツタラドウカト思フノ
デスガ、政務次官モ御認メノヤウニ、爲替
管理ニ付テハ是ハ言フ必要モナイト御認メ
ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ惡ク
言ヘバ醜態ヲ再び繰返サレルコトハ、非常

ウナコトハ今迄ト違ツタ少シテキバキシタ
戦時體制ニ副フヤウナ委員會ヲ御作リニナ
ル御積リハナイカ、是デ私ハ終リマス
○太田政府委員 第十一條、第十二條ノ委
員ハ毎日勤メルト云フ制度デナクテ、事業
ノ選リ分ケニナツテ居リマス、其點デドウ
云フ人ヲ充當シテ宜イカト云フコトニ付キ
マシテハ、御考ノ點ハ能ク参考ニ致シマシ
テ、有效適切ナモノニ致シタイト思ッテ居
リマス

ヲ抑制致シマス結果、之ヲ原料トシテ使用致シマス生産事業ト云フモノニモ影響ガアルノデアリマス、隨テサウ云フコトヲ其業全體ノ爲ニ適當ニ割振リラシテ、若シ其ノモノガ假ニ足リナイ場合ニハ、例ヘバ代用物ヲ以テ之ヲヤルト云フヤウナコト、或ハソレデモイケナイ場合ニハ操短ヲスルト云フヤウナコト、ソレガ總テノ業者ト云フモノノ一方ニ偏スルコトガナイヤウニ、適當ナ調整ヲ加ヘテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○吉野國務大臣 御話ノ通リサウ云フコト
ヲヤル時ハ、或ル方面ニハ今申シマシタヤ
ウナ不便ト申シマスカ、影響ガアルノデア
リマスガ、出來ルダケサウ云フ影響ヲ少ク
シタイ、隨ヒマシテ代用品ニ付テモ、例ヘ
バ棉花、羊毛ト云フ場合ハ「ステープル・フ
アイバー」ヲ以テ代ヘルト云フコトデアリ
マス、代用品ノナイモノマデヤルト云フコ
トハアリマセヌ

○松田(喜)委員 モウ一言、「ペト」ト云フ
薬品ヲ輸入ヲ禁止セラレマスカドウデス

○吉野國務大臣 只今其名前モ初メテ承リ
マシタノデ、一向存ジマセヌ

○松田(喜)委員 關聯シテ居リマスガ、是
ハ何デモナイコトデアリマス、是ハ大シタ
量ヲ輸入シテ居ルノデハナイガ、之ヲ使用
シテ居ル者ハ全國ノ有ユル人ガ皆使ッテ居
ル、ソレヲドウモ禁止スルラシイ、サウ云
フノデヤナ、イカト云フコトガ其業者仲間ニ
判ツテ居ツテ、既ニ價格ガ暴騰シテ居リマス
ガ、若シ之ヲ禁止スルト云フコトニナリマ
スルト、或ル特定ノ人ダケガ利益ヲ得ル、全
國多數ノ人ハ大變ナ不自由デ、高價ナモノヲ
使用シナケレバナラヌ、隨テ輸出ニモ關係

マスガ、必ズヤ知ツテ居ラレルト思ヒマスカラ、御發表ニナツタナラバ如何デアリマスカ
○小池委員 資金調整法案ニ關シ、其中ノ問題ニナリマス公債消化ニ付テ商工大臣ニツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、大臣御承知ナイカモ知レマセヌガ、先程ノ午後ノ會議デ、大藏大臣ハ公債消化ト云フコトニ一言言及シテ居ツタノヲ聞イタノデアリマス、大藏大臣ハ公債消化ニ付テハ餘リ心配ヲシテ居ナイデ、樂觀的ノ口調ヲ述べト言明ヲサレテ居ツタ、其時ニ何ト言ヒマシタカ、愛國心ノ發露ガアルカラト云フ理由ヲ述ベテ居ツタヤウニ聞イテ居リマス、併シ私ハ之ヲ反對ニ見透スノデアリマス、例ヘバ一例ヲ舉ゲテ申上ダレバ分リマスガ、私ハサウ簡單ニ公債消化ハ、民間ニ於テ歡迎シテヤルヤウナ工合ニハ此儘デハ行カナイト思ヒマス、一つノ例ヲ舉ゲレバ、公債消化ノコトヲ考ヘテ見ル、最近ノ事例デアリマスガ、前々重大ナ問題デアル生命保險會社ノコトヲ考ヘテ見ル、生命保險會社ガ「パンマレット」ヲ出シマシ議會ニ問題ニナツタ一つノ事ニ付キマシテ、是ハ勿論全

國ノ生命保険會社ノ團體カ何カガ代辯シテ書イタ所ノ「パンフレット」デアリマス、生命保険會社ノ氣持ヲ其儘其中ニ讀ンデ宜イハ省略致シマスガ、御持チニナルト思ヒマスカラ後デ御讀ミヲ願ヒタイト思ヒマス、題ハ「生命保険國營案ヲ駁撃ス」ト云フ小冊子デアリマス、此二頁、或ハ五頁、或ハ十六頁ニアリマス文句ヲ御讀ミ下サイマスト明カニ分ルノデアリマシテ、此中ニハ生命保険會社ガ、今日政府ガ意圖シテ居リマス生命保険ト協力シテ公債消化ヲシヨウト云フ意圖ヲ頭カラ否定シテ居ルノデス、政府ガ生命保険ノ資金ヲ國債ニ引摺ッテ行クト云フコトハ飛ンデモナイコトデアッテ、赤字財政ノ爲ニ手イラズノ財源ヲ無償デ提供スル以外ニ何物モナイト言ツテ絶對ニ排撃シテ居ル、生命保険絶對不可侵デアリマス、ソレデハ大藏大臣ノ先程言ハレタ公債消化命保険會社ガ特別ニ威張シテ居ルト云フダケデハナインデアッテ、ヤハリ信託業者其他ノ金融業者モ、大小トナク斯ウ云フ氣分方アルト思ヒマス、是ハ當リ前デ、營利事業ヲヤツテ居リマシタ者ガ、今度ハ一足飛び

ニ國策ニ協力サセナケレバナラヌト云フ場
合ニハ、此位ノ反対ガアルコトハ政府當局
トシテ覺悟シナケレバナラヌノデアッテ大
藏大臣ノ如ク頭カラ樂觀シテ掛ツテ居リマ
ント、資金調整法案ノ運用ニ當リマシテ飛
ンデモナイ障碍ニブツツカル、是ハ此「バ
ンフレット」ニ書カレマシタ内容ヲ以テ判断シ
タニ過ギマセヌガ、商工大臣ハ生命保険會
社ニ對シテ、今ノヤウナ公債消化ニ付テ何
カ御見透シガアリマスカ、ドウ御考ニナリ
マスカ、一應伺ツテ置キマス

ス、而シテ保険會社ニ於キマシテモ、此時局ニ對シテ協力スル意味ニ於キマシテ色々協議ノ結果、彼等ノ是カラ更ニ餘分ニ持ツベキ公債額ト、又保険料ニ依ッテ今後段々幾分ヲ公債ノ方ニ向ケルト云フコトニ付キマシテモ、大體話合ガ出來テ居ルト承知致シテ居リマス。

○小池委員 能ク分リマシタ、サウ云フコトナラバ幾分安心ガ出來ルト思フノデアリマス、丁度御答辯ガアリマシタカラ、其點ヲモウ一言納得ヲサセテ戴キタイト思ヒマス、勿論生命保険會社ハ其持ツテ居リマスル資金ト云フモノガ、現在色々ナ産業ニ、貸出、或ハ有價證券ノ形デ行ツテ居ルコトハ存ジテ居リマス、ソレヲ今直ニ引出シテ參リマシテ、公債ノ方ニ振向ケルト云フコトトハ是ハ財界動搖、經濟界混亂ノ基デアリマス、勿論ヤルベキコトデハナイ、最後ニ大臣ノ言ハレタ所ノ、今日ヨリ以後生命保險會社ガ新ニ獲得シマス所ノ資金、此資金ヲ成ルベク多ク公債ノ方ニ引出シテ引受ケサセテ行クト云フコトガ、考ヘラレル唯一ノ方法ダト思フ、勿論是ハ今戴キマシタ資料ヲ拜見シマシテモ、現在生命保険會社ガ債ノ額ハ二億三千万圓バ持ツテ居リマス

カリト書イテアリマスガ、此前ノ議會ニ於キマシテ保険會社長ノ言明ニ依レバ、全生命保険會社ノ持ツテ居リマスル所ノ資金ハ今二十九億ダト云フコトデアリマス、サウシマスト、約一割ニモ足リナイ公債ヲ持ツテ居ル、新シク獲得シタ資金ヲ出來得ル限り公債ノ方ニ融通サセルト云フコトハ、商工、大藏兩當局ノ是カラヤラナケレバナラヌコトダト思フ、其ヤリマスル時ニドンナ手續デヤルカト云フコトニ付テ——公債ヲ持タセル其手續ノ方法ヲ一言ダケ伺ツテ置キタエ、今仰セラレマシタヤウニ、今マデ割合ニ此資金ヲ利廻ヨク使ツテ居タノヲ、今度ハ三分五厘カ、或ハ精々四分ニナラナイヤウナ低利ノ公債ニ變ヘサセルノデアリマシテ、仰セラレルヤウニ豫定利率ト云フモノノ問題ガ生ジテ來ルノデアリマス、コヽガ問題ナノデアリマシテ、サウスルト、利廻ノ安イ所ノ公債ヲ持タセレバ、否デモ應デモ保険料ヲ上ゲナケレバナラヌ破目ニナル、ソニ矛盾ガ起ル、其矛盾ヲ克服シテ、利廻ノ低イ所ノ公債ヲ持タセレバ、否デモ應デモ保険料ヲ上ゲナケレバナラヌ破目ニナル、ソニ矛盾ガ起ル、其矛盾ヲ克服シテ、利廻ノ低イ公債ヲ持タシテモ今マデ通リノ保険料デ立ツテ行ケルヤウニシマス爲ニハ、大臣能ク御承知デアリマセウケレドモ、行クベレタカラト云ツテ、豫定利率ヲ下げテ行カナケレバナラヌコトニナル、サウスルコトノ途ハタッタ一ツシカナイ、何カト云ヘバ現在ノ保険會社ノ事業費ヲ節約サセルコトキテハナイ、此事業費ヲ節約サセレバ、

費ハ、ウマク行キマシテ此頃二割三分、二割四分ニナツテ居ル、是ダケノ開キガアルサウデアル、餘計事業費ヲ使ツテ居ル、此事業費ヲ簡易生命保険程度マデ引下ゲルコトガ出来マスレバ、今言ツタヤウシテ全國ノ被保險者ガ保険料ヲ急ニ上グラレルト云フコトハ、萬已ムヲ得ザルナラバ、被保險者モ國民ノ一人デアリマスカラ我慢シマスケレドモ、出來ルダケサウナラザルヤウニナサルコトガ大藏、商工兩當局ノ此事變時代ニヤルベキ工夫ダト私ハ思フ、所ガソコ迄參リマスト、生命保険會社ヲ今日ノ私營ノ儘ニ致シテ居リマスト、利廻ノ低イ所ノ公債ヲ持タセレバ、否デモ應デモ保険料ヲ上ゲナケレバナラヌ破目ニナル、ソニ矛盾ガ起ル、其矛盾ヲ克服シテ、利廻ノ低イ公債ヲ持タシテモ今マデ通リノ保険料デ立ツテ行ケルヤウニシマス爲ニハ、大臣能ク御承知デアリマセウケレドモ、行クベレタカラト云ツテ、豫定利率ヲ下げテ行カナケレバナラヌコトニナル、サウスルト、利廻ノ薄イ公債ヲ持タセマシテモ、保険料開キハ、金額ニ致シマスト大變ナモノデ、三千萬圓乃至四千万圓ニナル、其開キデ、利廻ノ薄クナツタ所ヲ補填シテ參リマスレバ、相當巨額ノ公債ヲ持タセテモ保険事業ハ成リ立ツ、ドウシテモ否デモ應デモソコマデ理窟ガ行クノデハナイカト思フ、其理窟ノ行ク所ガ間違ツテ居レバ別デスガ、結局

ト聞キマスガ、私營生命保険會社ノ事業

サウ云フヤウナ生命保險國營ト云フ所マデ
行カザルヲ得ヌヤウニナリハシナイカト思
ヒマスガ、之ニ付テ商工大臣ヨリ御意見ガ
承レ、バ結構デスガ、色々ナ事情デ差支ガ
アレバ、差支ノナイ程度ノ御答辯デ結構
デス

○吉野國務大臣 事業費ノ比較ノ點デアリ
マスガ、唯一割、二割ト云フダケデハ、實
ハ比較ニナリマセス、詰リ少ク使ッテ同ジ效
果ヲ擧ゲル場合ハ、少イ方ガ宜シイノデス
ガ、少ク使ッテ少イ效果シカナイ、多ク使ッ
テ多イ效果ガアル、斯ウ云フ場合モアリマ
スカラ、今御話ノ通リ民間業者ノ競争ガ非
常ニ激シイト云フコトハ、相當事業費ガ増
スバカリデアリマス、又其保険契約高ト云フ
ヤウナモノモ、其餘計使ッタコトニ比例致シ
マシテ相當多イト云フヤウナコトモアルカ
ト思ヒマス、是ハ議論デハアリマセスガ、
サウ云フヤウニ感ズルノデゴザイマス、是
ハ別ニ正確ナ御話デモナイノデアリマス
ガ、ソコデ今御話ノアリマシタノハ一々御
尤デアリマシテ、ソレデアリマスカラ保険
會社ガ其所有シ得ル公債ニハ自ラ限度ガア
ル譯デアリマス、サウシテ他ノ方ノ有價證
券ニ向イテ居ル點モ、生産力擴充其他ノ關
係ニ於テヤハリ必要ナ投資デアリマスカ

ラ、ソコハチャンポンニシテ、程合ノ所デ
公債ヲ所有スベキ額ナドモ決メル、斯ウ云
フノガ大體ノ考デゴザイマス、而シテ國營
問題云々ニ付キマンシテハ、是ハ又色々議論
モゴザイマシテ、今仰セニナルヤウナ觀點
ダケカラ申セバ一應サウ云フ論理ハ立タク
イコトハゴザイマセヌケレドモ、又立場ヲ
變ヘマンテ他ノ色々ナ方面ノ利害ト云フヤ
ウナモノモ考ヘマス時ニハ、サウ簡単ニ
ソレガ宜イカ惡イカト云フコトモ申上ゲ兼
ネルノデゴザイマスカラ、此程度デ御諒解
ヲ願ヒタイト思ヒマス

ル事業ガ盛ニナツテ參リマシテ、景氣ガ跛行ニナルコトハ已ムヲ得ナイ、併シ是ハ言葉ダケデナクテ、御考ノ中ニサウ云フ氣持ガアレバ、此點ハ少シ質シテ置カナケレバナラヌ、跛行景氣已ムナシデハイカヌノデアリマス、是ハ何トカシテ斯ワ云フヤウナ統制法案ヲ御出シニナツタ以上、其結果ニ付テモ、悪影響ハ出來ルダケ之ヲ除去シテ行クト云フ、努力ノ程ヲ示シテ戴キタイト思ヒマス、大體跛行景氣ト云フモノハ、是ハ言フ迄モナク國民經濟一般ノ水準利準以上ニ或ル特定ノ事業ガ利益ヲ得マシテ、ソレガ蓄積致シマシタモノガ、跛行景氣ニナルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ風ナ法案ニ依リマシテ、資金ノ上、或ハ事業ノ上ニ於テ非常ナ保護ヲサレル 國防產業其他ノ如キモノハ、一般利潤水準以上ニ利潤ヲ取ラシテハイカヌト思ヒマス、少クモ一般利潤並ミニ之ヲ仰ヘルト云フヤウナ、努力ノ跡ガアツテ下サラナケレバイケマセヌ、是ハ昨日ノ近衛總理大臣ノ施政方針演説ノ質問ニ對スル答辯ニモアリマシタヤウニ、上下負擔ヲ共ニスルト云フ、此精神ノテ戴キタイ、是ハ放ツテ置キマスト、必

ズ仰セラレルヤウニ跛行景氣ニナル、ソレカラモウツ私ノ聽キタイコトハ、是ハ何時モ私ガ聽クコトデアツテ、要領ヲ得ナイノデ、殘念ニ思ッテ居リマスガ、商工當局デモ、大藏當局デモ、今持ツテ居ラレル考ハ——私ガ間違テ居レバ取消シマスガ、恐ラクハ今日ノヤウナ事變ノ場合ニハ、今迄ノ事業界ニ於ケル考ヘ方ヲ急激ニ變ヘテハ相成ラヌト云フ建前ニ立ツテ居ラレル、是ハ或ル程度私モ納得ガ出來マス、ソレハドウ云フ所ニ立ツテ居ルカト言ヒマスト、事後ノ時ニハ先程大藏大臣ノ言ハレタヤウニ、戰爭資材ヲ出來得ルダケ潤澤ニ供給シナケレバナラヌト云フ必要ガアル、サウシマスルト戰爭資材ノ生産設備ト云フモノヲ擴大シナケレバナラヌ、擴大サセルノハ民間ノ自發的ノ力ニ俟ツ以外ニハナイト仰セラレテ居ル、自發的ナ發意ヲ刺戟致シマスル爲ニハ、何カ營利的ノ刺戟ガナケレバ、此生産力ノ擴大ハ出來ナイト云フ建前ニ常ニ立ツテ御居デニナル、ソコニヤハリ跛行景氣ガ猛烈ニ參リマス一ツノ間隙ガアルト私ハ思フ、是ハ今迄ノ營利經濟ノ原則、或ハ其事業ニ當リマス、人間ノ事業精神ヲ其儘はナリトシテ肯定シタ時ノ考ヘ方デアリマシテ、此事變ニ遭遇致シマシタ時ニハ、此

考へ方ハ政府當局ノ方カラ、幾分ヅ、變ヘテ行ツテ貰ハナケレバナラヌ、私ハ此生産モノノモノガ一ツノ刺戟デハアリマスケレドモ、同時ニ此事變ニ際會致シマスルト、モウ一ツ刺戟トナル所ノ新シキ材料ガアルト思フ、ソレハ言フ迄モナク先程大藏大臣ガ片言ノ中ニ言ハレタ愛國心デス、資本家ニ愛國心ガアルカラ公債消化ノ心配ハ大シテナイト言ハレタ此愛國心、即チ今ノ戰争資材ヲ造リマスル所ノ企業家ガ、國策ニ協力ヲスルト云フ此精神ヲ發揚セシムルコトガ、是ガ一ツノ生産設備擴大ノ新シキ刺戟ニナルト私ハ思フ、必シモ決シテ營利心ノミヲ刺戟スルコトガ生産設備擴大ノ動機デハナイト思フ、ソコガ此事變ニ際會シ、今後行クベキ新シキ當局ノ持ツベキ指導精神ダト思フ、之ヲ一ツ十分ニ刺戟セシメマシテ、單ニ云フ立場ニ立ツテ戴キタイ、サウシマスレバ比較的薄利ナ、即チ戰時狀態ニ於キマス一般國民ガ仕事ヲシテ得マス所ノ利潤並ミノモノデ我慢フシテ貰ッテ、大事業モ國防產業ヤツテ行ケルト云フ新シキ場面ガ、喜バシキ

場面ガ、此事變ヲ契機トシテ生レルカモ知
アリマス、發展デアリマス、此處ヲ一ツヤッテ
戴カナケレバナラナイト私ハ思フ、從來ノ
ヤウナヤリロヂ、唯戰時ニ間ニ合フヤウニ
ヤッテ戴クト云フコトナラバ、是ヘ變轍モナ
イコトデアリマシテ、能ノ無イ話デアリマ
ス、此點ニ付テノ大藏大臣或ヘ商工大臣ノ、
御兩省同一意見ダト思ヒマズガ、御意見ノ
程ヲ私ハ伺ヒタイ、實ヘ色々心配スルコト
ガアル、斯ウヤッテ當局ハ隨分心配シテ居
ラッジヤルノニ、例ヘバコンナ事モ私ハ解シ
兼ネルガ、一例ヲ舉ガマスレバ、國民ガ一
生懸命ニナッテ此事變ニ對應スル爲ニ獻金
ヲ致シマス、獻金ヲ致シマシテ飛行機ヲ造ッ
テ之ヲ獻納シヤウト云フ場面ガ澤山アル、
此血ノ出ルヤウナ獻金ヲ以テ造ッタ——何
處デ飛行機ヲ造ツテ貰フカ知リマセヌガ、此
獻金デ造ツタ飛行機モ、普通ニ註文サレルト
同ジダケノ利潤ヲ飛行機會社ハ取ッテ居
ルノヂヤアリマセヌカ、私ハ調べテ見マセ
ヌカラ知リマセヌガ、恐ラクサウヂヤアリ
マセヌカ、サウ云フモノデス、私ノ希望ヲ
民ノ獻金デ造リマシタ飛行機位ハ、一文ノ

利潤モ取ラズニ、原價ノ儘デ陸軍、海軍ニ
納メルト云フヤウナ、國策協力ノ態度ガア
レバ賴母シイト思フノデアリマス、所ガ事
アル、ソレラ其儘肯定シテ参リマスレバ、跛
行景氣モ遠慮ナク來ルデアリマセウシ、國
内ニ相當ナ經濟的動搖ガアルト思ヒマス、
サウ云フ新シキ精神ヲ一ツ當局ハ大童ニ
ナツテ全企業界ブチマケルト云フヤウナ勇
猛心ヲ私ハ望ムノデアリマス、サウ云フ私
共ノ意見ニ對シマシテ、一ツ御高見ヲ御聽
キシタイ

リマス、又其他ノ政策ニ付キマシテモ、場合ニ依レバ租稅政策ヲ用ヒル場合モアリマセウ、總テ其點ニ付テハ國民ノ犠牲ガ不公平ニナラナイヤウニ、是ハ出來ルダケ注意致ス積リデアリマシテ、一部ノ產業ガ盛ニナレバソレニ多額ノ利益ガ出ルノハ當然デアルトシテ、之ヲ看過スルノデハアリマヌ、ソレカラ企業心ノ刺戟デアリマスルガ、是ハ商工大臣ガ御答ニナルノガ至當力ト思ヒマスルガ、私モ御話ノヤウニ此際單純ナ利益ニ依ル刺戟ニ非ズシテ、國家ノ需要其モノニ進ムト云フ勇猛心ガ欲シイノデアリマス、一部ノ事業家ニハサウ云フ考ノ下ニ仕事ヲシテ居ル人モアルト聞イテ居リマスルガ、尙ホ更ニ此點ニ付テハ注意ヲ、現ニ相當其意味デ色々民間ト政府ノ方面ニ於テ交渉シテ居ルモノモアルコトト存ズルノデアリマス

レルコトニナリマスト、手數等ニ於テ色々複雜ナモノニナルコトト思ヒマス、斯ウ云フ新法ヲ實施スル場合ニ、政府ハ大體今日マデノ吾々ノ體驗カラ考ヘテ見マスト、失敗ガ多イ、例ヲ舉ゲマスト、御承知ノ如ク政府ハ選舉法ヲ改正シテ、ソレヲ初メテノ選舉ニ適用シテ見タ、唯上ニ立ツ人ハ嚴正公平ニ選舉法ヲ適用セヨ、取締レト云フコトヲ命ジタ其結果ハ、或ハ水責、火責、萬年筆責、或ハ算盤責ト云フヤウナ、ア、云フ無辜ノ國民ヲ殺シテ見タリ、或ハ罪ナキ者ニ罪ヲ負ハシテ、其一家一門ノ不名譽ニナルト云フヤウナ結果ヲ來シ、人權蹂躪ノ問題ガ今尙ホ繰返サレテ居リマスノモ、新法ヲ作ルト云フト、官吏ノ方デハ其新法ヲ文理的ニ解釋致シ、窮屈ニ解釋致シテ適用スル爲ニア、云フコトガ起ル、ソレカラ横領罪ガ初メテ刑法上ニ設ケラレタ、サア判事ヤ檢事ガ横領ト云フコトニ付テハ何モ彼モ横領ダ、百圓紙幣ヲ預ッテ居ル、ソレヲ十圓紙幣ニ兩替シタ時ニハ、ソレハ處分權ヲ持ツテ居ナイ、自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタト云フノデ横領罪ヲ告訴シタト云フヤウナ譯ズ、アノ横領罪ノ新設サレタ當時ニハ罪人ガ刑務所ニ入り切ラナイ、「バラック」ヲ建テテ收容シタト云フ例モアリマ

ス、ソレカラ 京阪神地方ヲ 中心ト致シテ
愛知縣及ビ 奈良縣ニ會テ 疑獄ガ起シタ、
稅務署ノ事件デアリマス、是ガ非常ニ衝動
ヲ與ヘ、爾來地方稅務ニ關スル官吏ハ肅正
ハサレテ居ルヤウニ思ハレルノデアルガ、
其半面ニ於テ賄賂ハ取ラヌ、賄賂ヲ取ツテ
罰セラレタ者ガアルカラ、賄賂ヲ取ツテハイ
カヌガ、其代リ嚴重ニ査定シテヤレト云フ

ハ御察シヲ致シマス、是ガ圓滑ニ消化ヲ致シテ、而モ財界ニ影響ノナイヤウニセシメヌタイト云フ、希望ハ吾々持ッテ居リマスガ、此新法ヲ適用スルニ當ツテ複雜ナ關係ヲ生ズルニ付キマシテ、萬誤リナキヲ期スルニ於テ、何カ大藏大臣ハ議會ヲ通ジテ國民ヲ安心サセテヤル御言葉ハナイカ、是ガ一ツデアリマス

賣レルト云フノデ、工場ヲ擴張シテ、大キナ「ボイラ」ヲ備付ケ、原料ヲモ澤山買込ミ、職工モ多勢雇入レテ、サウシテサア是カラチウ一儲ケスルンダト云フ時ニ、ピタリトアノ歐洲戰爭ガ終了ヲ見マシタ、ソレデ其結果原料ヲ買ウテ居ルワ、資本ハ固定サセテシマツテ居ルワ、職工ハ雇ツテ居ルワ、物ハ抜ヘテモ賣レナイワト云フヤウナコトデ、ア

ノデ、國民ヲ全ク被告人扱ヒラシテ嚴重ニ
査定ヲスル、再審查ヲ申出タ所ガ、中々被
告人扱ヒラシテ再審査ニ應ジテ吳レヌ、ソ
レデ困ツテ居ル者ガ澤山アル、是ガ疑獄ノ反
動ナンデス、サウ云フ譯デ新シキ法律ヲ作ッ
テ官吏ガ之ヲ適用スル場合ニ、何トナク
其法律ヲ窮屈ニ解釋シテ、行過ギタル適用
ヲ見マスコトガ今日マデノ事例ニ乏シカラ
ヌノデアリマス、所デ此非常時ニ際シテ、
今吾々ノ審議致シテ居リマス是等ノ法案デ
アリマスガ、是ガ審議ヲ了シテ實施スルコ
トニナツタ場合ニ、此法律ヲ如何ニモ窮屈ニ
解釋致シテ、立法ノ精神ヲ没却シテ適用ス
ルコトガアツタ場合ニハ、國民ノ經濟ハ全ク
根柢カラ破壊サレテシマフコトニナル、政
府ガ發行シテ行カナクテハナラヌ公債ハ三
十四億圓バカリモアル、之ヲ消化サス上ニ
付テモ、大藏省トシテノ御責任ハ吾々ハ實

ソレカラ時間ノ節約上ニツ一緒ニ列ベテ
ヲ實施致シマスレバ、成程軍需工業ハ盛ニ
ナル、所デ軍需工業ハ盛ニナツテ行クケレ
ドモ、事變ト云フモノハサウ永ク續クモノ
デハナイ、間モ無ク是ハ何カノ形式若クハ
結果ニ依ツテ終了スル時ガアルノデアリマ
ス、歐洲戰爭當時ノ例ヲ見マシテモ、アノ
歐洲戰爭ニハ日本ハ幾ラカ閑散ナル戰ニ參
加ヲ致シテ居リマシタカラ、御承知ノ通り
日本ノ生産力ハ衰ヘナカツタ、外國ハ歐洲各
列強國ヲ初メ軍需品ノ製造ニ汲々ト致シ
テ、日常生活必需品ト云フモノノ製造ガ鈍ビ
ニ幾ラデモ賣レタ、當時ハ其爲ニ二十數億
圓ノ正貨ヲ短イ期間ニ日本ハ得テ、成金屬
ヲ吹カシタ、サウシテ物ハドレダケ造ツテモ

ノ歐洲戰爭當時ノ反動ガ來マシテ、神戶ノ
鈴木商店ヲ筆頭トシテ、多クノ破産者ガ出
來テ、折角殖エタ正貨モ間モ無ク海外ニ運
出シテシマヒ、多クノ失業者ヲ出シ、國民
ハ塗炭ニ苦シダト云フ事例ヲ嘗メテ來タ
我ガ日本ノ國デアリマス、今此法律ヲ實
施致シマシテ、軍需工業ヲ盛ニシテ行ク
コトハ、此非常時ニ際シテハ已ムヲ得ザル
コトデアルシ、又當然ナコトデモアリマセ
ウガ、之ヲヤッテ行ッテ、其結果戰後如何ニ
シテ傷者ヲ出サナイヤウニスルカト云フ
トヲ、今カラ大藏省ハ考ヘテ、此法律ノ實
施ヲシテ行カナケレバナラヌ、大藏大臣ハ
此戰後ニ支障ナキヲ保スルコトニ付テ、五
吾ニ對シテ何等カノ御言葉ハナイグラウデ
ト考ヘマス、マダ十四五點アリマスノデス
ガ、政友會ノ方モ質問ヲ撤回サレタヤウデ
アリマスカラ、此二點ニ付テ簡單ニ御尋致

シマシテ、是デ私ノ質問ハ終リト致シマス

○賀屋國務大臣 前段ノ御尋ハ、此新シキ

法律ヲ適用致シマスル際ニ、徒ニ法文ノ形

式的解釋ニ因ハレマシテ、法ノ精神、眞ノ目
的ニ合致セザルヤウナ運用ヲ致シテ、無用

ニ國民ヲ苦メルトカ、摩擦ヲ起スト云フコ
トノ例ガ從來アルガ、此ノ法律ニ付テモ其

點ハドウ云フ風ニ考ヘ、實行シテ行クカト
云フ御話デアリマスガ、極メテ適切ナル御注

意デアリマス、其點ガ最モ大事ナ所デゴザ
イマス、幸ニ今回ハ之ヲ適用致シマスル爲

ニ實際ニ動キマスルモノハ日本銀行デアリ
マスルガ、其行員ハ所謂役所トハ相當頭ノ
持チ方モ違ツテ居ルト思ヒマスシ、又其局

ニ當リマスカラ、十分ニ此法律ノ精神目的
譯デアリマスカラ、十分ニ此法律ノ精神目的
ヲ徹底スルヤウニ致シマシテ、徒ニ形式ニ
囚ハレテ、眞ノ目的ニ何等關係ノナイ、或
ハ極メテ關係薄キ事柄ニ依ツテ手數ノ煩雜
ヲ増シマストカ、民間側ヲ苦シメマストカ
云フヤウナコトガナイヤウニ、十分ニ徹底
サセテ運用シテ參ル積リデアリマス、是ハ
選舉法等ノ如ク非常ナ多數ノ官吏等ニ關係
ガナク行キマスノデ、其事モ他ノ法律ニ比
シマシテ行ハレ易イヤウニ考ヘテ居リマス

第二段ノ御尋デアリマスガ此事變ガ濟ミ
トハ、是ハ仰セノ如ク極メテ大切ナコト

ニアリマス、是ガ出來レバ出來マスル程
度アリマス、併シ物ニ依リマシテハ、戰後ド
ウ轉換スルカト云フコトニ付キマシテ

ノミ考ヘテ參リマスルト、戰後ノ經濟狀
況ノ豫測ト云フコトモ完全ニ行ハレル
モノデモアリマセヌシ、又軍事ノ急ヲ要

シマスル場合ニ、此生產設備ガ如何ニ今後
モ十分ニ研究ラシテ豫メ備ヘタイト考ヘテ

參リマス、爲替相場モ持タセテ參ル、物價
ノ「コントロール」モ比較的旨ク參ル、總テ

ノモノガ破壊的ニ進行致シマシタノハ皆戰
後ノコトデアリマス、ソレガ一番大事ト思
ヒマシテ、此事變中ニ對スル措置ヲ行ヒ

マスルト同時ニ、其後ノ措置ニ付キマシテ
モ十分ニ研究ラシテ豫メ備ヘタイト考ヘテ

ナインデアリマス、唯事變ノ終局マデヲ一
會計年度トシテト云フコトニ付テ私ハ質

問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、是ハ
テ、何時ヲ始メトシテ何時ヲ終リトスル
カ、區切ヲ付ケルコトガ非常ニ困難ナ事變

デアルト存ズルノデアリマス、假ニ戰爭行
爲ガ終局ヲ致シマシテ、其後デ種々ナル派
生的ナ問題ガ起ルト思フノデアリマス、既

ニ歐洲大戰ノ當時ニ於テ、大正四年ニ權力
ニ御見合セラト願フコトニナル譯デアリマス
カ

提出サレタノハ大正十四年ト記憶致シテ居
リマス、此爲ニ特別會計ノ決算ガ十年間モ
付カナイ、而モ其間ニハ此特別會計ニ關ス
ル資金ヲ或ル政治的ナ資金ニ流用シタノデハ
ナイカト云フヤウナ疑惑ヲ起シマシテ、種

種ナル問題ヲ起シ、殊ニ第五十一議會、大
正十五年ノ三月ノ議會ニ於キマシテハ朝野

ノ非常ナ大問題トナッタコトハ、大藏大臣モ
御記憶ノコトト存ズルノデアリマス、私ハ
斯ウ云フ先例ノアルコトニ顧ミテ、殊ニ今

回ノ事變ガ、歐洲大戰ニ續イテ起ツタ「シベリ
ヤ」出兵ノ當時ニ於ケル苦イ經驗ヲ顧ミテ、
事變ノ終局ヲ付ケルコトハ極メテ困難デア
ラウト考ヘルノデ、少クトモ此特別會計ニ於

テハ、普通會計ノ如ク一會計年度毎ニ歲入

歳出ヲ明ニセラレタナラバ宜カラウト思フ
ノデアリマス、一會計年度毎ニ歳入歳出ヲ
明ニセラレル所ノ御意思ガアルカナイカ、
ソレヲナサレルニ付テハ非常ナ困難ガ伴フ
ノデアルカ、或ハ軍機ノ祕密等ニ關シテ不
可能ナモノデアルカ、大藏大臣ノ御所見ヲ
承リタイト存ズルノデアリマス

○賀屋國務大臣 會計年度ヲ一般ノ會計ト
同ジク一年毎ニ決算ヲ致シタイト云フコト
ハ、經理會計ノ上カラ申シマシテ吾々ノ切
ニ希望致シテ居ル所デアリマス、併ナガラ
御承知ノ如ク戰爭ニ際シマシテ、只今ノ會計
ノ要求致シマスルヤウナ決算ヲ致シマス
ルモノデアリマス、其會計經理ノ爲ニ本來
ノ目的タル軍事行動ヲ相當ニ阻碍スルト云
フコトハ、是ハ是非避ケネバナラヌコトデ
アリマスルノデ、從來モ戰役及ビ之ニ準ジ
マスル場合ニハ會計年度ノ區分ヲ致サズ、時
局ノ終了マデ之ヲ一會計年度トシテ整理ス
ルコトノ御協贊ヲ經テ居ル譯デアリマス、
場合ニ依リマシタナラバ經費ノ使用ノ仕方
ヲ、決算デヤハリ内譯ヲ明示致シマスガ、
斯様ナコトモ時ニアッテハ軍時行動ノ上ニ面
白カラヌ場合モアルカモ知レマセヌ、是ヘヤ
ハリ事變デアリマスルカラスウ云フコトニ

御願ヲ致シマシテ、尙ホ之ヲ實際ノ程度以上
ニ不必要ニ延バスト云フコトハ、政府トシ
テ嚴ニ慎ミタイト思ヒマス、今御示シノア
リマシタ世界戰爭ノ際ノ大正三年ノ臨時軍事
費特別會計ノ如キモノモ、其終局ヲ早クシ
ナケレバナラヌノガ相當延ビテ居リマシタ
爲ニ、色々議論モ當時アリマシタシ、此點ハ
嚴ニ慎シテ行キタイト思ヒマス、尙ホ序デデ
アリマスカラ、是ハ或ハ御説明申上ゲテアル
カモ知レマセヌガ、他ノ法律ハ「事變ノ終
了後一年」トナッテ居リマス、是ハ「事件ノ
終局迄」ト書イテアル、是カ違ツテ居ル所
デアリマス、事件ノ大體收支ガ濟ミマシテ、
迄ト云フ意味デアリマシテ、事變ノ終了後
一年ト申シマスル他ノ法律トハ此點ハ違ヒ
ル次第デアリマス

○河野委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ヲ諒
ト致シマシテ、其點ハソレ以上申上ゲマセ
ヌ、唯十分ニ舊來ノ例ニ倣ハナイヤウニ御
注意ガ願ヒタイト存ジマス

次ニ赤字公債ノコトニ付テ、極ク簡單ニ御
尋申上ゲタイト思ヒマス、公債消化ノコトハ
度ハ日本銀行ノ引受デ二十億デモ三十億デ
モ構ヘヌ、斯ウ云フヤウニ考ヘラル、ナラ
圓、ソレカラ七十一特別議會ニ於テ四億一
千万圓、今度ノ事變ノ公債ヲ發行シマスル
テ三十四億ノ赤字公債ガ發行セラル、ノデ
アリマス、既ニ軍事費ガ十四億ヲ數ヘタ時
ニモ、一體此赤字公債ノ消化ニ付テ何等懸
念ガナインデアルカドウカ、斯ウ云フヤウ
ナ疑ガアツタノデアリマス、ソコデ政府ハ
色々此公債ノ消化ニハ苦心ヲサレテ、或ハ
或ハ朝鮮銀行、臺灣銀行ノ保證準備ニハ公
金資金特別會計ヲシテ之ヲ持タセルトカ、
或シテ來タノデアリマス、所ガ最近ニナリ
マスルト、先程來色々ナ人カラ意見ガ出テ
參リマシタヤウニ、金融梗塞ノ聲ニ從ツテ、
政府ハ今度ハ公債ヲ日本銀行ヲシテ買ハセ
ルト云フヤウナ手段ニ出テ、今度出ル二十
億ノ公債モ是ハ日本銀行ノ引受ニスル、斯
ウ云フヤウニ聲明ヲシテ居ラレルノデアリ
マス、私達ハドウシテ大藏當局ガ斯ウ始終
方針ヲ變ヘラル、ノデアルカト云フコトニ
付テ、甚ダ賴リナク思フノデアリマス、赤
字公債赤字公債ト云フコトヲ非常ニ重ク考
ヘテ、公債ノ消化ニハ有ユル手段ヲ盡スノ
デアル、斯ウ言ツテ居ラレタノガ、遠ニ今
言ツテモ私ハ國際收支ノ問題ガ極メテ重大
ナル關係ヲ持ツト思フノデアリマスルガ、
斯ウ云フ點ヲ惧レラレタレバコソ、大藏大臣

バ、是ハ一體大藏大臣ガロヲ極メテ惧レラ
レテ居ル所ノ國際收支ノ適合ト云フコト
ハ、一體ドウナルノデアリマスカ、此赤字
公債ヲ日本銀行ノ引受デ發行スルナラバ、
當然ニ通貨ノ膨脹ガ起ルノデアツテ、此通
貨ノ膨脹ノ結果ハ物價騰貴ガ起ル、而モ此
軍事費ガ新ニ二十億追加サレタノデアリマ
スルガ、聞ク所ニ依リマスルト、既定ノ軍
事計畫ト云フモノハ、其儘是ハ豫定ノ如ク
進メテ行クノデアツテ、事變ハ事變トシテ
ヤル、既定ノ軍事費ノ上ニ新ナル事變ニ依
ル軍事費ト云フモノガソレダケ加ハツテ行
クノデアル、斯ウ云フ御話デアルノデアリ
マス、サウシマスルト、十四億ノ軍事豫算
ヲ數ヘタ時ニ於テモ、國內ニ果シテ是ダケ
ノ軍事豫算ヲ消化スルダケノ生産力ガアル
ノデアラウカ、遠ニ狼狽ヲシテ居ラレタ政
府當局ガ、既定ノ軍事計畫ハ其儘進メル、
事變ニ依ル所ノ軍事費トシテ公債ヲ二十億
出シテ行ク、斯ウ云フコトニナリマスル
ト、其大部分ハ是ハ輸入ニ仰ガナケレバナ
ラヌノデハナイカ、サウスルト此點カラ
言ツテモ私ハ國際收支ノ問題ガ極メテ重大
ナル關係ヲ持ツト思フノデアリマスルガ、
斯ウ云フ點ヲ惧レラレタレバコソ、大藏大臣
ハ公債消化ノ點ニ大童トナリ、或ハ生産力擴

充ノ點ニ大童トナツテ居ラレタノダト思フノデアリマス、然ルニ卒然トシテ、今度ハ日本銀行ノ引受デ二十億モ三十億モ、日本ノ今日ノ財力、經濟力ヲ以テスルナラバ何等憂其言フ所ハ洵ニ結構デアリマスルガ、併シ前ニ言ハレタコトト、ツイ先日ノ第七十一議會ニ言ハレタコトハ、私ハ餘リニ大キカト思フノデアリマス、私ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、大藏大臣ノ苦心ノアル所ハ十分ニ能ク分ルノデアリマスルガ、其點ニ付テノ大藏大臣ノ卒直ナル御意見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス

○賀屋國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、其點ハ私モ是非御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、詰リ經濟政策ニ付キマシテモ、其段階ニ於テ色々アルト思ヒマス、昭和七年以後ノ赤字公債ヲ出シマス經濟狀況ニ於キマシテモ、アノ當時爲替管理法ガアリマセヌ場合ニハ、相當觀察ガ變ツテ居タ、爲替管理法モナイ、全ク舊來ノ儘ノ經濟ニ於キマシテ、通貨ノ増發ト云フモノガ一番恐ルベキ結果ヲ生ジマスルモノハ、國民ノ各方面各層ニ消費ノ增加ヲ起シマス、其結果ハ生產資財ト言ハズ、消費資材ト言ハズ、其輸入ヲ招來スルモノデアリマス、ソレガア併シ平時ニ於キマシテハ、サウ云フ狀態ヲ起シマセヌヤウニ、經濟全體ノ體制ヲ或ル議會ニ言ハレタコトハ、私ハ餘リニ大キカト思フノデアリマス、私ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、大藏大臣ノ苦心ノアル所ハ十分ニ能ク分ルノデアリマスルガ、其點ニ付テノ大藏大臣ノ卒直ナル御意見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス

○賀屋國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、付テ行ハル、ヤウニナリマシタ、併ナガラ是ハ輸出入ニ對シテ完全ナル「コントロール」ヲ致スモノデハアリマセヌ、ソレハ私ガ當局者デ甚ダ申シニクイノデアリマスルガ、爲替管理法ト云フモノノ運用ノ目標ガ明瞭デナイ點ガアリマス、隨テ許可認可ノ標準ガ、正直ニ申上ゲマシテ今マデ相當不正確デアツタ、何故ニ之ヲ是ダケニ限ルカ、之ヲ延バスカト云フコトガ相當不正確デアリマス、是ハ當時爲替管理ガ輸入貿易デアリマス、是ハ當時爲替管理ガ輸入貿易ニ關シマシテ適用サレマスル時ニ、急速ニ出マシタコトデ、甚ダ其點ガ不備デアリマス

ハズ、其輸入ヲ招來スルモノデアリマス、ソレガア併シ平時ニ於キマシテハ、サウ云フ狀態ヲ起シマセヌヤウニ、經濟全體ノ體制ヲ或ル議會ニ言ハレタコトハ、私ハ餘リニ大キカト思フノデアリマス、私ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、大藏大臣ノ苦心ノアル所ハ十分ニ能ク分ルノデアリマスルガ、其點ニ付テノ大藏大臣ノ卒直ナル御意見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス

○賀屋國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、付テ行ハル、ヤウニナリマシタ、併ナガラ是ハ輸出入ニ對シテ完全ナル「コントロール」ヲ致スモノデハアリマス、詰リ經濟政策ニ付キマシテモ、其段階ニ於テ色々アルト思ヒマス、昭和七年以後ノ赤字公債ヲ出シマス經濟狀況ニ於キマシテモ、アノ當時爲替管理法ガアリマセヌ場合ニハ、相當觀察ガ變ツテ居タ、爲替管理法モナイ、全ク舊來ノ儘ノ經濟ニ於キマシテ、通貨ノ増發ト云フモノガ一番恐ルベキ結果ヲ生ジマスルモノハ、國民ノ各方面各層ニ消費ノ增加ヲ起シマス、其結果ハ生產資財ト言ハズ、消費資材ト言ハズ、其輸入ヲ招來スルモノデアリマス、ソレガア併シ平時ニ於キマシテハ、サウ云フ狀態ヲ起シマセヌヤウニ、經濟全體ノ體制ヲ或ル議會ニ言ハレタコトハ、私ハ餘リニ大キカト思フノデアリマス、私ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、大藏大臣ノ苦心ノアル所ハ十分ニ能ク分ルノデアリマスルガ、其點ニ付テノ大藏大臣ノ卒直ナル御意見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス

○賀屋國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、付テ行ハル、ヤウニナリマシタ、併ナガラ是ハ輸出入ニ對シテ完全ナル「コントロール」ヲ致スモノデハアリマセヌ、ソレハ私ガ當局者デ甚ダ申シニクイノデアリマスルガ、爲替管理法ト云フモノノ運用ノ目標ガ明瞭デナイ點ガアリマス、隨テ許可認可ノ標準ガ、正直ニ申上ゲマシテ今マデ相當不正確デアツタ、何故ニ之ヲ是ダケニ限ルカ、之ヲ延バスカト云フコトガ相當不正確デアリマス、是ハ當時爲替管理ガ輸入貿易デアリマス、是ハ當時爲替管理ガ輸入貿易ニ關シマシテ適用サレマスル時ニ、急速ニ出マシタコトデ、甚ダ其點ガ不備デアリマス

ノ如キモノモ必ズ下リマス、サウシテ然ル後ニ數箇月トカ何トカ時日ヲ置キマスト、戰費ノ散布ガアリマス、日本ノコトデアリマスカラ戰ハ必ズ連戰連勝デアリマス、又株價ガ大ニ上リ、經濟界ハ「ブーム」ト申シテハ大キウゴザイマスカ知レマセヌガ、サウ云フコトニナッテ來ル、是ハ決ッタ體系ナノデス、サウ云フ大事件ノ初メニ當リマス現在、ソレヲ國債消化ニ急ナル餘リ引締メル方ニ向ヒマスト、是ハ一時大變ナ行キ方ノ錯誤ヲ致シマス、増稅デモサウデス、サウ云フ時ニ增稅ヲスルノガ假ニ宜イトシマシテモ、增稅來ルト云フコトニナルト、心理上ニ必ズ大變惡イ影響ヲ與ヘル、是ハ良イモ惡イモ其モノノ心理ノ動キデアリマスカラ、サウ見ルヨリ外仕方ガナイ、ソレデアリマスカラ、只今ハ「インフレーション」政策、金資金カラモ金ヲ出シマス、日銀ノ公債引受デ以テ市場カラ通貨ヲ吸收スル前ニドンヽ出ス、サウ云フ方針ヲ執ツテ居リマス、ソレデ、本年ハマダ三億バカリシカ出シテ居リマセヌカラ、此二十億ニ、前カラ残シテ居リマスモノヲ入レマシテ三十億アル譯デス、全部日銀引受デアルトモ申シマセヌ、非常ニ經濟界ガ好クテ、資金ガ潤澤ニナッテ、後ニハ公募スルカモ知レマセ

ス、金融界ガ安定ヲ致シマンテ紳然タル資金ノ供給ガアルマデハ、當分今ノヤウナ日銀引受ノ方法デ通貨ヲ散布スル方向ニ向フ、是ガ今トシテハ極メテ必要デアルト思ヒマスガ、ソレト同時ニ、剩ツテ參リマス頃カラハ御話ノ如ク公債消化ノ方ニ非常ニヒマスガ、トテモ私ハヤレナインデヤナイカ、クラ、トテモ私ハヤレナインデヤナイカ、最近幸ニシテ經濟使節ヲ出スルカ云フヤウ氣ヲ付ケテ行ク、併ナガラ大體斯ウ云フヤウナ法案ニ依リマシテ日本ノ經濟界ニ或ル桓根ヲ造リマス、其範圍デアリマス、是ハ循環的ニ變ツテ行ク、斯ウ云フコトデアリマス、結果國際收支ノ維持——爲替相場ヲ維持シテキチントシテ行キマスナラバ、ソレハ十分ニ自信ガアツテ循環スルト思ヒマス、敵トシテモ戰フノデアルト云フヤウナコトヲ言フ人ガアツテモ、一國ノ財政經濟ノ上ニ於テ左様ナコトハ夢ノ如キモノデアルト云フコトヲ御考ニナッタナラバ、斷々乎トシテ日本ノ經濟ニ對シテ外國ノ少クトモノデアリマスガ、サウ云フ政策ヲ御執リニナリマスルト、問題ハ國際的ナ問題ニ關係シテ來ルト思フノデアリマスガ、爲替管理法ヲ強化スル、或ハ金ヲ現送スルト云フヤウナコトダケデ今日ノ爲替相場ヲ維持スルコトハ、是ハ國務大臣トシテ當然ノコトデガラモサウ云フ手段ヲ得ラントシテ居ルハナカラウカト思フノデアリマス、遲イナウト思フノデアリマス、所ガ大藏大臣ガ今后ノ議會ニ提出セラレマシタノハ、資金及ビ貿易ニ關スル統制ト、ソレカラ船舶ニ關スル統制ト此二ツ、是ダケシカ御提案ニナッテ居ラナイノデアリマス、若シモット資金ヲ統制サレテ——先程伺フ所ニ依リマスルト、日常必要ナル必需品マデ統制ヲ加ヘヨウトスルナラバ、更ニ消費ノ統制デアルトカ、或ハ生産統制デアルトカ云フヤウナコトヲ

○河野委員 大藏大臣ノ御趣旨ノ點ハ洵ニ能ク分リマシタ、ソコマデ進ンデ御尋スルノデアリマスガ、サウ云フ政策ヲ御執リニナリマスルト、問題ハ國際的ナ問題ニ關係シテ來ルト思フノデアリマスガ、爲替管理法ヲ強化スル、或ハ金ヲ現送スルト云フヤウナコトダケデ今日ノ爲替相場ヲ維持スルコトハ、是ハ國務大臣トシテ當然ノコトデガラモサウ云フ手段ヲ得ラントシテ居ルハナカラウカト思フノデアリマス、遲イナウト思フノデアリマス、所ガ大藏大臣ガ今后ノ議會ニ提出セラレマシタノハ、資金及ビ貿易ニ關スル統制ト、ソレカラ船舶ニ關スル統制ト此二ツ、是ダケシカ御提案ニナッテ居ラナイノデアリマス、若シモット資金ヲ統制サレテ——先程伺フ所ニ依リマスルト、日常必要ナル必需品マデ統制ヲ加ヘヨウトスルナラバ、更ニ消費ノ統制デアルトカ、或ハ生産統制デアルトカ云フヤウナコトヲ

○賀屋國務大臣 是ハ先刻私速記ヲ止メテ伺ヒタイト思ヒマス

戴キマシテ申上ゲマシタコトデ大體御諒承

積極的ニナサラナケレバナラヌ筈ダト思フ
ノデアリマスルガ、其點ニ對スル御考ハ極
メテ中途半端デヘナイカト云フ點ヲ一つ御
尋致シマス、ソレカラ先程來非常ナ議論ノ的
トナツテ居リマスル臨時資金調整法案ニ付
キマシテ、此臨時資金調整法案ヲ御出シニ
ナツタ趣旨ヘ、所謂物資ノ自給力、或ハ生産
力ノ擴充ト云フ見地カラ御出シニナツタト
云フコトヲ御説明ニナツテ居ルノデアリマス
ルガ、斯ウ云フモノヲ出サナケレバナラナイ
ト云フノハ、是ハ戰時體制ノ立前カラ當然
デアル、斯ウ云フ見地カラ私ハ統制ヲ強化
シナケレバナラナイト云フ考へ方デ御出シ
ニナツタト思フノデアリマス、然ルニ此法文ニ
依リマスルト、第二條ニ於テハソレヲ述ベナ
ガラ、第三條ニ於テハ殆ド總テヲ自主的ノ
統制ニ御委セニナル、更ニ此委員會ニ於ケ
ル説明ニ依リマスルト、大藏大臣ノ説明ハ
甚ダ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、段々後
退ヲサレテ、一般ノ所謂今マデノヤリ方ト大
シタ違ヒノナイ所マデ、私ハ統制ヲ後退サ
レテ來タト思フノデアリマス、斯ウスルト、
吾々ハ一體斯ウ云フ臨時資金調整法案ト云
フモノヲ出サレタ趣旨ガ何處ニアルカト云
フコトニ、非常ナ疑ヲ持ツノデアリマス、若
シ大藏大臣ノ言ハル、ガ如ク、自主的統制

=依ッテ此目的ヲ達成スルコトガ出來ルト
調整法ヲ出スコトガ必要デアルカ、自主的
統制ガ不可能デアルト云フコトデアルカラ
コソ、私ハ臨時資金調整法ト云フヤウナ、
統制ヲ強化シタモノヲ出スコトガ必要デア
ルト思フノデアリマス、統制ヲ強化スルモ
ノヲ出ス以上ハ、少クトモ其處ニ今マデノ
經濟ノヤリ方トハ違フノダト云フ、キッパ
リトシタ區別ヲ付ケナケレバ、私ハ財界ニ
却テ不要ノ混亂ヲ招クノデハナカラウカト
思フノデアリマス、大藏省カラ御配リニナ
リマシタ此會社ノ新設増資ノ調ヲ見マシテ
モ、大體資金ガドノ方面ニ自然ニ向イテ居
ルカト云フコトハ、極メテ明白デアリマス、
其組織ハ大體斯ウ云フ觀念カラ出テ居リマ
ス、戰用資材、大體生產資材ト範圍ヲ同じ
ク致シマスルガ、其供給ヲ豐富ニスルト云
フ一貫シタ觀念カラ、詰リ其豐富ニシマス
ル爲ニハドウカト言ヒマスト、先づ輸入ヲ
增加シナケレバナラナイガ、其輸入ヲ増加
スル爲ニハ、主トシテ他ノ物ノ輸入ヲ抑ヘ
テ、其方ニ輸入ノ資金ガ餘計向クヤウニシ
ナケレバナラナイ、是ガ他ノ物ノ輸入ヲ抑
ヘル商工省ノ方ノ法律案デ權能ヲ得マシタ
主ナル原因デアリマス、同時ニ左様ナ資材
體ノ頭ノ置キ所ヲ違ヘナケレバナラヌノダ
ガ尙ホ輸出サレテ居リマスカラ、此輸出ヲ

ト云フ考へ方ヲ、私ハモット強調サレル必要
ガアルト思フノデアリマス、此點大藏大臣
ハ、財界ニ於ケル混亂ヲ避ケルト云フコト
ニ、餘リニ翼々トセラレル結果トシテ、却テ私
ハ後デ一般ニ非常ナ不平ノ種子ヲ蒔クコト
ニナルデハナカラウカト惧レルノデアリマ
シテ、大藏大臣ノ所見ヲ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○賀屋國務大臣 御話ノ如キノ案デアリマ
シテ、此、商工省カラ出シマシタ輸入輸出
ノ調整ニ關スル法律案、ソレニ續キマシテ
輸入品ヲ原料、材料トシ、或ハ輸入品自體
ノ國內ニ於ケル消費加工、其他ノ法律案ト
關聯シマシテ、一貫シタ組織ヲ持ツテ居ル、
其組織ハ大體斯ウ云フ觀念カラ出テ居リマ
ス、戰用資材、大體生產資材ト範圍ヲ同じ
ク致シマスルガ、其供給ヲ豐富ニスルト云
フ一貫シタ觀念カラ、詰リ其豐富ニシマス
ル爲ニハドウカト言ヒマスト、先づ輸入ヲ
增加シナケレバナラナイガ、其輸入ヲ増加
スル爲ニハ、主トシテ他ノ物ノ輸入ヲ抑ヘ
テ、其方ニ輸入ノ資金ガ餘計向クヤウニシ
ナケレバナラナイ、是ガ他ノ物ノ輸入ヲ抑
ヘル商工省ノ方ノ法律案デ權能ヲ得マシタ
主ナル原因デアリマス、同時ニ左様ナ資材
體ノ頭ノ置キ所ヲ違ヘナケレバナラヌノダ
ガ尙ホ輸出サレテ居リマスカラ、此輸出ヲ

止メル爲ニ輸出ヲ抑ヘル權能モ其處ニ受ケ
マンタ、サウシテ國內生產、是ハ廣イ意味
デアリマシテ、原料モ何モ皆含ミマス、ソ
レト海外輸入トニ依ッテ、戰用資材ノ供給
ノ總量ノ增加ヲ圖リマスコトガ第一、次ニ
ソレガ戰爭目的ノ爲ニ直接效果ガ少イ方面
ニ行キマスコトヲ防ギマスノガ第二、ソレ
ガ此事業資金調整、即チ資金ノ形ニ依ッテ
事業ヲ調整スル、或ル意味ノ生產統制デア
リマス、ソレニ依ッテ物資ヲサウ云フ方向
ニヤル、斯ウ云フ脈絡ニナツテ居ル、一方
ノ脈絡ハソレデ平生ナラバ國民生活ノ必需
品ト思ハレルモノデアッテモ、戰爭目的ニ
我慢シ得ルモノナラバ、輸入ヲ制限シ、制
限シタ結果ハ、國內ニサウ云フ物資ノ缺乏
ヲ來シマス、ソレガ若シ輸出產業ノ原料デ
アルナラバ大問題デアリマスカラ、此輸出
産業ノ原料ニ向フ方ハ減サナイデ、國內消
費其モノヲ減サナケレバナラナイ、ソレ故
ニ其輸入品ニ付テノ調整ヲ爲シ得ル權能
モ、商工省カラ要求シマシタ法律案ニ掲ゲ
テアリマス、同時ニ其物品ガ或ハ羊毛棉花
デアリマストカ、綿織物ニナリマス場合ナ
ドヲ考ヘマスト、是等ノ消費ノ調整ハ法令
等ノ力ノ無論能ク及ブ所デアリマセヌノ

デ、國民運動ニ依リマシテ、其趣旨ヲ徹底致シタイ、極ク概略ヲ申上ゲレバ、戰用資材ノ供給ヲ豐富ニシマス方面カラ、サウ云フヤウニ色々ニ枝ヲ咲イテ居リマス、此法律案ト商工省ノ輸入抑止ニ關シマス法律案ハ、一定ノ中心ノ觀念カラ、方法論デ較レテ居リマス、船舶ニ付キマシテハ、是ハ凡ソ獨立的ニ考ヘラレマス、只今ノ船舶ノ不足ニ關スルモノデアリマスガ、此船舶ノ航運ノ配置積荷ノ先後等ニ關シマシテハ、サウデアリマスガ、造船ニ關シマス船舶管理法ノ規定等、是等ハ同ジク、其資材ヲ有效ニ使ッテ、例ヘバ今造ル遊覽船ヲ抑ヘテ、貨物船ヲ造ルト云フ觀念ハ、同じ精神カラ出テ居リマシテ、前後脈絡ヲ皆持ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ自主的調整ノ御話デアリマスガ、是ハ自主的調整ト云フコトヲ何モ言ヒマセヌデ、全部業者ニ委セルノデハアリマセヌ、適當ト認メマシタ方法ニ於テヤル、先程モ色々此處デ御質問モアリマシタ、戰時ニ於テ必要ナル態ト、之ヲ當分ハ我慢シ得ル業態トニ分ケマシテ、其必要ナル業態ニ金ヲ貸ス、社債ヲサウ云フ會社ガ引受ケルト云フコトヲ政府ニ判ラ捺シテ貰ハヌデモ、自分でソレニ則ツテヤルト云フノデアリマスカラ、自分で實行シテ吳レレバソレデ立派ニ目的ハ達シマ

ス、ソレカラ金融機關ハ全部其意思デ大體
動イテ居ルヤウデアリマスガ、併シ法律ヲ
出シマセヌデ、ソレニ直グ行クト云フコト
デハ、ヤハリ權威ガアリマセヌト同時ニ、
會社ノ新設増資等ニ付テモ、斯ル自主的ノ
調整ヲ致スヤウナ團體モ何モナイノデアリ
マス、之ニ關シテハ日本銀行ヲシテ、其事
務ニ當ラセマスガ、ヤハリ是ハ一種ノ直接
ノ許可不許可ニナリマス、ソレデアリマス
カラ、斯ウ云フ法律ハ必ズ要ルノデアリマ
ス、要リマスガ、ソレヲ成ベク一々政府ヘ
持ッテ來テ、政府ノ判ヲ捺シテ役人ガ返ス
ト云フコトデナク、此趣旨ガ實行サレバ、
目的ヲ達シテ、而モ圓滑ニ行ク所以デアリ
マスカラ、出來ルダケソレニ依リタイト云
フ、少シ私ノ言葉ハ過ギルカモ知レマセヌ
ガ、私ハ後退モ前進モ致シテ居リマセヌ、
初カラ一貫シタ考デ居リマス

○河野委員 只今ノ點ハ、モウ是レ以上申上ガルコトハ止メマシテ、技術的ナ點ダケニツ承リタイト思ヒマス

一ツハ資金調整法ニ依リマシテ、段々日本銀行ガ勸業銀行ト興業銀行ヲ觸手トシテ、謂ハゞ零細ナル金ヲ吸收シテ之ヲ必要ナル所ニ持ツテ行キ、ガラット一廻リスルト、段々資金ガ偏在シテ行クト云フヤウナレカラ急ヲ要スル事業ト云フ區別ガアッタノデアリマスガ、此具體的ナ問題デ、東北振興ニ付テ東北興業ノ株ト、東北電力ノ株トヲ東北ノ各信用組合、ソレカラ縣信聯ガ之ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其拂込ガ迫ツテ居ルノデアリマスガ、此資金調整ノ點ニ付テ何處カラモ金ノ融通ガ出來ナイト云フノデ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、此又サウ云フモノノ拂込ナドニ付テハ特別ナドウ云フ風ニ御取扱ニナルノデアルカ、御考慮ガアルノデアルカ、其技術的ノ點ヲ一ツ御尋ンタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツハ、支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案ニ付テ、此規定ノ第五條ノ第二項ニ「前項ノ規定ハ地方稅ニシ

テ支那事變ノ爲從軍シタルニ因リ輕減又ハ
免除セラルモノニ付之ヲ準用ス」斯ウ云
フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、地方
稅ヲ輕減又ハ免除スルト云フコトガ大體前
提ニナツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマ
スガ、此地方稅ノ輕減竝ニ免除ニ付テハド
ウ云フ方法ヲ執ラレルノデアルカ、是ハ事
務當局カラデ結構デアリマスカラ、案ノ程
ヲ承リタイト存ジマス、ソレカラ是ハ大藏
省ノ所管カドウカ存ジマセヌガ、水利組合
トカ、或ハ農會ノ費用トカ、或ハ土工組合
トカ云フヤウナモノノ公課ノ點ニ付テハド
ウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、是モ亦租
稅或ハ地方稅ニ準ジテ御考ニナツテ居ルノ
デアルカ、此一點ダケ御尋シテ私ノ質問ヲ
終リタイト思ヒマス

會社ノ事業ニ付キマシテモ、時局柄必要ナル事業ヲ起スト云フ方面ガ相當ニアルノデ

サウ云フ方面ニ力ヲ注イデ行キタイト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、大體其方法ガ正當デアラウト考ヘテ居リマス、尙ホ租稅ノコトニ付キマシテハ、政府委員ヨリ御答申上ゲマス

○大矢政府委員 地方稅ニ關シマシテ詳細

ノ點ヲ私カラ御述ベスルノハ、或ハ適當デナイカモ知レマセヌ、内務當局ノ方カラガ宜カラウカト思ヒマスケレドモ、私ノ知ッテ居ル範圍内デ申上ゲマス、若シモ間違ッテ居ツタヤウナ場合ニハ後刻訂正致シマス、地方稅ニ關シマシテハ、當該地方團體ノ決議ニ依ッテ決議セラレテ、或ル範圍ノ減免ガ出來ルコトニナシテ居ル筈デアリマシテ、今回ノ事變ニ當リマシテモ、出征軍人ノ家庭ガ困窮ニ陥ツテ居ルト云フヤウナ際ニ、戸數割、地方ノ營業稅ト云フヤウナモノヲ減免シタ例ガ各地ニアルヤウデアリマス、尙ホ特別地稅ノコトニ付キマンシテモ、現ニ東京府デ減免シテ居ルヤウニ聞イテ居リマス

○中原委員 今ノコトニ關聯シテ居リマス

ガ、當然是ハ附加稅ガ取レナイコトニナリマス、地方稅ヲ止ヌルコトニナリマスト、可ナリ地方稅ノ缺陷ガ出來ルト思ヒマス、

學校ノ生徒ナドモ、中等學校ヲ大分止メテ

費ガ相當掛ル所ヘ尙ホ相當ノ負擔ト思ヒマスガ、サウ云フモノノ地方ノ缺陷ハ、國ノ

ヤウニ國債ヲ直グ發行スル譯ニハ行カナイノデ、可ナリ各縣トモ借金ヲ持ツテ居リマス、ソレハ相當政府ニ於テ見テヤルダケノ

御用意ガアルノデアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 此金額ニ付テハ色々ナ關係デハッキリ申上ゲラレマセヌガ、政府ニ於

キマシテハ、特ニ此爲ニ補慎ヲ致サナケレバナラ又程度トハ考ヘテ居リマセヌ、地方

財政ノ件ニ付キマテハ、此案ハ内務省ト

モ合議デ致シマシタガ、内務省モ其程度ノ

状態ト考ヘテ居ナイノデアラウト思ヒ

ス、特ニ補填ノ協議ニハ未ダ與ツテ居リマヌガ、事實問題トシテサウ云フコトガア

リマシタ場合ニハ、善處致ス積リデアリマ

ス

○中原委員 尚ホ公課ノ點ニ付テノ御話ガ

今ナカツタヤウデアリマスガ……

○大矢政府委員 公課ノ點ニ付キマシテハ、

農林省カラ通牒ガ出テ居ル筈デアリマス

ス

○中原委員 ドウ云フ通牒ガ出テ居ルノデ

テノ小サイ商工業者、勞働者ハ隣保共助ヲ

○大矢政府委員 詳シイコトハ農林省、内務省ノ方ニ號イテ御答致シマス

○松田(喜)委員 一寸關聯シテ御尋致シタ

官吏又ハ警察官、小學校ノ教員、斯ウ云フ

人々ガ出征ヲ致シマシタ場合ニハ、皆全額

ノ俸給ヲ渡スト云フコトニナシテ居ルト云

フコトヲ聞イテ居リマスガ、事實デアリマスカドウカト云フコトガ一ツ、ソレト、

私大藏大臣ノ答辯ヲ保留シテ貰ッテアリマスノデ、序ニ言ハシテ戴キマスガ、モウ一ツヘ、

假リニ官吏、警察官、小學校ノ教員ニ金額ヲ渡スト云フコトニナリマスルト、其金ト云フモノハソレハノ部カラ出ルノデアラウト思ヒ

マスガ、此處ガ大事ナ所デアリマス、農漁山村ナドト云フモノハ隣保共助シロト言フ、

商工業者モサウデアリマス、尤モ政府ガ扶助シマスル金額ハ平均何ボニナルノカ知リ

マセヌガ、只今統計ニ依ッテ見マスルト、昭和十年ノ時ガ受扶助者一軒平均八十圓程ニ

ナッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、其程度ニ行クノカドウカ知リマセヌ、或ハ私ノ申上ガル數字ガ違ツテ居ルカモ知レマセヌ

ウナツタ時ニ、隣保共助ガ出來ナクナルノデ

アリマス、殊ニ勞働者等デアッタ尙ホ出

來マセヌガ、何時マデモ官吏ハ全額ノ俸給ヲ吳レルガ、其以外ノ人ハ貰ヘナイト云フコトニ

ナシテ、其處ニ矛盾ガアル、不公平ガアル、即チ持タザル者ノ非常ナ苦シミガアル、即

チ内閣ノ唱ヘテ居ル正義ト云フコトニ反シ
ハシナイカト思フノデアリマス、ソコデ氣
遣ヒマスルノハ、斯ウ云フ狀態ガ續イテ行
キマシタ時ニ、今日コソ此國民ノ一致ノ精
神ハ變ルコトハ絕對ニアリマセヌガ、多數
出征スル等ニ依ツテ、隣保共助等ガ出來ナク
ナツタ時ニ、今ト後トニ、即チ熱ノ表ヘ、
即チ力ガ足ラナクナツタ時分ヲ惧レル、
私ハ今日官吏等ガ全額ノ俸給ヲ貰フノハ宜
シイガ、少クトモ此戰時給與令ヲ改正ラシ
テ：

○川崎委員長 松田君、御注意申上ゲマス、
ソレハ先程モ御尋ニナツタノデス
○松田(喜)委員 是ハ洵ニ大事ナコトデ
ス、是程大事ナコトハアリマセヌ…
○川崎委員長 併シ先程モ御述べニナツタ
コトデセウ

○松田(喜)委員 其答辯ガナカツタノデ
ス——ソレデハ其點ニ付テドウ云フ御返事
ガアリマスカ、伺ヒマス

○賀屋國務大臣 官吏等ハ、其應召シテ參
リマス軍人トシテ受ケマスル俸給ガ、應召
前ニ受ケマシタ俸給ヨリ少イ時分ニハ、其
差額ヲ給スルコトト相成ツテ居リマス、ソレ
ハ官カラ請求致スノデアリマス、併ナガラ
今年ノ此豫算デモ御承知デアリマセウガ、

ハシナイカト思フノデアリマス、ソコデ氣
遣ヒマスルノハ、斯ウ云フ狀態ガ續イテ行
キマシタ時ニ、今日コソ此國民ノ一致ノ精
神ハ變ルコトハ絕對ニアリマセヌガ、多數
出征スル等ニ依ツテ、隣保共助等ガ出來ナク
ナツタ時ニ、今ト後トニ、即チ熱ノ表ヘ、
即チ力ガ足ラナクナツタ時分ヲ惧レル、
私ハ今日官吏等ガ全額ノ俸給ヲ貰フノハ宜
シイガ、少クトモ此戰時給與令ヲ改正ラシ
テ：

上ダタノデアリマスルガ、ソレ以外ハ其爲
ニ俸給ノ增加ハ致シテ居リマセヌカラ、謂
ハバ隣保共助ト同ジヤウナ結果ニ相成ルト
思ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ其他ノ應召軍
人トノ件デアリマスルガ、是ハ内務省所管ノ
コトニ屬シマスルノデ、私ガ全部御答申上
ゲルコトハ出來マセヌガ、只今ノ官吏等ニ
ナツテ居ルト云フ御趣旨ハ御尤デアリ
マスルノデ、私共ノ關係致シマスル方ハ一
歩ヲ進メマシテ、今回此臨時ノ租稅ノ減免
案ヲ出シマシタ、是ノ如キモノハ、自作農
デアリマストカ、御話ノ中小商工業等ニ於テ
ハ痛切ナル感ジガアル所デアリマス、既ニ
定致シマシタガ、是ガ應召ヲサレテ、非常
ニ後ノ商賣ニ困ルト云フ時ニ、増額ノ稅金
ヲ納メルト云フコトハ非常ニ困難デアリマ
スカラ、減損更訂ニ拘ラズ之ヲ減額スルコ
ト致シマシタ、是ハ從來ノ戰役ノ場合ヨ

其爲ニ缺員ヲ補充致シマセヌデ、同僚ガ出
來ルダケ餘計働キマシテ、俸給豫算ノ増額
ハ要求致シテ居リマセヌ、唯司法省ノ看守
ニ付キマシテハ、軍需工業ガ非常ニ繁忙ヲ
極メマスノデ刑務所ノ作業等ガ非常ニ増加
致シマスノデ、是ハ休職俸給ノ御要求ヲ申
上ダタノデアリマスルガ、ソレ以外ハ其爲
ニ俸給ノ增加ハ致シテ居リマセヌカラ、謂
ハバ隣保共助ト同ジヤウナ結果ニ相成ルト
思ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ其他ノ應召軍
人トノ件デアリマスルガ、是ハ内務省所管ノ
コトニ屬シマスルノデ、私ガ全部御答申上
ゲルコトハ出來マセヌガ、只今ノ官吏等ニ
ナツテ居ルト云フ御趣旨ハ御尤デアリ
マスルノデ、私共ノ關係致シマスル方ハ一
歩ヲ進メマシテ、今回此臨時ノ租稅ノ減免
案ヲ出シマシタ、是ノ如キモノハ、自作農
デアリマストカ、御話ノ中小商工業等ニ於テ
ハ痛切ナル感ジガアル所デアリマス、既ニ
定致シマシタガ、是ガ應召ヲサレテ、非常
ニ後ノ商賣ニ困ルト云フ時ニ、増額ノ稅金
ヲ納メルト云フコトハ非常ニ困難デアリマ
スカラ、減損更訂ニ拘ラズ之ヲ減額スルコ
ト致シマシタ、是ハ從來ノ戰役ノ場合ヨ

○川崎委員長 其答辯ガナカツタノデ
ス——ソレデハ其點ニ付テドウ云フ御返事
ガアリマスカ、伺ヒマス

○武田委員 大藏大臣デス

○川崎委員長 デハドウゾ成タケ一ツ簡單
ニ御願致シマス

○武田委員 委員長御注意ニ從ヒマシテ時
刻モ遲レテ居ルコトデアリマスカラ、極メ
テ簡単ニ二三點ダケ大藏大臣ニ伺ツテ置キ
タイト存ジマス、第一ハ統制ニ付テ特殊
ノ機關ヲ御設置ニナル御考ハナイカト云
フコトデアリマス、是ハ大藏大臣トシテ
ヨリハ國務大臣トシテ承リタイト思フノ
マデモナク統制ガ統制ヲ生ムト云フヤウ
マセヌ、併ナガラ先程大藏大臣ガ縷々御說
明ニナリマシタル如ク、斯様ナル統制ヲ實
施スルニ當リマシテハ、經濟界ニ非常ナル
「ショック」ヲ與ヘルコトハ申ス迄モアリマ
セス、隨テ斯様ナ立法ヲ爲スニ當リマシテ
ハ、豫メ實際家ノ意見ヲ御斟酌ニナルト云

リハ歩ヲ進メタ積リデアリマス、尙ホ全般
ノ給與的ナコトニ付キマシテハ、是ハ私ガ
只今御答申上ダルコトハ不適當デアリマス
カ、又必要ガアレバ内務省ノ方ニ申シマシ
テ、御答申上ダルコトニ致シタイト思ヒマス
ニナリマシタ、横川君モ御取消ニナリ、前
田君モ御取消ニナリマシタ、前田君ハ明日
若シ事情ガ許セルナラバ討論ノ前ニ質問致
シタイト云フ申出ガアリマシタ、ソコデ武
田君ノ番デスガ、武田君ハ大藏大臣デスカ
レル、ソレモ私ノ見ル所ヲ以テスレバ尙ホ
一部分デハナイカト思ハレル、又商工省ナ
ラバ商工省ノ眼ノ前ニ差掛ツタ問題ダケヲ
取上げテ、立法ノ手段ヲ執ツテ居ラレルヤ
ウニ見エルノデアリマス、是デハ私ハ實際
ヲ云ツテ見タナラバ、種々ナル支障ヲ生ジハ
シナイカト思ヒマス、ソレトモウ一ツハ此立
案ノ衝ニ當ラレマシタ各大藏省ナリ商工省
ノ方々ハ、極メテ事務ニ堪能デアリ、又統
制ニ付テノ御研究ハ頗ル深イ御方々デアッ
テ此法案ヲ得マシタコトハ洵ニ敬服ニ堪ヘ
マセヌ、併ナガラ先程大藏大臣ガ縷々御說
明ニナリマシタル如ク、斯様ナル統制ヲ實
施スルニ當リマシテハ、經濟界ニ非常ナル
「ショック」ヲ與ヘルコトハ申ス迄モアリマ
セス、隨テ斯様ナ立法ヲ爲スニ當リマシテ
ハ、豫メ實際家ノ意見ヲ御斟酌ニナルト云

フコトガ、極メテ必要デナケレバナラヌト思フノデアリマス、既ニ大藏大臣モ其趣旨ハ御諒解デアルガ故ニ、此臨時資金調整法案ニ於テモ、幾多委員會ヲ設ケルト云フヤウナコトガ此法文ニアリマス、既ニ左様ナコトヲ御認メナリマスナラバ、斯様ナ統制ノ立案其他ノ中心機關ニナルヤウナ、何ト申シマスカ、名ハ何レデモ宜シイノデアリマスガ、内閣直屬ナリ、特別ナ何等カノ中央全般ヲ綜合スル所ノ機關ヲ持ツト云フコトガ必要ナコトデハアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、其點ヲ一ツ御伺致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 淳ニ御尤ナコトデアリマス、本法案ニ於キマシテモ第十一條ノ調整委員會ハ、是ハ民間ノ知識ヲ主トシテ參りタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ今回ノ調整ニ付キマシテハ商工省大藏省ト案ハ別ニ致シマシタガ、先程來カラ申上ゲマシタヤウニ一定ノ趣旨ノ下ニ必要ナル方法ヲ各所ニ講ズルト云フ一定ノ脈絡ヲ持ツテ居テ居リマス、併ナガラ内閣全體ト致シマシテモ總理ノ申シテ居リマスヤウニ力及バザルコトモ考ヘマシテ、衆智ヲ集メルト云フコトヲ非常ニ考ヘテ居ル、色々ナ方面デ衆

智ヲ集メマシテ遺漏ナキヤウニシタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○武田委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明デハ私尙ほ了解ニ苦シム點ガアリマスガ、結局是ハ同ジャウナ結論ニナルカト思ヒマスルカラ、ソレハ其程度ニ打切リマシテ、次ニ伺

ヒタイコトハ、臨時資金調整法案ノ要點ハ、戰時資材ヲ豊ニスルニアリト云フ大藏大臣ノ御説明デアリマシタガ、私共モ左様ニ考

ス、而シテ戰時資材ヲ豊ニスル方法ト致シマシテ、戰時資材ヲ製造スル所ノ製造業者ニ資金ヲ豊ニ融通スルヤウナ方法ヲ立テルト云フコトガ本案ノ目的デアラウト思ヒマス、是ハ確ニ宜イコトデアルニハ相違アリマスマイ、併シナガラ之ノミヲ以テ大藏大臣ノ言ハレル所ノ戰時ノ資材ヲ遺憾ナク豊ニスルト云フコトガ出來ルカドウカト云フコトニ

得ナイノデアリマス、更ニ政府ハ大決心ヲ以テ是ダケノ品ヲ何日マデニドウシテモ造リ上ゲナケレバナラヌト云フ目途ハ立タナリ上ゲナケレバナラヌト云フ目途ハ立タナリト云フコトニ向ッテハ、私ハ甚ダ疑ナキラ得ナリノデアリマスカラ、ソレニ向ッテ決定サレタモノハ今日ニ於テ二十五億、又海陸軍軍事費トシテ普通豫算トシテ決定サレタモノハ十四億デアリマスカラ、彼は是レ四十億ノ金ヲ使ハナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ前議會ニ於テ

スルダケノ政府ニ準備ガナクシテ、此ノ資金調整法案ダケデ、詰リ金融上ノ操作ダケデ、戰時資材ヲ十分ニ用意スルト云フコトニ向ッテハ甚ダ疑ヲ持ツノデアリマス、此點ニ向ッテ大藏大臣ノ確信アル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 御尤デアリマシテ、物資ノ供給ノ方ガ主眼デアリマス、金バカリ多クテ物資ガ伴ヒマセヌ時ニハ物價ノ騰貴デアル、寧ロ惡性「インフレ」デアリマス、隨ヒマシテ此法案ニ依リマシテ必要ナル物資ハ、只今ノ現狀カラ言ヘバ浪費ト申シマスコトハ普通ノ觀念デハ當リマセヌガ、只今ノ現狀ハ不足ナル方面ニ向ハナイト云フコトニ依ッテ、一ツ必要ナル方面ニ向ブト云フ保障ガ出來ル譯デアリマス、モウ一ツハ先程モ申上ゲタヤウニ、此際トシテハ、不急、不要ノ物物輸入ヲ制限致シマシテハ、外國ヨリ必要な物ノ獲得力ヲ増加スル、主トシテ此二ツノ方面カラ必要ナル物資ノ供給力ヲ増加スル方針ナノデアリマス、資金ノ供給ハソレニ隨伴シ、之ニ伴ツテ需要上圓満ニ參ルヤウナシテモ必要ナ資材ニ向ッテハ政府ハソレマデ不足分ヲ補フ途ヲ講ズルトカ、或ハドウシテモ必要ナ資材ニ向ッテハ政府ハソレ考ヘ方ラ致シテ居リマス、又陸海軍經費ノ八〇%ト云フ御話デアリマスガ、是モ色々配當ノ保證ヲスルトカ、其他一二ノ實例ヲ舉ゲタノデアリマスガ、其物ニモット直考ヘ方ガアリマス、或ハ物件費ハ八〇%ト致シマシテモ、其物件費ノ又半分ハ勞力費

デアル場合ガアル、サウシマスルト外國カラ買ハナケレバナラヌ眞ノ物ノ經費ガ一番動イテ——國內ノ物ナラバ結局勞力デ出テ参リマス、ソコヘ行キマストソレハ又八〇%ノ中ノ段々減シタ部分デアルノデアリマス○武田委員 私ハ只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ付キマシテハ、半ハ諒承致シマシタガ、半ハ益、疑ヲ深クスルヤウナ次第デアリマス、成程大藏大臣ノ仰シヤル如ク、國內ニ於テ得ラレナイ所ノ物資——得ラレナイヂヤナイ、得ラレルニ困難ナ物資ハ、總テ外國カラ仰グト云フ方針ニ致シマスルナラバ、是ハ今仰シヤル通リデアリマス、爲替ノ關係サヘ差支ナイト云フ御見込ガ付キマスナラバソレデ宜イノデアリマス、併ナガラ此事變方如何ニ進展スルカト云フコトハ、私ハ豫想出來ナイト思ヒマス、又大藏大臣モ同様ナ御觀測デアラウト思ヒマス、十分ニ行クカドウカ、相當疑問デアリマス、爲替關係ヲ外ニ豐ニ外國カラコチラノ思フ通リニ、爲替關係ハ別ト致シマシテモ、十分ニ行クカド

物ハ鐵デアリマス、今日ハ鐵ノ原料ヲ大部分外國カラ取ッテ居リマスガ、假リニ日本ニ澤山アル所ノ砂鐵ヲ以テ之ニ代ヘルト致シマシタナラバ、爲替關係ニ於テモ非常ナ助ケニナリ、サウシテ其資源ガ國內ニアルト云フコトニモ聞イテ居リマス、是等一二ノ實例ヲ舉ゲテ見マシテモ、物資ヲ豊カニシテ戰時資財ヲ豊カニスルト云フコトハ、單ニ金融方面ダケデハイカヌノデハナイカ、大藏大臣ガ統制ノ手ヲモウ一步進メテオヤリニナルト云フコトデナケレバ、十分ナ目リニナルト云フコトデナケレバ、十分ナ目コトハ、要スルニ技術ノ問題デナクシテ經濟ノ問題デアルノデアリマス、技術ハ最早十分ニ出來テ居ルト私ハ聞イテ居リマス、唯今日ノヤリ方デハ經濟的ニ行カナイト云フダケデアリマスカラ、或ル會社ガソレヲニ、一年二年ハ我慢シテ貰ッテモ宜イト云フヤウニ、業態ニ依ッテハ之ヲ抑ヘルト致シマシテモ、大藏大臣ガ御説明ノ如ク、内地デ困難ナモノハ總テ外カラ仰ガウト云フ方針ヲ執リマシタナラバ、戰局ノ進ムニ從

テ輸入ノ増加スルコトハ驚クベキモノデハナカラウカト思ヒマス、然ラバ如何ヤウニスルト云フコトハ極メテ困難ナ状態デハルプ」ガ出來ルト云フコトデアリマス、是ナイカト思ヒマス、之ヲ一例ヲ以テ申シマスレバ戰時資材ト致シマシテ、一番重要ナ物ハ鐵デアリマス、私共モ今度ノ豫算ニ出ス大藏大臣ガ苦心サレテモ、爲替關係ヲ圓満ニル」ガ出來ルト云フコトデアリマス、是ナイカト思ヒマス、之ヲ一例ヲ以テ申シマスレバ戰時資材ト致シマシテ、一一番重要ナ物ハ鐵デアリマス、今日ハ鐵ノ原料ヲ大部分外國カラ取ッテ居リマスガ、假リニ日本ニ澤山アル所ノ砂鐵ヲ以テ之ニ代ヘルト致シマシタナラバ、爲替關係ニ於テモ非常ナ助ケニナリ、サウシテ其資源ガ國內ニアルト云フコトニモ聞イテ居リマス、是等一二ノ實例ヲ舉ゲテ見マシテモ、物資ヲ豊カニシテ戰時資財ヲ豊カニスルト云フコトハ、單ニ金融方面ダケデハイカヌノデハナイカ、大藏大臣ガ統制ノ手ヲモウ一步進メテオヤリニナルト云フコトデナケレバ、十分ナ目コトハ、要スルニ技術ノ問題デナクシテ經濟ノ問題デアルノデアリマス、技術ハ最早十分ニ出來テ居ルト私ハ聞イテ居リマス、唯今日ノヤリ方デハ經濟的ニ行カナイト云フダケデアリマスカラ、或ル會社ガソレヲニ、一年二年ハ我慢シテ貰ッテモ宜イト云フヤウニ、業態ニ依ッテハ之ヲ抑ヘルト致シマシテモ、大藏大臣ガ御説明ノ如ク、内地デ困難ナモノハ總テ外カラ仰ガウト云フナラバ直チニ此製鐵ガ國內ニ於テ安定スル

先程ドナタカノ御話ガアリマシタガ、「ハルプ」ノ問題デモサウデアリマス、私ノ聞ル所ニ依レバ所謂製糖會社ノ泰ノ津デ「ハルプ」ガ出來ルト云フコトデアリマス、是モ種々ナル困難ガアリ、經濟的ニハ成立ツテ居ルト云フコトニ聞イテ居リマスガ、唯

テ輸入ノ増加スルコトハ驚クベキモノデハナカラウカト思ヒマス、然ラバ如何ヤウニスルト云フコトハ極メテ必要ナノデアリマス、輸入ヲ致ス力ガアレバ、ソレダケ餘分ニ原料資材ヲ得ラレル譯デアリマスカラ、之ニ全力ヲ盡スコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、私共モ今度ノ豫算ニ出マシタモノハ洵ニ些少ナモノデアリマスガ、農林省、朝鮮總督府ニ於キマシテ、若干ノ研伐費モ計上致シテ居リマス、是ハ本來カラ申シマスト農林行政ノ所謂平常ノ森林ノ經營ノ何年輪伐ト云フ考カラ行ケバ多少ノ例外ヲ致シテ居ル、併ナガラ是非限ト云フコトヲ考ヘマシテ、取敢ヘズ多少デモ、伐ツテ貰ヒタイト云フコトデ行キマシタ、是ト同ジデアリマス、國家非常ノ際デアリマスカラ、例ヘバ今「バルブ」ノ御話ガアリマシタガ、人絹「バルブ」ノ如キモノデモ世界的ニ不足シテ居ル、此際金ガアツテモ中々入りマセヌ、サウ云フモノニ付キマシテハ普通ノ場合ニ於ケル林業行政等ヲ統一シテ、相當國內デモ供給ノ途ヲ開ク望ガアルノデアリマス、商工大臣モ折角他ノ閣僚ト相談シマシテ研究ヲ致シテ考ヘ

サウ云フ風ニ考ヘテ行カナケレバナラヌ、砂
鐵ノ如キモノハ私當局者デアリマセヌノ
デ、ソレヲ直チニドウスルト云フコトヘ申
上ゲ兼ネマスガ、御話ノ如ク是ガ國內デ出
來ルト云フコトニナレバ非常ニ結構デアリ
マス、砂鐵ノ具體的ニドウトハ申上ゲマ
セヌガ、總テ御話ノ方向ノヤウニ國內ノ資
源ヲ出來ルダケ有效ニ使ッテ行キタイト考

ガ發動サレルト思フノデアリマス、軍需工
業動員法ガ發動サレルト云フ其精神ト、此
統制ニ自治ヲ認メルト云フ精神トハ、私ハ
ドウシテモ相容レナイモノデハナイカト思
フノデアリマス、是ハ詳シク申上ゲルト非
常ニ長クナリマスカラ私ハ申シマセヌガ、
ドウシテモ私ハ左様ニ思フ、ノミナラズ若
シ政府ガ監督サヘスレバ自治統制デ行ケル

タ如ク、既ニ將ニ軍需工業動員法ガ發動シ
ナケレバナラヌ、軍需工業動員法ノ内容ヲ
考ヘテ見マスナラバ、茲ニ戰時時局ニ對シ
テ斯様ナ自治統制ヲ行フト云フヤウナコト
ハ、洵ニ私ハ其觀念ニ於テ予盾スルノミナ
ラズ、實際ノ運用ニ於テ甚ダ支障ヲ來シハ
シナイカト思フノデアリマススガ、此點ニ
付テ大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマ

云フコトモ政府ハ能ク知リ得ルノデアリマス、金融機關ハ斯ウ云フ際ニ國家的ニ自治的ニヤリタイ、恐ラク十分ニヤルダラウト思ヒマスシ、萬一不幸ニシテイケマセヌ場合ニハ、サウ云フ力ノナイト部分ハ政府直接受制ニ移ル、私ハ是デ目的ヲ達シ得ルト思ヒマス

○武田委員 大藏大臣ハ私共ノ申上ゲルコ
トニ一々御同感ノヤウデアリマシテ、洵
ニ結構デアリマスガ、併ナガラ其實行ヲ
ナサル所ヲ見マスルト、必シモ之ニ同意
シテ居ナイヤウニ思ヒマス、併シ左様ナ議
論ヲ致シテモ仕方アリマセヌカラ、私ハモウ
一ツダケ伺ッテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマ
ス、ソレハ臨時資金調整法ノ第三條ノ自治
統制ト云フコトデアリマス、是ハ先程同僚
方カラモ御質問ガアツタノデアリマスガ、私
ハドウモ之ニ甚ダ疑ラ持ツテ居ルノデアリ
マス、ソレハ政府ハ軍需工業動員法ヲ御發
動ニナルト云フコトデアリマス、先程ノ本
會議ニ於テ貴族院カラ廻ツテ來マシテ、軍需
工業動員法ノ發動ニ關スル法律案ト云フモ
ノガ衆議院ニ現ニ今審議ニ上ヅテ居ルノデ
アリマスカラ、是ガ決定致シマスナラバ是

モノナラバ、何モ苦シニテ故ラニ政府自ラ統制スル必要ハナイヤウナ結論ニモナリハシナイカト思フ、此臨時資金調整法、即チ金融統制ニダケ限ッテ斯様ナ自治統制ヲ認メラル、ノデアルカ、私ハ甚ダドウモ其意ヲ解シナイノデアル、或ハ惡ク考ヘレバ、大藏大臣ハ最モ今日ノ經濟界ニ勢力ノアル金融資本家ノ意ヲ多少迎ヘルヤウナ意味ガ此間ニアルノデハナイカト云フ風ニモ私ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、何ノ必要アツテ斯様ナコトヲサル、ノデアリマセウカ、サウシテ眞ニ此法案ノ目的通リニ金融統制ヲ致スト云フナラバ、所謂「本法ノ目的ニ從ヒ政府ノ適當ト認ムル方法ニ依リ」ト云フコトデ、詰リ名ヲ自治ニ藉ッテ事實ハ政府自身ガ統制シタト同ジコトヲ行フニアラズンバ、此法ノ目的ハ結局ハ實行サレナイト思フノデアリマス、所謂先程申上ゲ

○賀屋國務大臣 是ハ戰時デアリマシテ
モ、モノニ依ッテ色々々違フト思ヒマス、政
府自ラ管理シテヤル必要ノアルモノモアレ
バ、基準ヲ示シテ自ラソレニ副ハシメルモ
ノモアリ、又全然放任ヲ致シテモ宜シイモ
ノモアリ、是ハ全部一律ニハ私ハ參ルマイ
ト思ヒマス、此金融ニ關シマスル統制ニ付
キマシテ、此モノナラバ十一條ノ定ムル委
員會ノ標準ヲ示シマシテ、ソレニ依ッテ金
融機關ハ自ラ右左ニ決メ、決メ兼ネル場合
ニハ之ヲ其屬スル團體ノ機關ニ諮リ、更ニ
日本銀行ニ相談シ、大藏省ニ相談スルト云
フコトデアリマスカラ、是デ出來ルト思フ
ノデアリマス、金融機關ガ果シテソレヲ實
行シテ居ルカドウカト云フコトハ、銀行ハ
御承知ノ如ク銀行法ニ依ッテ政府ノ嚴重ナ
ル監督ノ下ニ服シテ居ルノデアリマスカ

○川崎委員長 告サンニ御諮リヲ申上ダ
スガ、アトヘ四名ノ方ガ質問ガ残ツテ居ル
ノデアリマス、所デ次ノ順位ハ堀内良平
君、澤田君デアリマスガ、御兩君ハ一人約
五六分ト云フ御申出ガアリマスノデ、左様
ナ次第デアリマスカラ、アトノ笠井、馬場
御兩君ニ於カセラレマシテモ、モウ大體質
問ノ要領ハ盡キテ居ルト私共ハ思フノデア
リマスカラ、此例ニ倣ハレマシテ、成タケ質
質問ヲ簡単ニ御過シヲ願ヒタイコトヲ委員
長トシテ希望致シテ置キマス——堀内君
○堀内委員 極メテ簡単ニ大藏大臣ニ御尋
ね致シマス、臨時資金調整法案ノ第十六條ヲ
ル爲必要アリト認ムル時ハ命令ノ定ムル所
ニ依リ左ノ各號ニ掲グル事項ニ關シ關係者
ヨリ報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲
スコトヲ得」トアリマスガ、其關係者ト申

シマスノハ、一般會社ト看做シテ宜イノデ
アリマセウカ、其點ヲ確メテ置キタイ

○賀屋國務大臣 大體御示シノ通リデアリ
マス

○堀内委員 此條項ニ規定致シマス所ノ關係

者ヨリ報告ヲ徵スルト云フコトハ差支ナイ
ト思ヒマス、併シ其後ノ「帳簿其ノ他ノ検査

ヲ爲スコトヲ得」ト書イテアリマスガ、其
左記ノ各號ニ掲グルモノト云フノヲ見マス

ト、「資金ノ需給及移動ニ關スル事項」「有價證

券ニ關スル事項」「國際收支ニ關スル事項」「事

業ノ資金計畫ニ關スル事項」ト云フコトハ、

報告デ足リルコトデアル、然ルニソレヲ故

ラニ「帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲ス」トアル「其

ノ他」ト云フコトハドウ云フコトデアルカ

ウ云フ祕密ノ所マデ検査スルコトガ出來ル

譯デアリマス、ソコデ其検査ヲ拒ンダ者ハ

第十八條ノ規定ニ依ッテ五百圓以下ノ罰金
ニ處スルト云フコトニナル、ドウモ政府ノ

見ル所ガ、ドウシテ斯ウ會社ナドヲ何カ盜

人扱ヒノヤウニスルノデアリマセウカ、斯

ウ云フヤウノ條項ガ此前ニモ出テ來タコト
ガアル、見ル方デハ帳簿ノ検査トカ其他ノ場

合ノ検査ト云フコトハ何デモナイ、斯ウ政

府ハ御思ヒニナルカモ知レマセヌガ、會社

ニ取ツテハ非常ニ迷惑、迷惑ノコトデアル
ノミナラズ、會社ニハソレドヽ祕密モア

ル、惡イ事ヲシテ居ル祕密デハナイ、商略
モアレバ、總テノ會社ニ計畫モアル、他人

ニ發表シテナラヌコトガ多々アルノデアリ
マス、サウ云フヤウナモノヲ、ドウセ役所

カラ検査ニ來ルヤウナ低イ役人ガ、矢鱈ニ
帳簿其他ノ検査ヲドンヽヤラレテハ堪ラ

ナイ、一體御承知デアラウト思ヒマスガ、
商法ノ規定ニ依ツテ、株式會社ノ重役ハ虛

偽ノ報告ヲスルコトガ出來ナイ、株主總

會ニ於テモ然リ、其他ノ場合ニ於テモ然

リ、殊更ニ政府カラ斯ウ云フ調査ヲ命令セ

ラレテ居ル時ナドハ、左様ナ虛偽ヲ言フコ

トハ出來ナイ、サウ云フコトヲスレバ、背

任罪ニ依ツテ處罰サレルコトニナッテ居リマ

ス、是ダケノコトヲ十六條ニ規定ヲシテ居

ル、「左ノ各號ニ掲グル事項」ト云フコ

トハ、報告デ足リルノデアリマスカラ、
若シ其報告ニ虛偽ノ報告ガアッタ云フノ

デアレバ、裁判所ノ活動ニ委スベキデア

ル、斯様ナ條項ヲ掲ゲテ、サウシテ全般ノ

會社ニ對シテ、幾ラ政府トハ言ヒナガラ無

融調査ニ關スル規定デゴザイマシテ、資金

ノ狀況ヲ調査スル爲メ必要アル場合ニ於テ
斯ノ如キコトヲシヨウト云フノデアリマシ
テ、此點カラ非常ニ制限ヲ受ケルノデアリ
マス、尙ホ「關係者ヨリ報告ヲ徵シ」即チ會
社等ノ資金狀況ノ調査ヲスル爲メ必要ナリ
デアリマスガ、其事ヲ繰返スコトモ憚リマ
スガ、若イ役人ガ露西亞ノ眞似ヲシテ居ル
法律ダト、斯ウ仰シャッタ方ガアリマスガ、
サウ云フ譯デモナイデセウガ、斯様ナ人

ニ發表シテナラヌコトガ多々アルノデアリ
マス、サウ云フヤウナモノヲ、ドウセ役所

カラ検査ニ來ルヤウナ低イ役人ガ、矢鱈ニ
帳簿其他ノ検査ヲドンヽヤラレテハ堪ラ

ナイ、一體御承知デアラウト思ヒマスガ、
商法ノ規定ニ依ツテ、株式會社ノ重役ハ虛

偽ノ報告ヲスルコトガ出來ナイ、株主總

會ニ於テモ然リ、其他ノ場合ニ於テモ然

リ、殊更ニ政府カラ斯ウ云フ調査ヲ命令セ

ラレテ居ル時ナドハ、左様ナ虛偽ヲ言フコ

トハ出來ナイ、サウ云フコトヲスレバ、背

任罪ニ依ツテ處罰サレルコトニナッテ居リマ

ス、是ダケノコトヲ十六條ニ規定ヲシテ居

ル、「左ノ各號ニ掲グル事項」ト云フコ

トハ、報告デ足リルノデアリマスカラ、
若シ其報告ニ虛偽ノ報告ガアッタ云フノ

デアレバ、裁判所ノ活動ニ委スベキデア

ル、斯様ナ條項ヲ掲ゲテ、サウシテ全般ノ

會社ニ對シテ、幾ラ政府トハ言ヒナガラ無
リルノダト仰シヤル、勿論足リマス、是ダ
ケノ四項ノ調査ヲナサルナラバ報告デ十分
デス、ソレダケレドモ検査ノ途ヲ開イテ居
ルト云フコトハ、何ノ必要ガアリマスカラ、
ソコデ検査ヲ拒ンダ場合ハ五百圓以下ノ罰

「國際收支ニ關スル事項」「事業ノ資金計畫
ニ關スル事項」是ダケノ四項ノコトヲ調査

致シマシテ、主トシテ資金調整ノ基礎資料
ニスルノデアリマス、例ヘバ御指摘ノ如ク

金ニ處スルト云フ罰則マデ設ケテ居ル、ドツチデモ宜イ、報告デモ足リルケレドモ斯ウスルノダ、ソンナ不明瞭ナコトヲナサルカラ法律ガ色々民間ニ脅威ヲ及ボシテ來ル、モウ一ツ第五條ノ規定ニ依リマシテ、「政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條又ハ前條ノ許可又ハ認可ニ關スル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシム」ト云フコトガ書イテアル、先刻來御質問ニナツタ方モアリマスガ、其事務ヲ扱ハレルト云フコトデアリマス、此日本銀行ヲシテ扱ハシムルト云フ中ニヘ、第十六條ノ「報告ヲ徵シ又ハ帳簿其他ノ検査ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトモ、日本銀行ニ之ヲ御取扱ハセニナル御方針デアリマスカ、日本銀行ハサウ云フ事ニハ一切關係サセナイト云フコトデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタ居リマセヌ

○賀屋國務大臣 順次低金利ニ參リマスレ
バ、公債ノ消化ハ非常ニ好イノハ御話ノ通
リデアリマスガ、餘リニ低金利ニ過ギマシ
テ實勢ニ副ヒマセヌト、却テ破綻ヲ來スコ
トニナル、只今ノ所ハ金利水準ニ付キマシ
テハ公債ノ利廻ノ逆轉ハアリマセヌ、突進
シテ直グニ低金利ニ入ル考モ持ツテ居リマ
セヌ

○澤田委員 農村アタリデハ斯ウ云フ心配
ヲシテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り、
農村ノ金融ト云フモノハ他ノ商賣ト違ヒ
マシテ、其時期ニ依ツテ收入ガ増シタリスル
コトガ出來ナイ、收入ガ至ツテ僅カナモノ
デアル、歐洲大戰後物價高デ澤山ノ借金ヲ
シテ、高金利デ苦シダノデアリマスガ、最近
金利ガ安クナツテ大分息ヲ吐イテ居ル、再ビ
是ガ金利ガ高マル時代ガ來ハセヌカト云フ
コトヲ杞憂シテ居ルノデアリマスガ、先刻
モ大藏大臣ガ仰セラレタガ、景氣ガ直ツテ
來ルノダ、直ル結果ハ跛行的景氣ヲ出スカ
知ラヌガ、ソコハ辛抱センケレバナラヌ、
斯ウ仰シヤッタガ、此跛行的ナ景氣ガ出ル

者ガ、買フ物ハ高イ、賣ル物ハ其割ニ上げタリスルコトモ考慮スルノダト思ヒマス、サナイト云フ結果ヲ見ルノダト思ヒマス、サントシムト云フモノハ、他ノ一般ノ金融ト別ニ考ヘナケレバナラヌコトデアル、一體今迄ノ金融ハドノ金融モ同ジデスケレドモ、斯ウ云フ革新時代ニ於テハ、私ハ農村ノ金融ト云フモノハ特ニ他ノ金融ト別ニ考フベキモノデアラウト考ヘテ居リマスガ、大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

マスガ、サウ云フ場合ニ於テ農村ト云フモノガ比較的不利ナ立場ニ立ツト考へルト同時ニ、此農村問題ニ對シテ有ユル點ニ對スル御心配ヲ願ハナケレバナラヌガ、サウ云フ意味合カラ大藏大臣ニ稅制ノ改革、詰リ來ル通常議會ニハドウシテモ、少シデモ農村ノ負擔ヲ輕減スル意味ニ於テ稅制ノ改革ノ必要ガアルト認メテ居ルノデアリマスガ、之ヲ御出シニナル意思ガアリヤ否ヤ、最後ニ伺ヒマス

題ニ關聯シテ、地方ノ公課ノ問題ニ付テ地
方局長ノ答辯ヲ要求シテ居ツタノデアリマ
スガ、此際御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○坂政府委員 地方ノ公課デアリマシテ
モ、地方税或ヘ地方團體デ取ッテ居リマス水
道、電氣ノ使用料ナドノコトヘ私共ノ方カ
ヲ御答出來ルノデアリマスガ、其他ノ公課
ニナリマスト、他ノ方面カラ或ヘ御答辯ガ
アルカト思ヒマス、地方税ヤ水道電氣ノ使
用料等ニ付キマシテヘ、出征ノ爲ニ非常ニ生
活ガ困難ニナックタ云フ者ニ對シマシテヘ、
既ニ八月四日デアリマシタカ、地方局長ノ
依命通牒ニ依リマシテ、地方ニ成ルベクサ
ウ云フ者ハ減免ヲシテヤルヤウニト云フコ
トヲ申シテヤッテ居ルノデアリマス、既ニヤッ
テ居ルノデアリマス、是ハ國稅ト違ヒマシ
テ、地方稅ノ方ハ既ニ府縣制、市制、町村
制ノ方ニ減免ヲ爲シ得ル途ガ開カレテ居リ
マス、法律ノ制定ヲ俟チマセヌデモ一定ノ
手續ヲ執レバ此方ハ出來ルノデアリマス、
唯國稅ト併行致シマシテ、國ノ今度ノ法
律デ國稅ガナクナリマシタモノハ、其附加
稅ガ落チマスクトヘ當然ノコトデアリマス
ガ、地方ノ獨立稅、戸數割營業稅ト云フヤ
ウナモノニ付キマシテ、全然同ジ歩調ニ致シ
マスクトヘ——即チ出征致シマスレバ全部ソレ

ヲ減免スルト云フコトニナリマスト、國ハ
寧ロ大キナ世帶デアリマシテ、少々ノコト
ハ遺縁ハ付キ易イノデアリマスガ、地方ノ
團體ハ小サナ世帶デアリマシテ、財政力ガ
非常ニ小サインデアリマス、ノミナラズ一
面軍事關係デ色々公費ノ殖エマスコトモ段
段御承知ノ通りデアリマス、全部ヲ減ラシ
マスコトニ付キマシテハ相當ノ困難ガアル
ト考ヘマシテ、生活ガ特ニ困難ニ陥ッタ者ハ
淘ニ御氣ノ毒ノ次第デアリマスカラ、サウ
云フ取扱ヲスルヤウニト云フコトヲ既ニ申
シテヤッテ居リマス、大體左様ナ方針デ將來
モ進メタイト考ヘテ居ルノデアリマス
○大矢政府委員 先程留保シテ置キマシタ
農會費等ノ減免ニ付テ御答致シマス、農會、
水利組合等ノ團體ニ對シマシテハ、應召者
ノ納付スル經費的性質ヲ有スルモノ、手數料
的性質ヲ有スルモノニ付キマシテハ、實情
ニ即シテ是ガ輕減、免除ヲ考慮スルヤウニ
ト云フ趣旨ノ通牒ヲ農林當局ニ於テ出サレ
マシテ、現ニ實行シテ居ルソウデアリマス
○川崎委員長 笠井君
封鎖シテ居ツテ、飛行機ヘ南京ノミナラズ
カラ南ハ廣東ニ至ルマデ、殊ニ海軍ヘ沿岸ヲ
事變ヘ戰鬪區域モ餘程廣イ、北ヘ八達嶺
ヲシテ戴キタイト思ツテ居リマス、今回ノ
空會社、中島ノ荻窪、太田、川崎航空機製
造所、川西、愛知時計、石川島、東京瓦斯
電機、其他名古屋ノ工場及ビ海軍ノ廣、横
須賀、佐世保、舞鶴等ノ工廠ノ狀態ガ書イ
テアリマシタ、千九百三十三年ニ製作セラ
レタル「エンヂン」ガ——、飛行機ノ數
ガ——、全能力ヲ發揮スルト、「エンヂ
ン」ガ——、航空機ガ——ト書イテ
アリマシタ、サウシテ若シ露西亞ト、戰爭
マスクトヘ——即チ思ツテ居ル、是ハ吾々國民ノ齊シク感

空機ノ充實ニ付テデアリマス、今回ノ此
案ヲ見マスルト、支那事變ニ關スル臨時軍事
費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ガ二十
億二千二百七十萬圓ノ公債ノ發行ヲ要求シ
テ居リマス、其中デ陸軍ノ臨時軍事費ガ十
四億一千二百七十一萬圓、海軍ガ三億四千
九百九十五萬圓、ソレカラ豫備費ガ二億
五千万圓トナツテ居リマス、此處デ特ニ
陸軍大臣ニ御伺致シタイコトヘ、私ハ、主
トシテ今次ノ事變ニ於ケル陸海軍ノ空軍ノ
努力ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ、最
早今日ニ於テハ相當空軍ノ損害モアルヤウ
デゴザイマスカラ、是ノ充實ヲ圖ッテ貰ヒ
タイコトデアリマス、サウシテ此豫算ノ陸軍
十四億三千二百萬圓、海軍ノ三億四千九百
万圓ト云フ中ニ、ドレ位空軍ノ補充費ガ入ッ
テ居ルヤ、是ハ祕密デアルナラバ強イテ
御問ヘ致シマセヌガ、安心スル程度ニ御話
テ居ルヤ、是ハ祕密デアルナラバ強イテ
詳述シテアリマス、三菱航空會社、中島航
空會社、中島ノ荻窪、太田、川崎航空機製
造所、川西、愛知時計、石川島、東京瓦斯
電機、其他名古屋ノ工場及ビ海軍ノ廣、横
須賀、佐世保、舞鶴等ノ工廠ノ狀態ガ書イ
テアリマシタ、千九百三十三年ニ製作セラ
レタル「エンヂン」ガ——、飛行機ノ數
ガ——、全能力ヲ發揮スルト、「エンヂ
ン」ガ——、航空機ガ——ト書イテ
ガアッタ場合ニハ日本ノ産業動員ガドウ行

クトカ、工業動員ガドウ行クトカ、吾々ガ

祕密ト稱シテ居ルモノガ皆此書物ノ中ニ書
イテアル、ソレデ是ハ一昨年露西亞デ出版

サレ、昨年亞米利加デ出版サレタモノデ、
多數ノ世界ノ有識者ハ之ヲ讀ンデ居ル、斯ウ

云フ風ニ相當ニ日本ノ國防政策、或ハ國內ノ
狀態ニ付テモ知ツテ居ル所カラ見テモ、吾々ハ

モウ少シク國內ノ情勢ヲ研究シナクテハナ
ラヌト思フ、兎ニ角最近ノ日支紛争ニ於テ

最モ威力ヲ發揮シテ居ルモノハ空軍デア
リ、又將來ニ於テモ來ルベキ半年、一年ニ
於テ此戰爭ノ死命ヲ制スルモノハ即チ空軍

ノ力デアラネバナラヌト思ッテ居リマス、
陸海軍當局ニ於テハ既ニ此方面ニ對シテ絕

大ナル努力ヲ致サレテ居リマスガ、今後ト
モドウカ我ガ空軍ノ威力ヲ發揮シテ戴キタ

○川崎委員長 筝井君ハ即チ空軍
ノ力デアラネバナラヌト思ッテ居リマス、
陸海軍當局ニ於テハ既ニ此方面ニ對シテ絕

大ナル努力ヲ致サレテ居リマスガ、今後ト
モドウカ我ガ空軍ノ威力ヲ發揮シテ戴キタ

○川崎委員長 筝井君ハ即チ空軍
ノ力デアラネバナラヌト思ッテ居リマス、
陸海軍當局ニ於テハ既ニ此方面ニ對シテ絕

大ナル努力ヲ致サレテ居リマスガ、今後ト
モドウカ我ガ空軍ノ威力ヲ發揮シテ戴キタ

○川崎委員長 筝井君ハ此議會ノ慣例ヲ御承知ナイ
ノデアラウト思ヒマスガ、此委員會ハ一體

法律ノ委員會デアリマスカラ……、特別ニ
アナクニ御許シテ居ルノデアリマスカラ、
要點タケヲ一ツ御述ヲ願ヒマス

○笠井委員 別ニ長談義ヲスルノデハアリ
マセヌ、私ノ御問シタイ事ハ極ク簡單デゴ
ザイマスガ、私共ガ陸海軍ノ航空機ノ努力

ケレドモ差止メマス

セラレテ居ル所ヲ見テ居リマスト、長距離

ノ航續力ヲ持ツタ——尤モ最近ハ神風號ガ
英吉利迄モ往復シマシタガ、航續力ニ於
キマシテハ相當ノ力ヲ持ツテ居ルヤウデア
リマスガ、航續力ヲ持ツテ同時ニ多數ノ爆
彈ヲ積ンデ行ク飛行機、即チ重爆擊機ガ相
當ニ必要デハナイカト思ツテ居リマス、故
ニ相當ニ此方面ノ充實ヲシテ戴キタイト思ツ
テ居リマス

〔質問ト違フ〕「本案ト關係ハナイデハ
ナイカ」ト呼ヒ、其他發言スル者アリ」

○川崎委員長 質問デハナイカト思ツテアリマ
スカラ……、質問ノ要點ダケヲ御述ヲ願ヒ

マス、サウ云フコトデナケレバ、甚ダ失禮
デアリマスガ、アナタノ發言ヲ中止シナケ

レバナラヌト云フコトヲ御承知願ツテ置キ
マス、他ノ人ハ皆默ツテ居ルノデアリマスカラ
ラ、一ツ要點ダケニ願ヒマス

○笠井委員 私ノ質問ノ要點ハ、現在ノ情
勢ニ於キマシテハ、陸海軍ノ飛行機ハ長期

作戰ニハ相當ノ數ヲ要スルト思ヒマスカラ
ラ、相當充實シテ頂キタイ、之ニ對スル御

所見ヲ御伺致シマス

○川崎委員長 笠井君、只今海軍大臣ハ要

勢ニ於キマシテハ、陸海軍ノ飛行機ハ長期
作戰ニハ相當ノ數ヲ要スルト思ヒマスカラ
ラ、相當充實シテ頂キタイ、之ニ對スル御

所見ヲ御伺致シマス

○川崎委員長 笠井君、只今海軍大臣ハ要

勢ニ於キマシテハ、陸海軍ノ飛行機ハ長期
作戰ニハ相當ノ數ヲ要スルト思ヒマスカラ
ラ、相當充實シテ頂キタイ、之ニ對スル御

ケレドモ差止メマス

○米内國務大臣 御答致シマス、飛行機ニ
關スル豫算ノ内容ハ、甚ダ遺憾ナガラ申上

ゲ兼ネマス、ソレカラ只今ノ海軍ノ航空機、
固ヨリ満足ハ致シテ居リマセヌガ、成ベク

努力致シマシテ、國防ニ不安ノナイヤウニ
努メル積リデアリマス

○加藤政府委員 陸軍大臣ハ今豫算總會ニ
出席ヲ致シテ居リマスノデ、便宜私カラ御

答申上ゲマス、笠井君ハ「ソビエト」露西亞
人ノ著ハシタ圖書ヲ中心トシテノ御質問デ

アリマスガ、私之ヲ能ク存ジマセヌ、信ズ
ベキモノアリ、信ズベカラザルモノアリ、

他國ノ國防ニ對シテハ或ハ之ヲ割引シ割増
シ、サウシテ宣傳用ニ用ユルコトモ多イノ

デアリマスカラ、是ハ失禮デアリマスケレ
モ「調整」ト云フヤウナ文字ヲ故ラニ使ツテ

調整法案ニ現レテ居リマスルヤウニ、文字

ス、而モ其統制ト申シマスルモノガ、資金

省、各省別々ニナツテ居ツテ、其間ニ統一ガ
シテ、大藏省ノ關係、商工省或ハ遞信

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

同時ニ、先程海軍大臣カラ御答ニナリマシ
タ通り、今回ノ臨時軍事費ノ中ニ於テ航空

ニ充ツル經費ハ、申上ゲマスル自由ヲ有シ
マセヌ、是ダケ御答ヲ申上ゲマス

○川崎委員長 馬場君

○馬場委員 極メテ簡單ニ御尋ヲ申上ゲマ
ス、政府ハ現下ノ難局ニ處スル方策トシ

テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ
カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

カ、今回ノ議會ニ提案サレマシタ各種ノ法

案ヲ眺メマスルト、個々別々ニ瓦ツテ居リ
テ、國家總動員法ヲ制定スル御考ハナイ

國家總動員ノ法制ヲ制定ニ相成リマシテ、時勢ノ如何ニ順應シテ、極メテ伸縮自在ナル融通性ノアル動員法ヲ、其時々々ノ情勢ニ應ジテ緩嚴宜シキヲ得ルヤウナ運用ヲナルコトガ一番適當ヂヤナイカ、兵ハ神速ヲ尙ブト申シマス、此バラノノ法律、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、更ニ事態ガ進展擴大致シマシタ場合、又立法ヲヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデハ、到底軍國ノ急ニ應ズルコトハ出來ナイト私ハ思フ、此點ニ對スル御考ヲ承リタイノデアリマス、資源局アタリデモ十分ノ調査モ出來居ルト思フ、之ニ對スル準備ハ恐ラク完成シテ居ルト筈デアル、又居ナケレバナラヌト思フ、或ル其道ノ權威者ノ話ヲ聽キマスルト、總動員法ト云フヤウナ立法ガ遲レルトハ、直チニ戰果ヲ收メマスル上ニ重大ナル影響ヲ及ボス、斯様ナコトヲモ承ツテ居リマス、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○賀屋國務大臣

國家總動員法ハ只今ノヤウナ事件ガ發生致シマセヌデモ、平時カラ用意ヲ致シテ置イテ必要アラバ發動スルト云

フ行キ方ノ方ガ寧ロ宜シイノデハナイカト思ノデアリマス、今回提出致シマシタ豫算ハ今ノ場合政府ガ見透シテ居リマスル必

要ニ對應致シテ居リマスルガ、其程度ニ於キマシテハ經濟財政ノ態様ヲ時局ニ應ゼシアルコトガ一番適當ヂヤナイカ、兵ハ神速ヲ尙ブト申シマス、此バラノノ法律、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、更ニ事態ガ進展擴大致シマシタ場合、又立法ヲヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデハ、到底軍國ノ急ニ應ズルコトハ出來ナイト私ハ思フ、此點ニ對スル御考ヲ承リタイノデアリマス、資源局アタリデモ十分ノ調査モ出來居ルト思ヒマスルガ、只今ハ是デ宜シト考ヘテ居ル次第アリマス

○馬場委員 國家總動員ノ法制ノ必要デアルコトハ、只今大藏大臣ノ御説明デアリマスルケレドモ、或ル「エキスパート」ノ話、斯道ノ「オーソリティ」ノ話ヲ聽キマスルト、淘ニ重大ナル關係ガアルト云フコトヲ承ツテ居リマス、願クヘ事態ニ即應シテ自由自在ニ活動ガ、出來マスヤウニ、或ハ參謀本部ノ方々デアルトカ、或ハ資源局ノ人々デアルトカ、サウ云々タ方面ト虛心坦懷ニ御協議ニ相成リ、國家ノ爲ニ最善ヲ御盡シニナリタイト存ジマス

次ニ爲替政策ノ問題デアリマス、先程河野君カラ御質問ガアツタヤウデアリマス、日本ノ財政經濟、現在ノ情勢ニ即シマシテ一番憂フベキモノハ、私ハ爲替基準ノ維持デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、先程ノ御

議論デハ公債ノ消化ト云フコトガ非常ナルトコトハ、尙ホ事變ガ起リマシタ後ニ於キマス、尙ホ事變ガ起リマシタ後ニ於キマス、尙ブト申シマス、此バラノノ法律、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、更ニ事態ガ進展擴大致シマシタ場合、又立法ヲヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデハ、到底軍國ノ急ニ應ズルコトハ出來ナイト私ハ思フ、此點ニ對スル御考ヲ承リタイノデアリマス、資源局アタリデモ十分ノ調査モ出來居ルト思ヒマスルガ、只今ハ是デ宜シト考ヘテ居ル次第アリマス

○賀屋國務大臣 國家總動員法ハ只今ノヤウナ事件ガ發生致シマセヌデモ、平時カラ用意ヲ致シテ置イテ必要アラバ發動スルト云フ行キ方ノ方ガ寧ロ宜シイノデハナイカト思ノデアリマス、今回提出致シマシタ豫算ハ今ノ場合政府ガ見透シテ居リマスル必

要ニ對應致シテ居リマスルガ、其程度ニ於キコトハ、若シ我國ノ財政ニ不幸ニシテ破滅ヲ來スト云フヤウナコトガアルト致シマス、尙ホ事變ガ起リマシタ後ニ於キマス、尙ブト申シマス、此バラノノ法律、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、更ニ事態ガ進展擴大致シマシタ場合、又立法ヲヤラナケレバナラスト云フヤウナコトデハ、到底軍國ノ急ニ應ズルコトハ出來ナイト私ハ思フ、此點ニ對スル御考ヲ承リタイノデアリマス、資源局アタリデモ十分ノ調査モ出來居ルト思ヒマスルガ、只今ハ是デ宜シト考ヘテ居ル次第アリマス

シテ、之ヲ「スマース」ニ行クト云フコトハ御話ノ通リ必要デアリマシテ、今爲替及ビ爲替ニ關係アル貿易ノ機關ヲ統一スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌガ、極メテ緊密ナル連絡ヲ持ツテ參リマス、其意味ニ於キマンシテ私ハ組閣ノ際ニモ、是ガ最モ重要デアル、今申上ゲマシタヤウニ是ハ全經濟活動ノ結果デアリマスルカラ、政府ト致シマシテモ各省ニ關係ガアリマスルガ、殊ニ商工省トノ關係ガ深クアリマスノデ、組閣ノ以前ニ於テ既ニ十分ナル話合ヲ遂ゲテ居ルコトデアリマス、極メテ圓滑緊密ナル連絡ノ下ニ參ッテ進ンデ居リマス

○馬場委員 私先程一寸部屋ヲ出マシタノデ、或ハドナタカ御聽キニナッタカト思ヒマスガ、若シ左様ナ場合ハ委員長カラ御注意ヲ賜リタイト思ヒマス、此調整法案ノ第十一條及ビ第十二條、之ニ委員會ガ二ツアリマス、此性質……

午後九時三十二分散會

クコトニ致シマス

ニ二問留保セラレテ居ルノガアリマス、ソレカラ民政黨ノ方デハ前田君ガ少シ質問ヲ致シタイト云フコトニナッテ居リマス、左様ナ質問ノ留保ガアリマス外ハモウ全部終了致シマシタノデアリマス、洵ニ皆サンニ御不自由ヲ願ヒマシテ、御發言ヲ途中デ止メテ戴イタリナニカシテ甚ダ恐縮デアリマシタガ、マア大體各派ノ方ニ一通リ御尋ヲ願フコトガ出來マシテ、是デ終了出來ルヤウナ譯デアリマス、本日ハ此程度デ散會ヲ致シマシテ、明日ハ午前十時カラ此會議ヲ開クコトニ致シマス

○川崎委員長 ソレハモウ大體質問ハ盡キ打切りマス

○馬場委員 濟ミマシタカ、ソレデハ是デ打切りマス

○川崎委員長 大體質問ハ是デ殆ド終了ヲ致シマシタガ、政友會ノ方ニ討論ニ移ル前